SONY

ロケーションフリーテレビ　LF-X5

SONY

2-547-222-**02**(1)

ロケーションフリーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

LF-X5

⚠警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5 ～ 12 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。13 ～ 15 ページの「**使用上のご注意**」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンター（裏表紙）に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ ベースステーションの電源プラグをコンセントから抜く。
❷ モニターの電源を切り、バッテリーを取りはずす。
モニターに AC パワーアダプターが差し込まれているときは、AC パワーアダプターも抜く。
❸ お買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンター（裏表紙）に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

本機のワイヤレス通信について

電波障害自主規制について

この機器は 2.4GHz 帯および 5GHz 帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。この機器と他の無線機器間との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この無線機器の使用周波数は 2.4GHz 帯および 5GHz 帯を使用します。変調方式として 2.4GHz は DS-SS および OFDM 変調方式、5GHz は OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は 20m です。

ワイヤレス通信に関するご注意

- ベースステーションは、床から離れた、安定した場所に設置してください。
- 次のような環境で使用すると、ベースステーションとモニターとの間で電波が通りにくくなり、通信距離が短くなることがあります。
  - 鉄筋／コンクリート／石の壁や床や床暖房の入った床
  - 鉄製の間仕切りやドア、防火ガラス、金属などの材料を使った家具や電化製品などがベースステーションとモニターの間にある場合

＜ 2.4GHz 帯の場合＞

この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯を含んでいます。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、エアボード カスタマーサポートセンター（巻末）までお問い合わせください。

- 電子レンジ使用中に、2.4GHz 帯を使用した場合本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機を使用してください。電子レンジを使用していないときは、本機は干渉を受けません。
- 近くで 2.4GHz、IEEE802.11b、IEEE802.11g 準拠のワイヤレス LAN アクセスポイントまたは、無線機器を使用しているとき、電波の干渉を受ける場合があります。本機のワイヤレスチャンネルを変更してください。

＜ 5GHz 帯の場合＞

- 本機を屋外で使用する場合は、ワイヤレスチャンネルを 2.4GHz 帯に変更してください。法令により 5GHz 帯無線機器を屋外で使用することは禁止されています。
- 近くで 5GHz、IEEE802.11a 準拠のワイヤレス LAN アクセスポイントまたは、無線機器を使用しているとき、電波の干渉を受ける場合があります。本機のワイヤレスチャンネルを変更してください。

無線に関する規制は、国や地域によって異なります。海外へモニターを持ち運ぶ場合は、お出かけ前に外モード（有線 LAN）に設定してください（☞ 51 ページ）。（外モード（有線 LAN）に設定すると、モニターから電波は出ません）。

この機器には、（財）テレコムエンジニアリングセンターの技術的条件適合認定を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に添付されております。

ワイヤレスチャンネルの変更について詳しくは、「ワイヤレスチャンネルを手動で変更する」（☞ 140 ページ）をご覧ください。

ワイヤレス LAN のセキュリティについて

ワイヤレス LAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいは、ワイヤレス LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://www.sony.co.jp/airboard/
をご覧ください。

本機で対応しているワイヤレス LAN セキュリティ機能について

- **暗号化なし**
  データは暗号化されずに送信されるので、第三者に通信内容を盗み見られる危険性があります。
  ベースステーション / モニター間のワイヤレス LAN 通信に対しては、この設定はできません。
- **WEP**
  WEP は、IEEE802.11 で規定されたワイヤレス LAN 通信のセキュリティ技術で、暗号化されて通信が行われます。鍵長は 64bit と 128bit の 2 種類ありますが、安全性は 128bit 鍵の方が高くなります。WEP には、解読技術が存在しますので、同じ暗号鍵を長期間使い続けることを避けるようにおすすめします。
- **WPA-PSK with TKIP**
  WPA は、WEP の欠点を改善する目的で開発されたセキュリティ技術です。本機では TKIP と呼ばれる暗号と合わせて使用され、対応しているセキュリティの中では最も高度で安全です。

本機のワイヤレス LAN セキュリティ設定について

- 出荷状態では、ベースステーション / モニター間のワイヤレス LAN 通信のセキュリティ設定は WEP です。より高度なセキュリティを使いたい場合は、WPA-PSK に設定を変更してください。
  WEP 使用時と WPA-PSK 使用時では、通信の安定性に差が出る場合がありますのでご注意ください。
- モニターをベースステーション以外のワイヤレス LAN ネットワークに接続する場合は、そのネットワークのセキュリティ設定に応じてモニターを設定する必要があります。設定情報は、ネットワーク管理者に確認してください。

警告   下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、本機や付属品に触れない

感電の原因となります。

接触禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。また、取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにベースステーションの電源プラグをコンセントから抜き、モニターの電源を切って、バッテリーを取りはずし（モニターに AC パワーアダプターが差し込まれているときは、AC パワーアダプターを抜いてください）、エアボード カスタマーサポートセンター（裏表紙）に点検・修理をご依頼ください。

禁止

内部を開けない

火災や感電、けがの原因となります。
また、本機は、（財）テレコムエンジニアリングセンターの電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵され、かつ（財）電気通信端末機器審査協会の技術基準適合認定を受けた製品であり、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。
内部の点検や修理は、エアボード カスタマーサポート
センターにご依頼ください。

分解禁止

LAN ケーブル、電源プラグのコードの配置に注意する

本機に取り付ける LAN ケーブルや電源プラグのコードが、人が歩く場所にはみ出ていると、足をひっかけるなどして、けがの原因になったり、本機の損傷の原因になったりします。

指示

電源プラグや AC パワーアダプターのコードを振り回さない

人やガラスなどに当たってけがをすることがあります。

禁止

⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

お子さまの手の届かない場所に設置する

タッチペンやはずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり危険です。

注意

安定した場所に設置する

モニターやベースステーションは、ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

指示

モニターのスタンド部分を持って運ばない

けがの原因となることがあります。

注意

タッチペンで目などを突かない

けがの原因となります。取り扱いに注意してください。

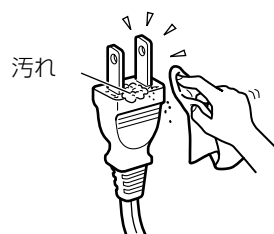
注意

バッテリーの交換は安定した場所で行う

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

電源プラグや充電端子は定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間や、充電端子に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

自動車の中では使わない

本機は車載仕様ではありません。

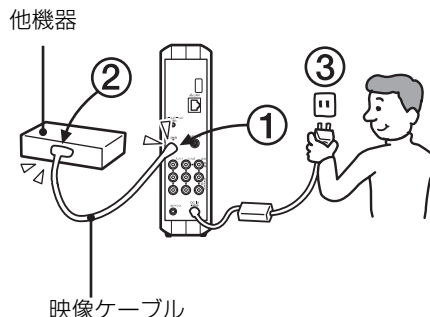
禁止

警告   下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

お手入れの際、電源プラグを抜き、バッテリーを取りはずす

電源プラグを差し込んだままお手入れをしたり、バッテリーをモニターに取り付けたままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電源プラグは、他機器との接続が終わってからつなぐ

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。
また、他機器との接続が終わったあとで、電源プラグの電源コードを壁のコンセントに差してください。（右図の順参照）
電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く
壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは右図の ③②① の順です。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。

電源スイッチを入れたまま、電源プラグ等の抜き差しをしない

電源スイッチが入った状態で電源プラグの抜き差しや他機器との接続をおこなわないでください。誤動作することがあります。

禁止

指定の AC パワーアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

禁止

ベースステーションを移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。

旅行などで長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

本体を布や布団などでおおった状態で使用しない

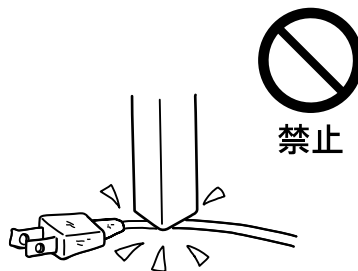
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

AC パワーアダプターを誤った方法で使用しない

AC パワーアダプターを誤った方法で使用すると、熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
以下の方法を必ず守って、本機をお使いください。
- AC パワーアダプターのまわりに物を置かない。
- AC パワーアダプターを布などでおおわない。
- 2 つ以上の AC パワーアダプターを重ねない。
- AC パワーアダプターを箱などに入れない。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはエアボードカスタマーサポートセンターに交換をご依頼ください。

たこ足配線をしない。

火災や感電の原因となることがあります。

モニターの電源を入れたまま付属のキャリングケースに入れない

熱がこもってモニターが変形したり、火災の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと**医療機器**などを**誤作動**させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

禁止

本機を病院内に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

禁止

ペースメーカーなどの近くで使用しない

ペースメーカーなどの医療電気機器を使用中に、本機を近づけないでください。医療電気機器が誤動作する可能性があります。

禁止

IEEE802.11a モードは屋外で使用しない

法令により、5GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。

禁止

本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機器を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

⚠ 警告

下記の注意事項を守らないと**健康を害する**おそれがあります。

液晶画面を長時間続けて見ない

液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。

液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

注意

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

注意

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

注意

ぬれた手で電源プラグ、AC パワーアダプター、バッテリーおよび本体にさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

タッチペンで液晶画面を強く押しすぎない

液晶画面が壊れる原因となることがあります。

注意

モニターやベースステーションの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。ベースステーションを壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から 10cm 以上離して置いてください。

- あお向け、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。

禁止

モニターやベースステーションに長時間触れない

長時間モニターをひざの上に乗せたり、ベースステーションに手などを触れたままにしないでください。温度が上がり、低温やけどの原因となることがあります。

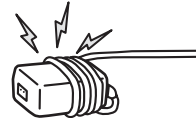
禁止

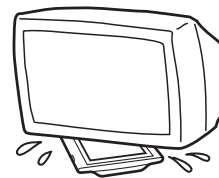
⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

AC パワーアダプターのコードや電源コードを AC パワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面（表示部）はガラスでできています。モニターをひねったり、落としたり、モニターに肘をついたり、重いものを載せたりなどすると、タッチパネルや液晶画面が割れて、けがの原因となることがあります。

硬い物質で液晶画面を操作したり､強打しない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

モニターを設置するときはスタンドを使用する。

スタンドを使用せずにモニターを設置したり、スタンドを正しく使用できない向きでモニターを設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

バッテリーについての安全上のご注意

液漏、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解したりしない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯や保管しない。ショートすることがあります。
- 本体に付属のバッテリーもしくは、別売りの専用バッテリー以外は使用しない。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談する。

⚠警告

バッテリーを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

リチウムイオン電池についてのお願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になった
リチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁
テープを貼って、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に
関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会 TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

Li-ion

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の裏面や AC パワーアダプターが熱くなることがあります

- 本機の動作時や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。
- 本機は使用状況により熱くなることがあります。モニターは、長時間ひざの上などにおいてご使用にならないでください。

本体や AC パワーアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、AC パワーアダプターの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。
次に、エアボード カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

使用上のご注意

落とさないでください

本機に強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。また、液晶パネルのガラスが割れることがあります。

取り扱いについて

- 本機を雨または湿気にさらさないでください。モニターやベースステーションの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因となります。
- 必ず、付属の AC パワーアダプターを使用して電源につないでください。
- 本機を開けたり分解しないでください。
- （財）テレコムエンジニアリングセンターより電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。
- （財）電気通信端末機器審査協会より技術基準適合認定を受けており、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。

通信不良によるお客様の損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねます。
通信内容が漏れたことに対しても、当社は一切その責任を負いかねます。

置き場所について

- 次のような場所に置かないでください。
  - 異常に高温になる場所：炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
  - 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所：変形したり、故障したりすることがあります。またバッテリーの寿命が短くなります。
  - 濡れた場所
  - 振動の多い場所
  - 強力な磁気のある場所
  - 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所：海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
  - ぐらついた台の上や傾いた場所
  - 高い場所：落下してけがの原因になります。
  - 風呂場など、湿気の多い場所
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- 本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- ベースステーションはできるだけ床から離し、モニターとベースステーションの間に障害物の少ない場所を選んで設置してください。
- 安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下してけがの原因になります。
- 誤って足で踏んだり、上から物を落としたりすることがないような場所に設置してください。
- ゴムやプラスチック製品など、熱に弱いものの上に置いて使用しないでください。本機の熱により、変形、変色の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで使うと、映像の乱れや雑音の原因となることがあります。このような場合は、テレビやラジオから離れた場所でお使いください。
- お子さまの手の届かない場所に設置してください。タッチペンやはずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり、危険です。
- 本機を病院内に設置して使用しないでください。医療機器の誤動作の原因となることがあります。
- 本機と同じ無線周波数を使用する他の無線機器を同時に使用すると、転送速度の低下や伝送エラーが発生することがあります。
- 2.4GHz 帯を使用した場合、電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは本機が電子レンジの干渉を受けることはありません。

動画表示について

テレビやビデオを見ているとき、表示の一部がブロック状に見えることがありますが、画像処理によるもので、故障ではありません。

テレビの画質について

お住まいの地域によっては、テレビ受信チャンネルと本機のワイヤレスチャンネルの組み合わせにより、本機のテレビまたはご家庭のテレビ画面に、雪が降ったようなちらつき（画ノイズ）が出ることがあります。

対処のしかた

- 雪が降ったような画ノイズが本機のテレビ画像に出る場合
  本機のワイヤレスチャンネルの調整で「手動」を選択してから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。（☞ 140ページ）
- 本機を使用すると、雪が降ったような画ノイズがご家庭のテレビ画面に出る場合
  本機のワイヤレスチャンネルの調整で「手動」を選択してから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。
  それでも直らないときは、本機のモニターとベースステーションをご家庭のテレビおよびアンテナ接続ケーブルから離してご使用ください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

データのバックアップについて

修理時に本機のメモリーが壊れて、保存されていたメールのデータ、画像データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。
修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存した画像データはコンパクトフラッシュカード等のメモリーカードに控えとしてコピーしてください。
弊社の修理によりデータが万一消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を傷つけないようにしてください。液晶画面に触れるときは、付属のタッチペンを使用してください。
- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めます。窓際や室外などに置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、液晶画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に液晶画面やモニター、ベースステーションのキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

コンパクトフラッシュカードについてのご注意

コンパクトフラッシュカードの挿入口に金属類などの異物を入れないでください。また、コンパクトフラッシュカードをコンパクトフラッシュカード用スロットから取り出した後は、必ず保護カードを入れてください。故障の原因となります。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用していますが、この蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、お買い上げ店またはエアボードカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

ケーブルについて

本機に接続するケーブルは、電磁界妨害防止のため、3 m 以下のものをお使いください。

フェライトコアについて

FCC規制のパート15に適合させるため、モニター用ACパワーアダプターにフェライトコアを取り付けなければなりません。本機に付属のモニター用ACパワーアダプターにはあらかじめフェライトコアが取り付けられています。取り外さないでください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99 %以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、本機の内部の部品に露（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。バッテリーを取りはずしてから電源プラグを電源コンセントから抜いて、約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

お手入れ

- お手入れをする前に、必ずモニターとベースステーションの電源を切り、電源プラグをすべてコンセントから抜いてください。
- 乾いた柔らかい布、または水をかたくしぼった布で軽く拭いてください。
- 液晶画面の汚れをふきとるときは、市販のクリーニングクロスで軽く拭き取ってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、色落ちや変色する場合がありますので、ご注意ください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 液体状の洗剤などは使用しないでください。本機の内部に入って、故障の原因となることがあります。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブルなどをすべてはずしてください。
落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱を使ってください。

廃棄するときは

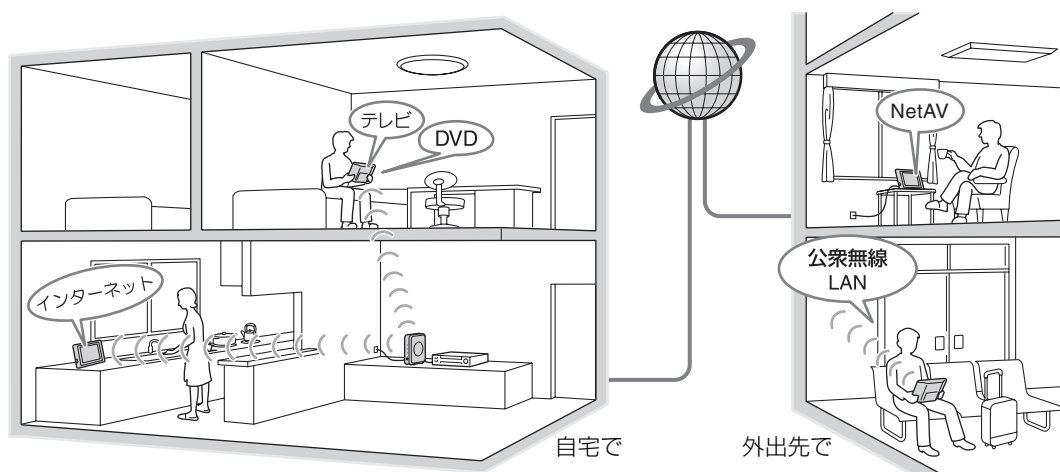
- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

目 次

ちょっと一言

取扱説明書内の画面イラストはイメージです。

ロケーションフリーテレビって何？

本機は、どこにいてもテレビ・ビデオや DVD、インターネット、メール、アルバムが楽しめる LocationFree™ を実現した液晶テレビです。家の中ではワイヤレス（無線）や家庭内 LAN で、家の外からはホテルの LAN や公衆無線 LAN など、さまざまな場所で映像などを楽しむことができます。
家の中では、ベースステーションをリビングなどに置き、ワイヤレス通信範囲であればモニターだけを持ち歩いて、どこでもワイヤレスで利用できます。
家の外からは NetAV 機能によって、自宅に設置されたベースステーションにインターネットを介してアクセスし、自宅のテレビ・ビデオや DVD を見ることができます。また、インターネット、メール、アルバムも家の中にいるときと同じように使えます。

ちょっと一言

- 本機は、モニターとベースステーションで構成され、互いにワイヤレス通信で情報をやり取りしています。
- モニターはバッテリー駆動（充電式）なので、電源コードは不要です。AC パワーアダプターをつなぐと、モニターの電源が切れているときは充電し、モニターの電源が入っているときは直接電源を供給するので、時間を気にせずモニターを使用できます。
- 本機のベースステーションは、電源が入っているときは常に電波を出しています。

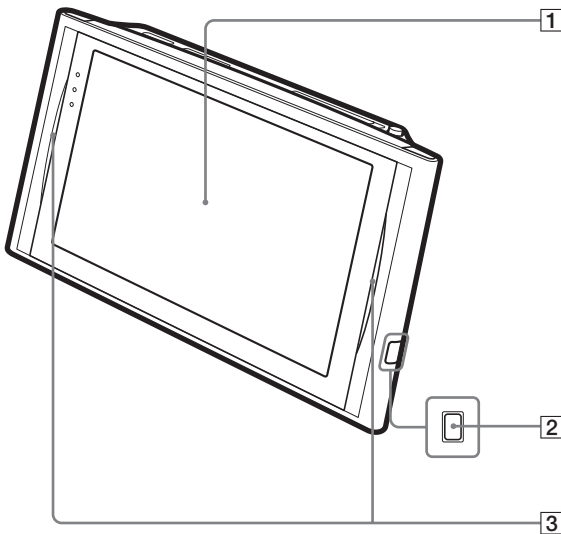
ご注意

本機は 2.4 GHz/5 GHz 帯 * のワイヤレス通信を使用します。通常の家庭で最大約 30 m（使用環境により異なります）の到達距離がありますが、ワイヤレス LAN 機器や電子レンジのように周囲に電波を出す機器があったり、壁や床などの材質によっては、通信が不安定になることもあります。また、医療機器などのそばでは利用しないようにしてください。詳しくは、「安全のために」の「ワイヤレス通信に関するご注意」（☞ 3 ページ）、「ベースステーションをワイヤレス LAN アクセスポイントとして使う」（☞ 141 ページ）をご覧ください。

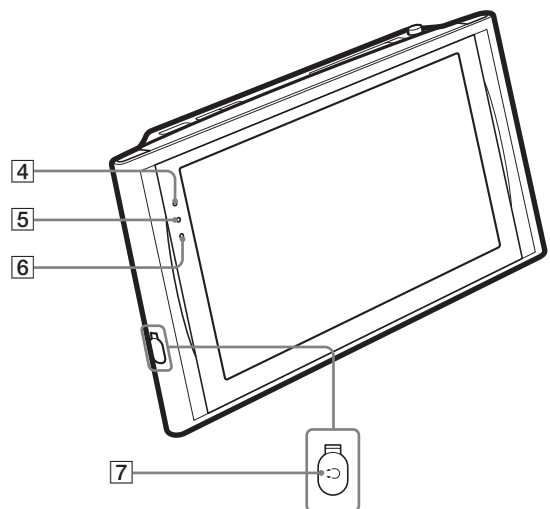
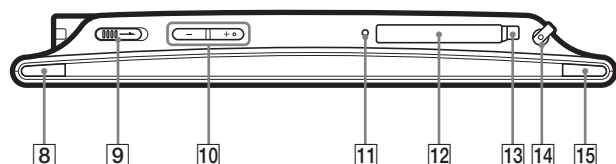
* 本機のお買い上げ時は、ワイヤレスチャンネルが「自動：2.4 GHz と 5 GHz」（2.4 GHz と 5 GHz のどちらかの最適なチャンネルが自動的に設定されます）に設定されています。

各部の名前とはたらき

モニター

モニター右側

1 液晶画面 / タッチパネル
2 DC IN 端子（☞ 32 ページ）
モニター用 AC パワーアダプター（付属）をつなぎます。
3 スピーカー

モニター左側

4 電源ランプ（☞ 32 ページ）
緑色点灯：電源オン。
赤色点滅：異常が発生しています。
5 ワイヤレスランプ
ワイヤレス通信の状態を示します。
青色点灯：5 GHz で通信しています。
緑色点灯：2.4 GHz で通信しています。
青色または緑色一瞬点灯、3 秒消灯：
ワイヤレスは有効に設定されていますが、ベースステーションまたはワイヤレス LAN のアクセスポイントと通信していません（電波は出ています）。
消灯：電波は出ていません。
6 充電ランプ（☞ 32 ページ）
充電の状態を示します。
赤色点灯：バッテリーを充電中。
消灯：充電完了、または充電していません。
7 🎧（ヘッドホン端子）（ステレオミニジャック）
市販のヘッドホンをつなぎます。

モニター上部

8 キャプチャー（画面保存）ボタン（☞ 81 ページ）
現在表示している画面を静止画としてアルバムに保存します。

9 モニター用電源スイッチ（☞ 32 ページ）
モニターの電源の入 / 切を行います。

10 音量＋ / －ボタン（☞ 77 ページ）
スピーカーの音量を調節します。

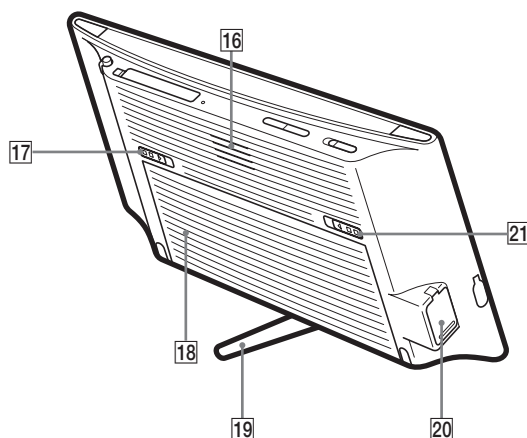
11 コンパクトフラッシュカード用ランプ（☞ 133 ページ）
本機とコンパクトフラッシュカードの間で情報のやり取りがあるときに、オレンジ色に点灯します。

12 コンパクトフラッシュカード用スロット（☞ 133 ページ）
コンパクトフラッシュカードを挿入します。

13 コンパクトフラッシュカード取り出しボタン

14 タッチペン / タッチペン収納部（☞ 33 ページ）

15 インデックスボタン（☞ 76 ページ）
インデックス画面を表示します。

モニター裏面

16 通気孔
通気孔をふさがないでください。

17 ロックレバー（☞ 31 ページ）

18 バッテリー（☞ 31 ページ）

19 モニタースタンド（☞ 26 ページ）

20 LAN 端子（☞ 39 ページ）
LAN ケーブルをつなぎます。

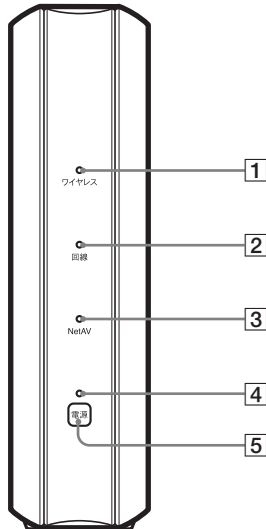
21 取り外しレバー（☞ 31 ページ）

ご注意

- モニターには、ストラップなどを取り付けできません。ひもやケーブルなどを通して吊り下げたりしないでください。
- モニターの使用中は、裏面にある通気孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- モニターの熱い部分に長時間触れないでください。やけどをする恐れがあります。

ベースステーション

ベースステーション正面

ベースステーション背面

1 ワイヤレスランプ
ワイヤレス通信の状態を示します。
青色点灯：5 GHz で通信しています。
緑色点灯：2.4 GHz で通信しています。
青色または緑色一瞬点灯、3 秒消灯：
ワイヤレスは有効ですが、モニターと通信していません。

2 回線ランプ
インターネットなどの外部ネットワークへの接続状態を示します。
緑色点滅：接続準備をしています。
緑色点灯：接続しています。
なお、パケットの送受信中は明滅します。
消灯：接続していません。

3 NetAV ランプ
NetAV 機能によってモニターと接続されたときに接続状態を示します。
緑色速く点滅：NetAV 認証失敗。
緑色遅く点滅：NetAV 接続の処理をしています。
緑色点灯：NetAV 接続しています。
消灯：NetAV 接続していません。
赤色点灯：ベースステーション初期化実行時。

4 電源ランプ（☞ 32 ページ）
ベースステーションの電源が入っているときに緑色に点灯します。
また、異常時は赤色ですばやく点滅します。

5 ベースステーション用電源スイッチ（☞ 32 ページ）
ベースステーションの電源の入 / 切を行います。

6 LAN 端子（☞ 39 ページ）
LAN ケーブルをつなぎます。

7 VHF/UHF 端子（☞ 27 ページ）
アンテナ接続ケーブルをつなぎます。

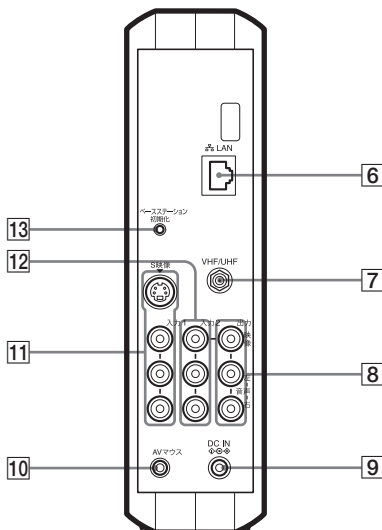
8 ビデオ出力（映像・音声）端子（☞ 29 ページ）
ビデオ入力 2 端子に入力した信号を出力します。
音声・映像コードをつなぎます。

9 DC IN 端子（☞ 30 ページ）
付属のベースステーション用 AC パワーアダプターをつなぎます。

10 AV マウス端子（☞ 35 ページ）
付属の AV マウスをつなぎます。

11 ビデオ入力 1（S 映像・映像・音声）端子（☞ 28 ページ）
S 映像コードと音声コード、または音声・映像コードをつなぎます。

12 ビデオ入力 2（映像・音声）端子（☞ 28 ページ）
音声・映像コードをつなぎます。

13 ベースステーション初期化ボタン（☞ 144 ページ）
ベースステーション内の回線やワイヤレスの設定、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

接続と準備の流れ

以下の流れで、本機を使うために必要な準備や接続、設定を行います。

はじめにすること

基本編：家の中で使うときに必要な接続と準備

家の中でワイヤレスで本機を使う場合は、以下の設定のみを行います。なお、NetAV 機能を使って外出先で本機を使う場合は、以下の設定に加えて、次の「応用編」の設定が必要です。

映像を見るための接続

- テレビを見るための接続

- 外部入力機器の映像を見るための接続

- 本機の電源を入れる

- テレビを見るための設定

- 外部入力機器の映像を見るための設定

インターネット・メールをするための接続

応用編：外出先などで使うときに必要な接続と準備

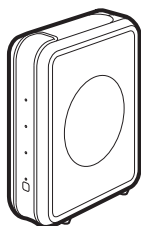
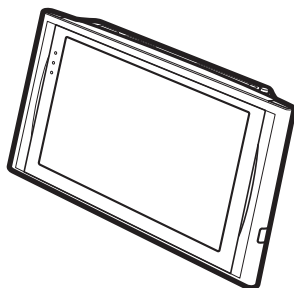
設定の前にお読みください

それぞれの用途に応じた設定

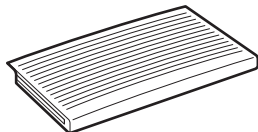
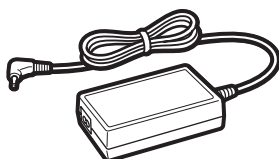
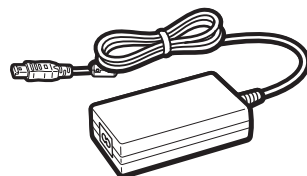
使用する接続タイプに応じた設定を行います。

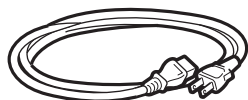
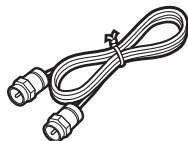
箱の中身を確かめる

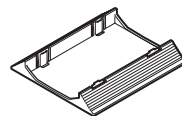
箱を開けたら、次の物がそろっているか確認してください。
（　）内は個数を表わします。

- ベースステーション（1）

- モニター（1）

- タッチペン（1）

お買い上げ時は、あらかじめ
モニター上部に挿入されています。

- バッテリー BP-LX5A（1）

- ベースステーション用
  AC パワーアダプター
  AC-LX1B（1）

- モニター用
  AC パワーアダプター
  AC-LX5M（1）

フェライトコアを取り外さないでください

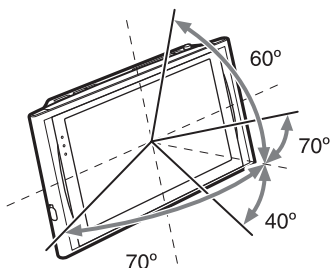
- 電源コード（2）

- アンテナ接続ケーブル（1）

- AV マウス（1）

- キャリングケース（1）
- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）
- ソフトウェアに関する重要なお知らせ（1）
- 「使用上のご注意」シール（1）
- ベースステーション用スタンド（1）

モニターの使いかた

モニタースタンドの使いかた

図のように、モニター底面にあるスタンドを起こして使います。

適視角度について

モニターは真正面より左右 70 度以内、上 60 度、下 40 度以内で見てください。

モニターの持ち運びについて

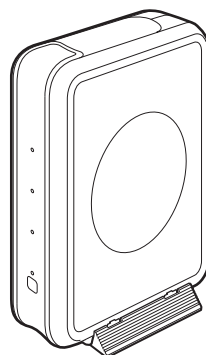
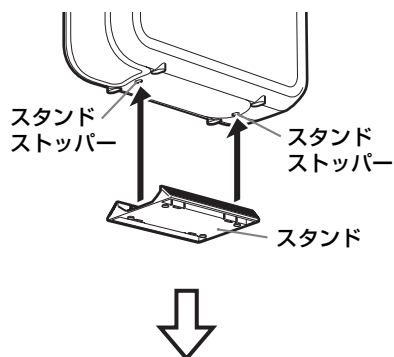
モニターを持ち運ぶときは、画面保護のため、付属のキャリングケースに入れてください。

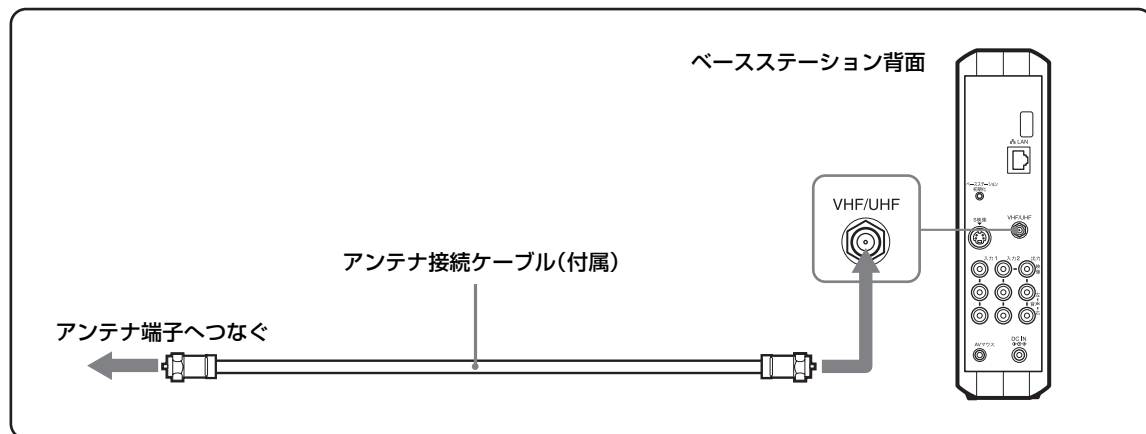
ご注意

キャリングケースにモニターを入れるときは、必ずモニターの電源を切ってから入れてください。

ベースステーション用スタンドの取り付けかた

ベースステーションを設置したときに安定するように、付属のベースステーション用スタンドを取り付けて使用してください。

ベースステーション底面のスタンドストッパーに、ベースステーション用スタンドをはめ込む。

テレビアンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形によって異なります。
壁のアンテナ端子の形によっては、別売りの変換コネクターや分配器などが必要です。詳しくは、販売店などにご相談ください。

きれいな画像を楽しむために

本機で安定した画像を楽しむためには、アンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- ベースステーション背面の VHF/UHF 端子への接続は、付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
- 壁のアンテナ端子の形状によっては、付属のアンテナ接続ケーブルが使用できないことがあります。その場合は、販売店などにご相談ください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。
フィーダー線をご使用になる場合は、ベースステーションからできるだけ離してください。

ケーブルテレビをつなぐ場合は

ケーブルテレビの方式により、接続や準備の方法が異なります。ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
本機でケーブルテレビを見るときは、本機のビデオ入力端子にケーブルテレビのホームターミナルをつないでください。

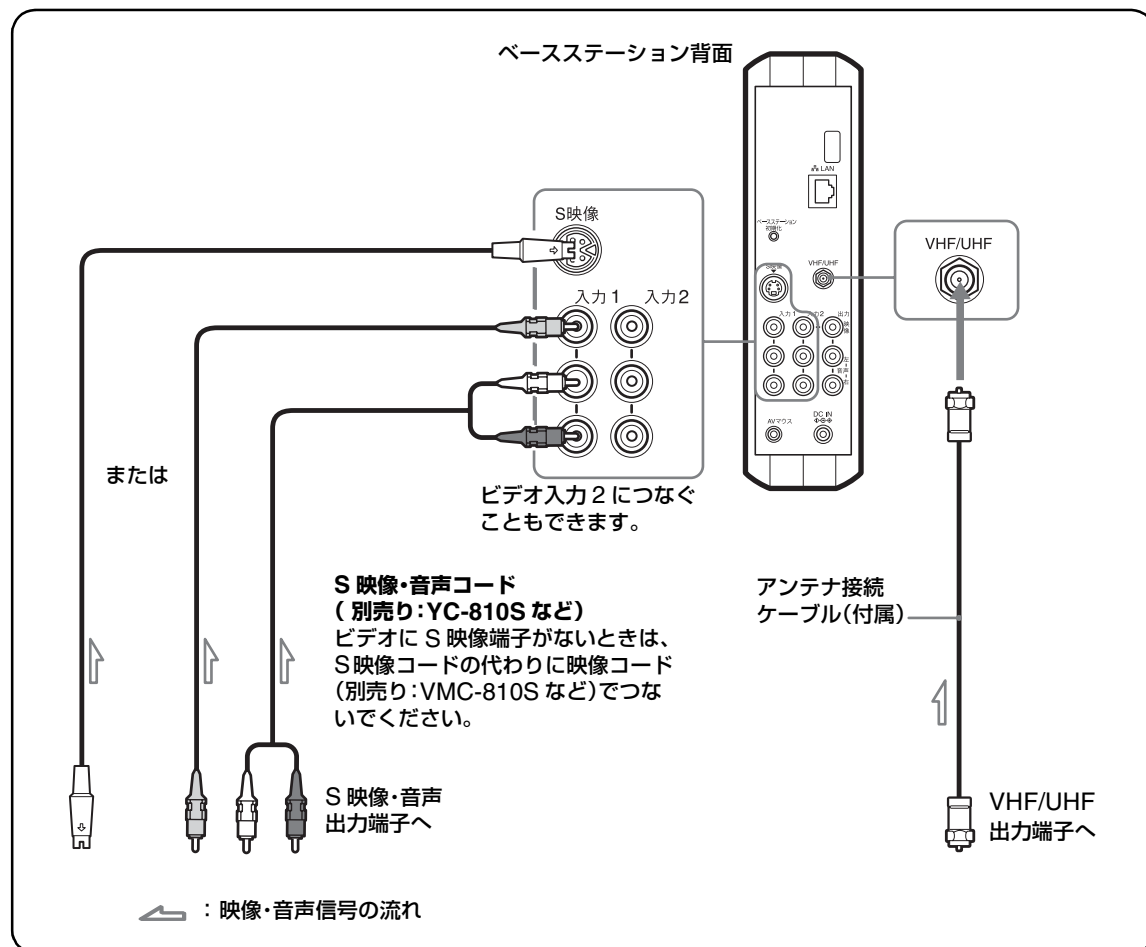
ご注意

ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル（放送の内容が見られないようにするための処理）のかかった有料放送の視聴には、別途ホームターミナルが必要になります。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示にしたがって、接続および受信方法の設定を行ってください。

他機器をつなぐ

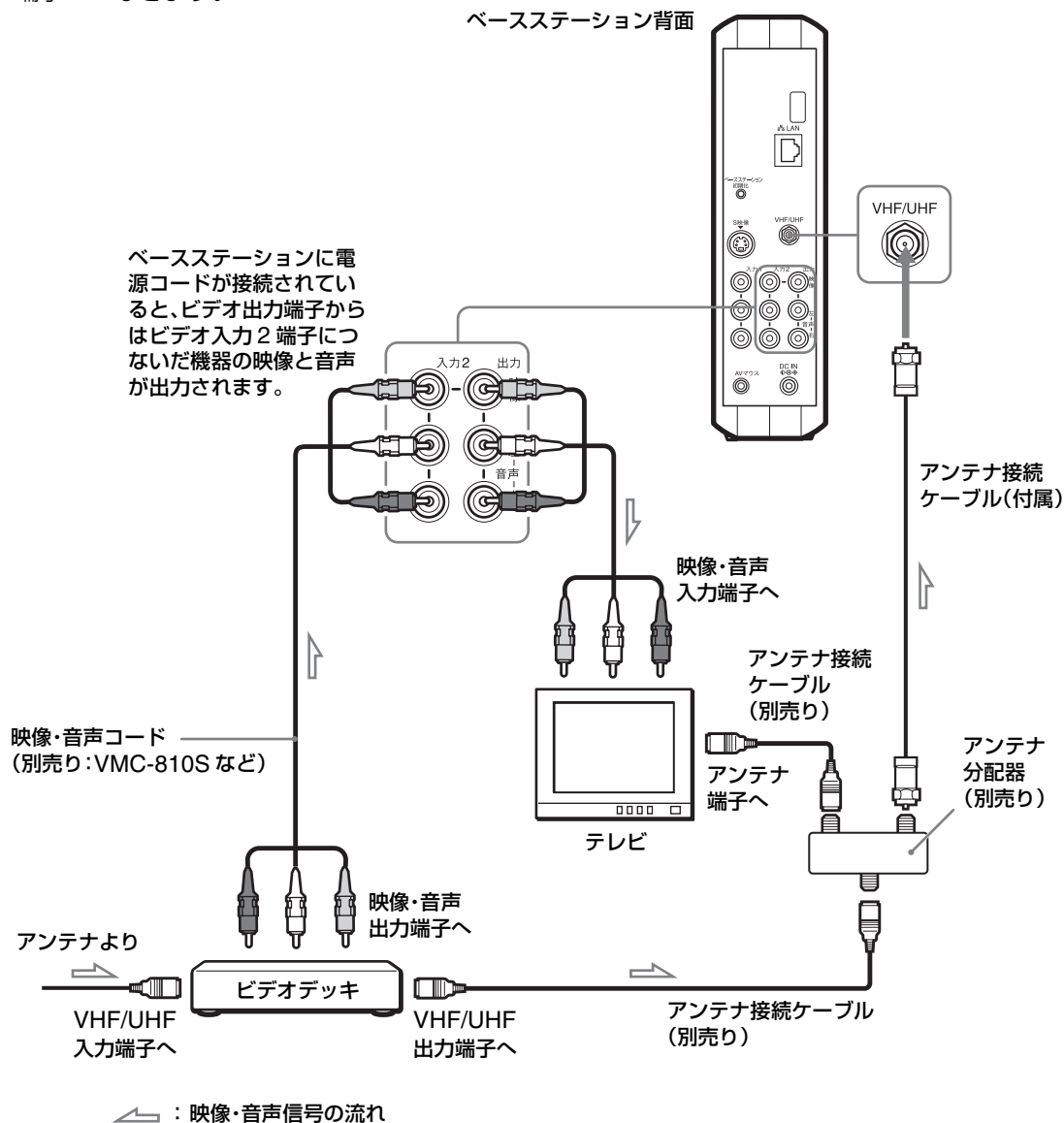
ビデオ、AV アンプ、ハードディスクレコーダー、DVD プレーヤー / レコーダー、デジタルチューナーなど、映像・音声出力端子のある機器を接続できます。
つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

つないだ機器の映像を見るには

インデックス画面を表示し、つないだビデオ入力端子に応じて［ビデオ入力 1］、［ビデオ入力 2］ボタンを選びます。

ご注意

DVD プレーヤーをビデオデッキ経由で本機につないだときは、ビデオデッキの録画防止機能（コピーガード）が働き、DVD の映像が乱れたり、暗くなったりすることがあります。DVD プレーヤーは本機のビデオ入力端子に直接つないでください。

テレビの映像・音声入力端子へビデオをつなぐときは

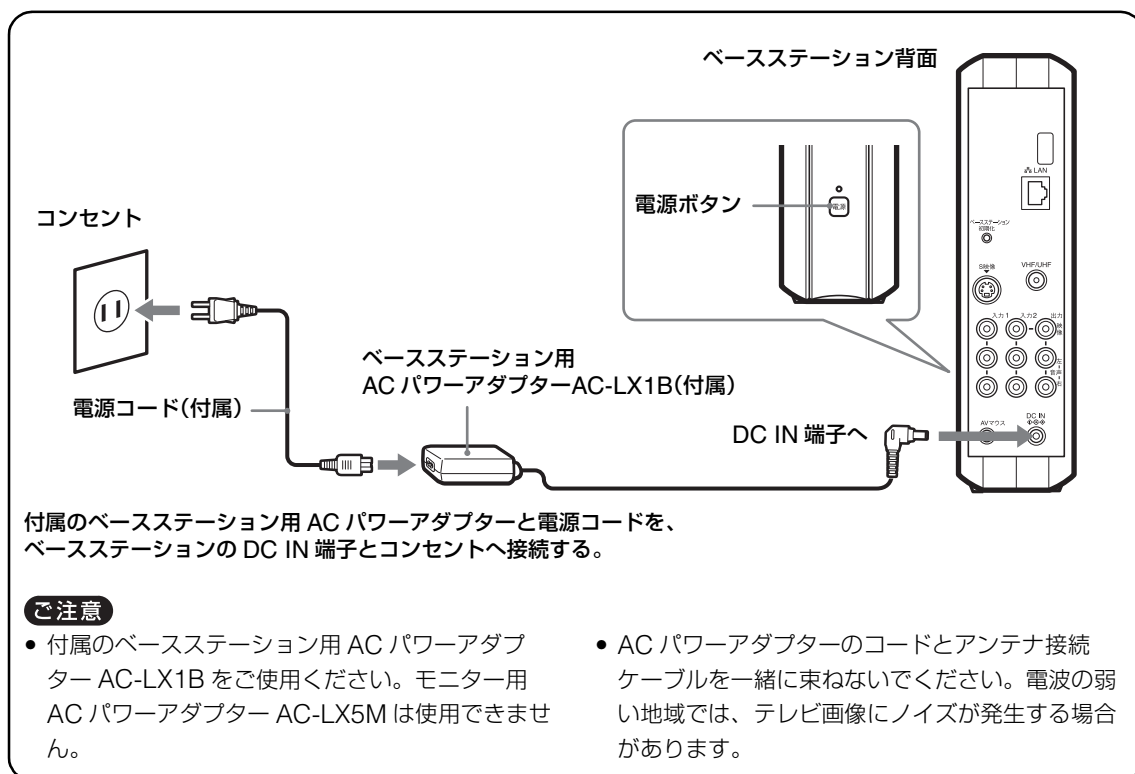
ビデオを本機のビデオ入力２端子へつなぎ、本機のビデオ出力端子をテレビの映像・音声入力端子へつなぎます。

電源を入れる

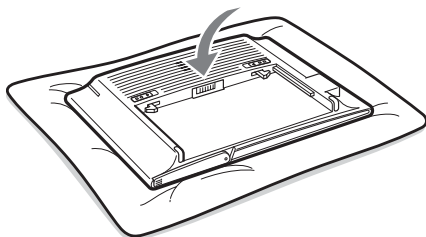
すべての接続が終わってから、電源コードをつなぎ、モニターにバッテリーを取り付け、電源を入れます。

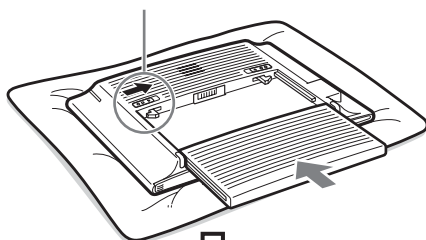
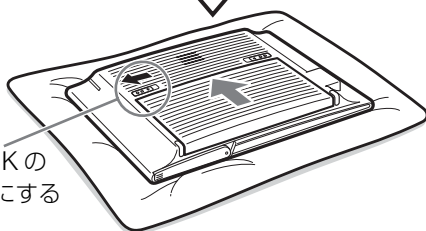
ベースステーションに電源コードをつなぐ

付属のベースステーション用 AC パワーアダプターと電源コードを、ベースステーションの DC IN 端子とコンセントへ接続する。

ご注意

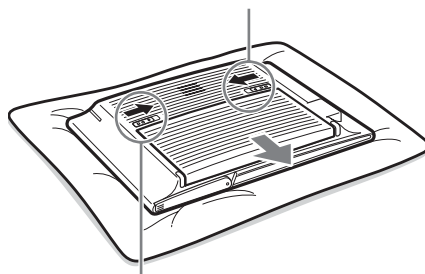
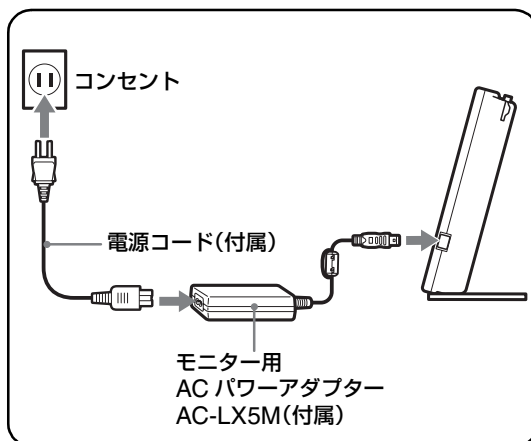
- 付属のベースステーション用 AC パワーアダプター AC-LX1B をご使用ください。モニター用 AC パワーアダプター AC-LX5M は使用できません。
- AC パワーアダプターのコードとアンテナ接続ケーブルを一緒に束ねないでください。電波の弱い地域では、テレビ画像にノイズが発生する場合があります。

モニターにバッテリーを取り付ける

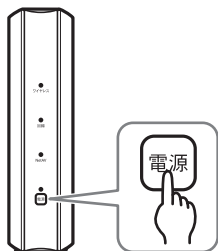
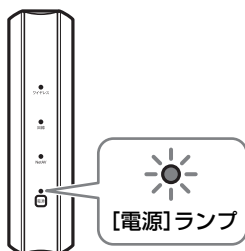
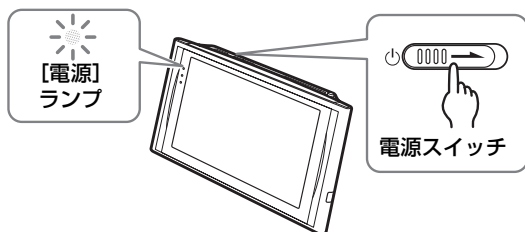
1 **柔らかい布の上に、液晶画面を下にしてモニターを置く。**

2 **モニター裏面にあるロックレバーをUNLOCK の位置にしてから、バッテリーをスライドさせて、きちんと奥まで入れる。**

バッテリーを入れたら、ロックレバーをLOCK の位置にします。

ご注意

カチッと音がするまできちんと奥まで入れてください。

バッテリーを取り外すには

ロックレバーを UNLOCK の位置にして、取り外しレバーを内側(RELEASE側)にスライドさせた状態で、バッテリーを取り外す。

モニターに電源コードをつなぐ

電源を入れる

1 **ベースステーション正面にある[電源]スイッチを押して電源を入れる。**

ベースステーション正面の［電源］ランプが緑色に点灯します。

2 **モニター上部にある[電源]スイッチをスライドさせて、電源を入れる。**

モニター前面の電源ランプが緑色に点灯し、テレビ画面が表示されます。

電源を切るには、［電源］スイッチをスライドさせます。

ちょっと一言

電源を入れた直後は、テレビが映っていても起動処理は続いています。その間はモニターの［音量＋／−］ボタンのみ動作します。その間、モニター上部の［インデックス］ボタンを押したり、画面を触ったときは、「準備中です。しばらくお待ちください。」のお知らせが表示されます。

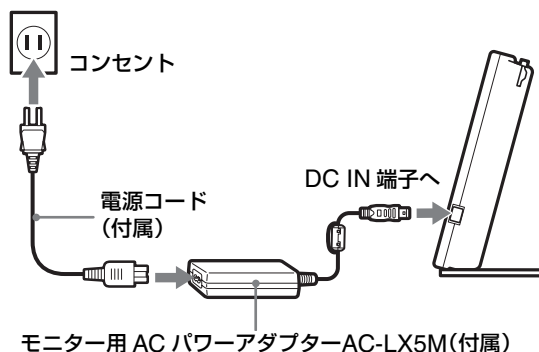
ご注意

- モニターの［電源］スイッチをスライドさせてもテレビの画像が映らなかったり、モニター画面の上部に BASE 表示が出ているときは、ベースステーションの電源が切れていないか、また、モニターの接続タイプが家モード（ワイヤレス）になっているか（47 ページ）確認してください。
- モニターの温度が高くなると、「異常な温度上昇検出により安全機能が作動しました。電源を切ります。」というメッセージが表示され、自動的に電源が切れます。

モニターのバッテリーを充電する

付属のモニター用 AC パワーアダプターをモニターにつないでバッテリーを充電します。
充電中はモニター左側にある充電ランプが赤色に点灯します。充電が終わるとランプが消灯します。

ご注意

モニターの電源が入っているときは、充電されません。

バッテリー充電時間

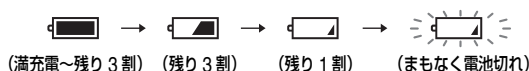
BP-LX5A（付属）：約 80 分

バッテリー使用可能時間

BP-LX5A（付属）：約 2 時間（バックライトの明るさが最大時）

上記の時間は、連続してテレビを見ているときの時間です。実際の使用可能時間は使いかたによって異なります。

いずれの場合も、バッテリーが切れるおよそ 1 分前にモニター画面にお知らせが出ます。
また、モニター画面上部にバッテリー残量が表示されます。

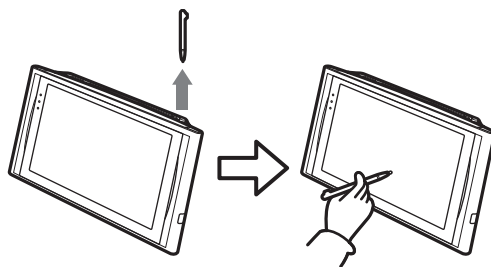
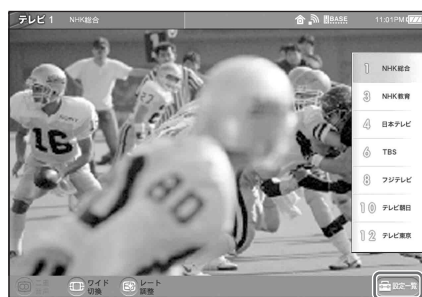
（満充電～残り 3 割）（残り 3 割）（残り 1 割）（まもなく電池切れ）

ご注意

- バッテリーを長時間使用しないときは、本機で使い切ってから、取り外して保存してください。また、1 年に 1 回程度は満充電にして、本機で使い切ってから、再び涼しい場所で保存してください。
- 本機のバッテリーは消耗品です。バッテリーにはリチウムイオンバッテリーを採用しています。リチウムイオンバッテリーは通常のバッテリーと同様、充電と放電を繰り返すことで容量が次第に減っていく特性があります。バッテリーを使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です（充電放電 300 回程度が目安）。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーの特性によって、「（まもなく電池切れ）」のお知らせが出ずにバッテリーが切れて電源が切れることがあります。

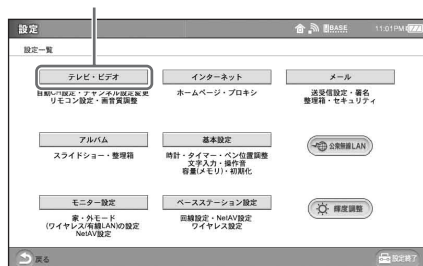
テレビチャンネルを設定する

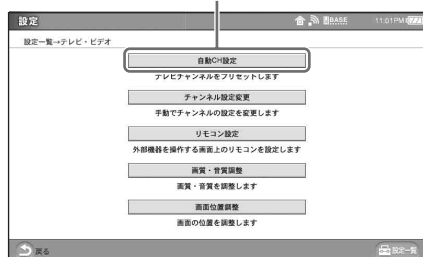
テレビのチャンネルは、お住まいの地域を選ぶだけで自動的に設定されます。また、必要に応じて手動で設定し直すこともできます（☞ 137 ページ）。まず、自動で設定してみましょう。

テレビチャンネルを自動設定する

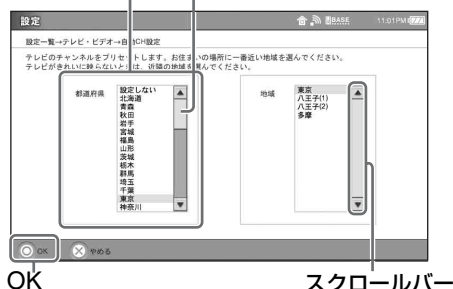
1 モニター上部からタッチペンを取り出し、画面を軽く触る。

2 画面右下の[設定一覧]を選ぶ。

設定一覧

「設定一覧」画面が表示されます。

3 [テレビ･ビデオ]を選ぶ。

「テレビ・ビデオ」画面が表示されます。

4 [自動 CH 設定]を選ぶ。

「自動 CH 設定」画面が表示されます。

5 お住まいの都道府県と、お住まいの場所に一番近い地域を選び、[OK]を選ぶ。

左側の都道府県一覧から都道府県を選ぶと、右側に地域一覧が表示されます。

それぞれの一覧の右側のスクロールバーを上下にスクロールして選びます。スクロールのしかたには 3 通りあります。

- 上下の ▲ ▼ を軽く押し続ける。
- スクロールバー内のスクロールノブを軽く押したまま上下に動かす。
- ▲ または ▼ とスクロールノブの間のスペースを押す。

チャンネルが自動設定され、「テレビ・ビデオ」画面に戻ります。

6 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

インデックス画面を表示する前の画面に戻ります。

7 モニター上部にある[インデックス]ボタンを押す。

インデックス画面に、自動設定されたテレビのチャンネルが表示されます。

インデックス画面を消すには、もう一度［インデックス］ボタンを押します。

ちょっと一言

- テレビがきれいに映らない場合は、手順 5 で近くの別の地域を選び直してください。
- それでもテレビが映らない場合は、手動でテレビチャンネル設定を変更してください。（☞ 137 ページ）

ご注意
ホームターミナルを使わずにケーブルテレビ（C13 ～ C63）を設定する場合は、手動設定でチャンネルを追加してください。（☞ 137 ページ）

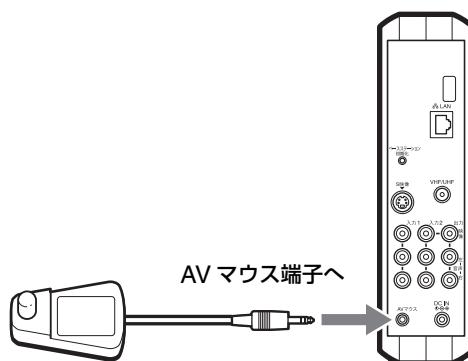
このあとは ...

インターネット、メールを使う場合や、外出先からテレビ・ビデオを見る（NetAV 機能を使う）場合は、38 ページに進んで設定を続けてください。
すぐにテレビをご覧になる場合は、77 ページに進んでください。

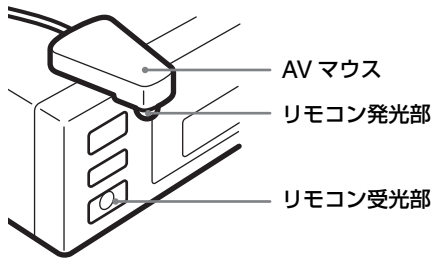
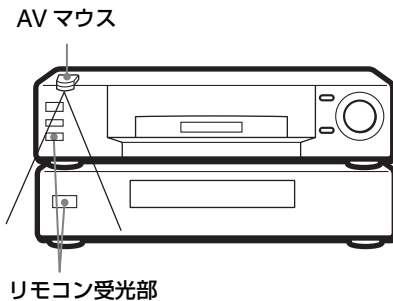
画面上のリモコンで他機器を操作する

ベースステーションにつないだ機器に付属の AV マウスを取り付けて、画面上のリモコンで操作するための設定を行います。
各機器の接続については、「他機器をつなぐ」（☞ 28 ページ）

AV マウスの接続、設定をする

1 付属の AV マウスをベースステーションの AV マウス端子につなぐ。

2 AV マウスの取り付け予定位置を決める。

つないだ機器の取扱説明書をご覧になって、リモコン受光部の位置を確認し、受光部の近くに AV マウスを置きます。

ご注意
AV マウス裏面のシールは、まだはがさないでください。

付属の AV マウスで 2 台の機器をコントロールするには、AV マウスと機器を次のように配置します。

2 台の機器のリモコン受光部の位置が離れていて、付属の AV マウスだけではコントロールできないときは、別売りのプラグアダプターと AV マウスが必要です。
プラグアダプターをベースステーションの AV マウス端子につなぎ、AV マウスをそれぞれプラグアダプターの端子につないでください。

ちょっと一言

- AV マウスがつないだ機器に届かない場合は、別売りの接続コード RK-G131（3m）で延長してください。
- ビデオなど、ソニー製品のリモコン受光部には IR マークが付いています。

3 ［設定一覧］画面を表示し、［テレビ・ビデオ］を選ぶ。

「テレビ・ビデオ」画面が表示されます。

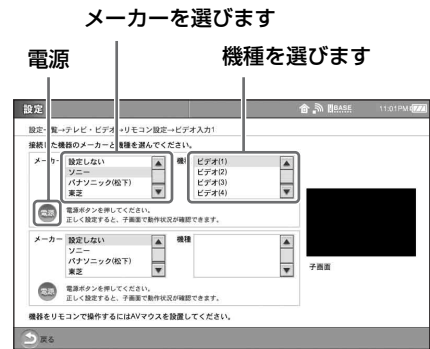
4 ［リモコン設定］を選ぶ。

「リモコン設定」画面が表示されます。

5 ［ビデオ入力 1］または［ビデオ入力 2］を選ぶ。

機器をつないだ方のビデオチャンネルを選んでください。
「ビデオ入力 1」または「ビデオ入力 2」画面が表示されます。

6 上段に表示されている一覧から、つないだ機器のメーカー名と機種を選ぶ。

メーカー名を選ぶと、機種が表示されます。

正しく設定されていると、［電源］を選ぶたびに、つないだ機器の電源が入 / 切されます。電源入 / 切の動作は、子画面で確認できます。
［電源］を何回か選んでもつないだ機器の電源が入／切されない場合は、メーカーまたは機種が正しく選ばれているか確認してください。

1 つの端子に外部入力機器を 2 台つなぐときは

本機に直接接続した機器を 1 台目として設定してください。

ビデオデッキと DVD などが一体になった機器をつなぐときは

画面上部の「機種」リストから（一体型）と表示された機器を選ぶ（例：ソニー「ビデオ +DVD（一体型）」）と、画面の下側の「メーカー」、「機種」欄にも選んだ機器が自動的に表示されます。この場合、画面上のリモコンの［デッキ切換］ボタンを押して

ビデオ用のリモコンとDVD用のリモコンを切り換えて操作できます。

ちょっと一言

アイワ製のDVDプレーヤー、DVD+VHS（一体型）、ビデオデッキの一部の機種については、メーカー名をソニーまたはその他に設定するものもあります。

7 **[戻る]を選ぶ。**

「リモコン設定」画面に戻ります。

8 **[戻る]を選ぶ。**

「テレビ・ビデオ」画面に戻ります。

9 **[設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。**

10 **インデックス画面を表示する。**

[ビデオ入力1] または [ビデオ入力2] が設定したリモコンの機種名に置き換わって表示されます。

例）[ビデオ入力1]にDVDのリモコンを設定した場合

[ビデオ入力1] → [DVD] に置き換わります。

11 **インデックス画面からリモコンの機種名を選択し、ビデオ画面が表示されたら、画面をタッチする。**

画面右側にリモコンが表示され、画面上のリモコンでつないだ機器を操作できるようになります。

12 **確認ができたら、AVマウス裏面のシールをはがす。**

13 **手順2（☞ 35ページ）で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。**

2台以上の機器の設定をするには

設定する前に、機器を接続しておいてください。

1 「AVマウスの接続、設定をする」の手順3～6（☞ 36ページ）を行い、1台目の機器を設置する。

2 続けて下段の「メーカー」リストから2台目の機器（1台目の機器を経由してつないだ機器）のメーカーと機種名を選び、電源入/切の動作を確認する。

3 AVマウスを、それぞれの機器の取り付け予定位置に固定する。

このあとは ...

インターネット、メールを使う場合は、「ベースステーションに回線をつなぐ」（☞ 38ページ）に進んで設定を続けてください。
すぐにテレビを見る場合は、「テレビ/ビデオを見る」（☞ 77ページ）に進んでください。

ベースステーションに回線をつなぐ

インターネットやメールを利用するためには、本機をインターネット回線につなぐ必要があります。本機は、光ファイバー回線や ADSL 回線、ケーブルテレビインターネット、ISDN 回線などを使ってインターネットに接続できます。

回線をつなぐのに必要な機器

回線ごとに、次の機器と LAN ケーブルが必要です。また、プロバイダとの契約が必要です。
まず、ご自分の接続方法に合わせて必要な機器を準備してください。準備ができたら、「接続のしかたは ...」で示されているページに進み、接続してください。

インターネット接続の種類（使用回線）	必要な機器	接続のしかたは…
FTTH（光ファイバー回線）	メディアコンバーター（必要に応じて）	モデムなどに直接接続する場合 ☞ 39 ページ ルーターを使用して接続する場合 ☞ 40 ページ
ADSL（アナログ電話回線）	ADSL モデムとスプリッター	
ケーブルテレビインターネット（ケーブルテレビ回線）	ケーブルモデム	
ISDN（ISDN 回線）	ISDN 対応ルーター	

＊本機は、USB で接続するターミナルアダプターや ADSL モデムには対応していません。

ご注意

次のような場合は、本機ではインターネットに接続できません。詳しくはご利用の回線事業者またはプロバイダにご確認ください。

- ケーブルテレビインターネット事業者がパソコン以外の機器を接続できないようにしている場合。
- 接続のための専用ソフトをインストールする必要がある場合。
- 回線事業者が本機で設定できない項目を指定している場合。

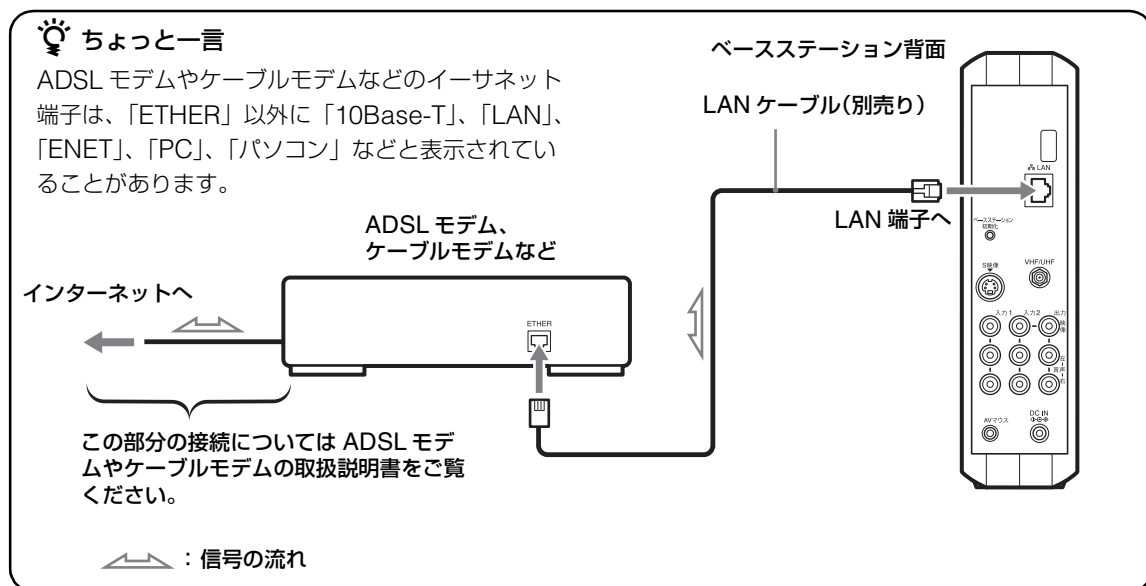
ちょっと一言

外出先からテレビ・ビデオを見る NetAV 機能を使用する場合、ベースステーションの接続回線は、上り実行速度 300 kbps 以上のブロードバンド回線が必要となります。使用している回線の実行速度については、契約しているプロバイダにお問い合わせください。詳しくは、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。

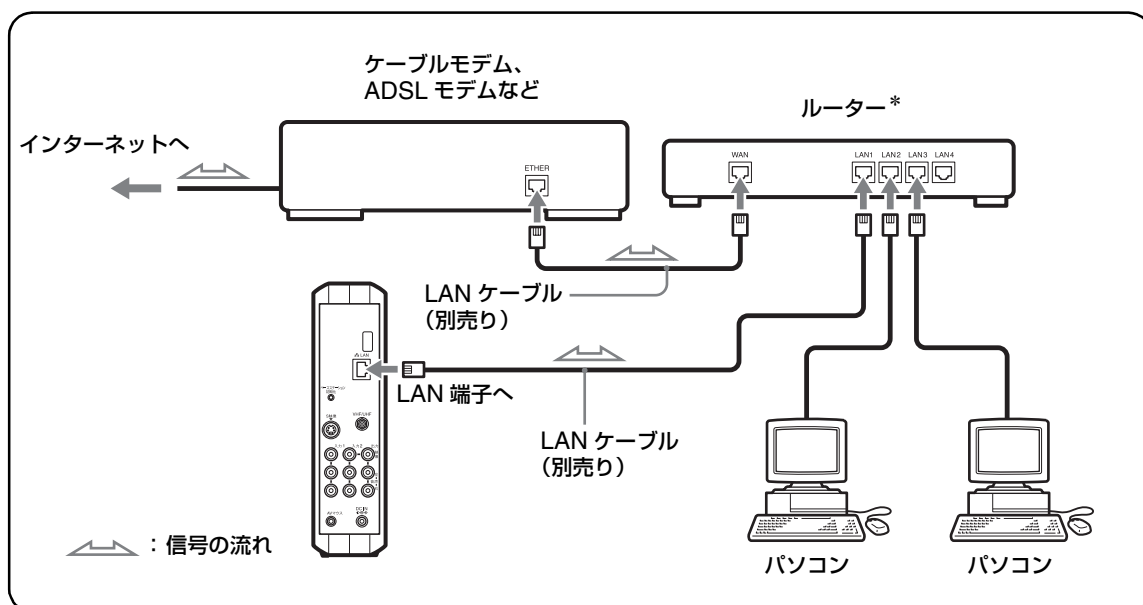
回線の接続のしかた

ここでは、代表的な接続方法を例にとって説明します。契約している回線事業者やプロバイダ、接続する機器によって接続方法が異なりますので、詳しくはご利用の回線事業者またはプロバイダにご確認ください。

ADSL モデムやケーブルモデムなどに直接接続するとき

LAN ケーブル（別売り）を使って、本機の LAN 端子と ADSL モデムやケーブルモデムまたはダイヤルアップルーターをつなぎます。
インターネット対応のマンションなどの場合は、壁のイーサネット端子に直接つなぎます。

ご注意

- LAN ケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があります。ADSL モデムやケーブルモデムなどの種類により、使用するケーブルの種類が違いますので注意してください。詳しくは ADSL モデムやケーブルモデムなどの取扱説明書をご覧ください。
- 外出先からテレビ・ビデオを見る NetAV 機能を使用する場合は、固定グローバル IP アドレスサービス、またはダイナミック DNS サービスへの加入が必要です。詳しくは、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。
- 接続についての詳細は ADSL モデムやケーブルモデムなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。また、ADSL モデムやケーブルモデムなどについてご不明な点は、ご利用の ADSL 回線事業者、ケーブルテレビ会社またはプロバイダにお問い合わせください。

ルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐとき

ご注意

- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。契約しているケーブルテレビ会社や ADSL 事業者、プロバイダへ確認してください。
- 使用する LAN ケーブルの種類については、ルーターやケーブルモデム、ADSL モデムなどの取扱説明書をご覧ください。
- 接続についての詳細は、ルーターやケーブルモデム、ADSL モデムなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ルーターの設定のしかた

- ルーターによっては、まずルーターとパソコンのみを接続して、ルーターの設定を行うものがあります。ルーターの説明書の中で「WWW ブラウザ（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲーターなど）を使って設定画面を表示する」よう指示があった場合、パソコンの WWW ブラウザを使って設定してください。また、ルーターの IP アドレスを本機のインターネットのアドレス欄に入力して設定することもできます。アドレス欄への入力のしかたは「ホームページを見る」（☞ 82 ページ）をご覧ください。また、本機に回線の設定がされている必要があります。回線の設定については「ベースステーションの回線の設定をする」（☞ 41 ページ）をご覧ください。
- ルーターの設定について詳しくは、使用している機器の取扱説明書をご覧ください。
- ルーターによっては、本機のインターネット画面では設定できないものもあります。
- 外出先からテレビ・ビデオを見る NetAV 機能を使用する場合は、ルーターでポートフォワーディングの設定または UPnP の設定を行う必要がある場合があります。詳しくは、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。

＊ **ルーターとは**
ルーターとは、ネットワークとネットワークを中継する装置です。
ルーターを使用することにより、1 つの回線で複数の端末を利用できるようになります。

ベースステーションの回線の設定をする

契約しているプロバイダからの資料やモデム、ルーターの説明書にしたがって設定してください。なお、NetAV 機能を使用する場合は、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）または『NetAV セットアップガイド』を参照して設定してください。
ルーターまたはモデムの設定やプロバイダの設定に応じて、以下のうちのいずれか 1 つの設定を行います。

- DHCP（☞ 41 ページ）
- アドレス手動（☞ 42 ページ）
- PPPoE（☞ 43 ページ）

回線の設定をする前に

次のことを確認してください。

- ベースステーションの電源は入っていますか？（☞ 32 ページ）
- ベースステーションとモニターがワイヤレス通信できてますか？（☞ 48 ページ）
- LAN ケーブルがベースステーションにつながっていますか？（☞38 ～ 39 ページ）

LAN 回線（DHCP）を使って接続する

インターネットに接続することにより、DHCP サーバーから「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」が自動的に割り当てられます。DHCP サーバーによっては「DNS」も自動的に割り当てられます。

ちょっと一言

ルーターを使用している場合も、次の手順に従って、インターネットに接続してください。

1 モニター上部にある［インデックス］ボタンを押す。

インデックス画面が表示されます。

2 インデックス画面から［インターネット］を選ぶ。

ホームに設定されているエアボードのページが表示されたら、インターネットに接続できています。回線の設定は必要ありません。

ホームに設定されているページが表示されず、「Web サーバーに接続できません。」などの接続エラーメッセージが表示されたら

このあとの手順 3 に進み、自動設定（DHCP）で設定された値を確認してください。

3 画面右下の［設定一覧］を選ぶ。

「設定一覧」画面が表示されます。

4 ［ベースステーション設定］を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面が表示されます。

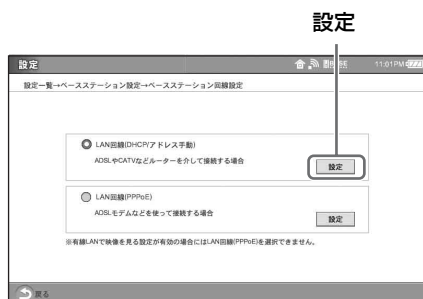
5 ［ベースステーション回線設定］を選ぶ。

「ベースステーション回線設定」画面が表示されます。

ご注意

ベースステーションとモニターがワイヤレス通信できる環境でないと、［ベースステーション回線設定］は選べません。また、モニター設定を家モード（ワイヤレス）（☞ 49 ページ）に設定していないと、［ベースステーション回線設定］は選べません。

つづく

6 ［LAN回線（DHCP/アドレス手動）］の右側にある［設定］を選ぶ。

「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」の設定画面が表示されます。
IP アドレスなどの値が割り当てられているか、確認してください。

7 ［戻る］を選ぶ。

「ベースステーション回線設定」画面に戻ります。

8 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

ベースステーションの回線設定が終了したら ...

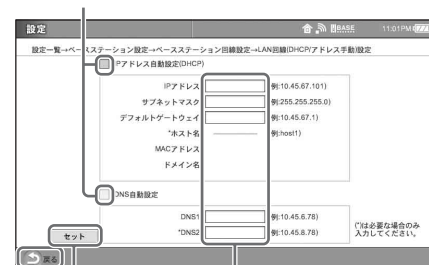
実際にインターネットに接続して、ホームページを表示できるか確認します。
ホームページの表示のしかたは、「ホームページを見る」（☞ 82 ページ）をご覧ください。
メールを使う場合は、続いて「メールの設定をする」（☞ 45 ページ）に進んでください。

LAN 回線（アドレス手動）を使って接続する

1 「LAN 回線（DHCP）を使って接続する」（☞ 41 ページ）の手順 3 〜 6 を行い、「ベースステーション回線設定」画面を表示する。

2 ［LAN回線（DHCP/アドレス手動）］の右側にある［設定］を選ぶ。

「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」の設定画面が表示されます。

3 ［IP アドレス自動設定（DHCP）］のチェックをはずし、プロバイダの資料をご覧になり、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「ホスト名」、「DNS1」、「DNS2」を入力し、［セット］を選んで、［戻る］を選ぶ。

ちょっと一言

- 設定した内容は、画面をキャプチャー（画面保存）して、残しておくこともできます。（☞ 81 ページ）
- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

「ベースステーション回線設定」画面に戻ります。

4 [LAN回線(DHCP/アドレス手動)]を選ぶ。

LAN 回線(DHCP/ アドレス手動)

確認の画面が表示されます。

5 [OK]を選ぶ。

「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」に設定されます。

6 [戻る]を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

7 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

ベースステーションの回線設定が終了したら ...

実際にインターネットに接続して、ホームページを表示できるか確認します。
ホームページの表示のしかたは、「ホームページを見る」（☞ 82 ページ）をご覧ください。
メールを使う場合は、続いて「メールの設定をする」（☞ 45 ページ）に進んでください。

LAN 回線(PPPoE)を使って接続する

1 画面右下の[設定一覧]を選ぶ。

画面右下に［設定一覧］が表示されていないときは、画面に軽く触れると表示されます。
「設定一覧」画面が表示されます。

2 [ベースステーション設定]を選ぶ。

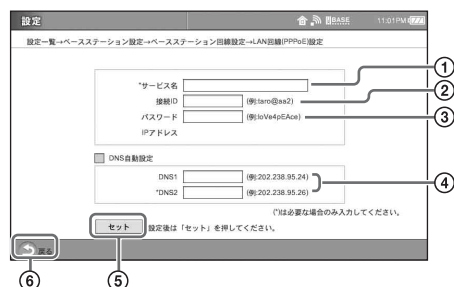
「ベースステーション設定」画面が表示されます。

3 [ベースステーション回線設定]を選ぶ。

「ベースステーション回線設定」画面が表示されます。

4 [LAN 回線(PPPoE)]の右側にある[設定]を選ぶ。

「LAN 回線（PPPoE）」画面が表示されます。

5 プロバイダの資料を見ながら各項目を入力し、[セット]を選んで[戻る]を選ぶ。

① **プロバイダのサービス名を入力する。**
プロバイダを識別する名称です。

つづく

プロバイダによって入力が不要な場合もあります。プロバイダからの指示があるときのみ入力してください。

② **接続 ID＊1 を入力する。**

③ **インターネット接続用パスワード*2を入力する。**
入力した文字は、「＊」で表示されます。

④ **DNS1＊3、DNS2＊3 を入力する。**
プロバイダから指定された IP アドレスを入力します。
［DNS 自動設定］をチェックすると、自動的に値を取得します。
＊ プロバイダによっては自動取得できない場合があります。

⑤ **［セット］を選ぶ。**

⑥ **［戻る］を選ぶ。**

それぞれの用語は次のように呼ばれることがあります。詳しくは、契約しているプロバイダからの資料などをご覧ください。

＊1 **「接続 ID」の別の呼びかた**
「ユーザー名」、「ユーザー ID」、「PPP ログイン名」、「ネットワーク ID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」、「ログイン ID」、「接続アカウント」

＊2 **「パスワード」の別の呼びかた**
「PPP パスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」、「ログインパスワード」

＊3 **「DNS1」、「DNS2」の別の呼びかた**
DNS1：「ネームサーバー」、「プライマリ DNS サーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」
DNS2：「ネームサーバー」、「セカンダリ DNS サーバー」、「セカンダリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」

ちょっと一言

- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。
- 設定した内容は、画面をキャプチャー（画面保存）して、残しておくこともできます。（☞ 81 ページ）

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

6 ［LAN 回線（PPPoE）］を選ぶ。

ご注意
すべての通信事業者の PPPoE 接続を保証するものではありません。

確認の画面が表示されます。

7 ［OK］を選ぶ。

「LAN 回線（PPPoE）」に設定されます。

8 ［戻る］を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

9 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

ベースステーションの回線設定が終了したら ...

実際にインターネットに接続して、ホームページを表示できるか確認します。
ホームページの表示のしかたは、「ホームページを見る」（☞ 82 ページ）をご覧ください。
メールを使う場合は、続いて「メールの設定をする」（☞ 45 ページ）に進んでください。

メールの設定をする

メールを送受信するには、契約しているプロバイダの設定を本機に登録する必要があります。契約しているプロバイダからの資料にしたがって設定してください。

ちょっと一言

- 本機に設定できるメールアドレスは1つだけです。複数のメールアドレスは設定できません。
- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

1 画面右下の[設定一覧]を選ぶ。

画面右下に［設定一覧］が表示されていないときは、画面に軽く触れると表示されます。

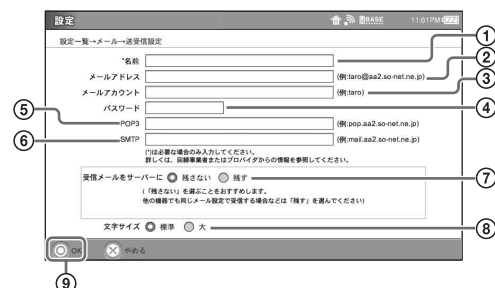
「設定一覧」画面が表示されます。

2 [メール]を選ぶ。

「メール」画面が表示されます。

3 [送受信設定]を選ぶ。

「送受信設定」画面が表示されます。

4 各項目を入力し、[OK]を選ぶ。

① 名前を入力する。
自分が送るメールの差出人の欄に、ここに入力した名前が表示されます。
通常はご自分の名前を入力します。

② メールアドレスを入力する。

③ メールアカウント＊1 を入力する。

④ プロバイダから指定されたメール用パスワード＊2 を入力する。
入力した文字は、「＊」で表示されます。

⑤ POP3 サーバー＊3 を入力する。
メール受信用のサーバーを指定します。

⑥ SMTP サーバー＊4 を入力する。
メール送信用のサーバーを指定します。

⑦ 受信メールをサーバーに残すか、残さないかを選ぶ。
通常は「残さない」を選びます。
同じメールを他の機器（パソコンなど）でも受信したい場合は、「残す」を選びます。
「残す」に設定すると、同じメールが何回も受信されることがあります。
お買い上げ時は「残さない」に設定されています。

⑧ 画面に表示するメールの文字の大きさを選択する。

⑨［OK］を選ぶ。

ちょっと一言

設定した内容は、画面をキャプチャー（画面保存）して、残しておくこともできます。（☞ 81 ページ）

それぞれの用語は次のように呼ばれることがあります。詳しくは、契約しているプロバイダからの資料などをご覧ください。

＊1 **「メールアカウント」の別の呼びかた**
「ユーザー名」、「POP アカウント」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POP サーバーアカウント」、「POP サーバーログイン名」

＊2 **「メール用パスワード」の別の呼びかた**
「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」

＊3 **「POP3 サーバー」の別の呼びかた**
「POP サーバー」、「メール受信サーバー」

＊4 **「SMTP サーバー」の別の呼びかた**
「メール送信サーバー」

「メール」画面に戻ります。

つづく

5 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

メールを送受信するための設定が終了したら ...

実際にメールを送受信できるか確認します。メールの送受信のしかたは、「メールを書く」（☞ 97 ページ）、「メールを読む」（☞ 101 ページ）をご覧ください。

モニターの接続タイプについて

本機のモニターには、さまざまな場所で使用できるように、以下の接続タイプが用意されています。モニターを使用するときは、それぞれの場所の環境に応じた接続タイプに切り換える必要があります。

ちょっと一言

- お買い上げ時の接続タイプは、家モード（ワイヤレス）になっています。自宅でワイヤレスでテレビを見るときは、接続タイプを切り換える必要はありません。
- 接続タイプを家モード（有線 LAN）、外モード（有線 LAN）で使用するときは、LAN ケーブル（別売り）が必要です。

モニターの接続タイプ		説明	参照ページ
家モード	ワイヤレス	自宅で、モニターをベースステーションにワイヤレスで接続し、テレビやビデオ、インターネット、メールを使うときに選びます。	49 ページ
	有線 LAN	自宅の家庭内 LAN にモニターを LAN ケーブル（別売り）で接続し、インターネットやメールで使うときに選びます。 テレビやビデオを見るときは、家庭内 LAN 上のベースステーションに有線 LAN で接続します。 例）家モード（ワイヤレス）ではテレビの映りがよくない場合や、画面上に BASE と表示されるときに選びます。	50 ページ 51 ページ
外モード	ワイヤレス	外出先で公衆無線 LAN にモニターをワイヤレスで接続し、インターネットやメールを使うときに選びます。 テレビやビデオを見るときは、インターネット経由で自宅のベースステーションに接続します（NetAV 機能）。 例）カフェや公共施設など、公衆無線 LAN サービスが利用できる場所で使うときに選びます。	50 ページ 54 ページ
	有線 LAN	外出先でモニターを LAN ケーブル（別売り）で接続し、インターネットやメールを使うときに選びます。 テレビやビデオを見るときは、インターネット経由で自宅のベースステーションに接続します（NetAV 機能）。 例）ホテルの部屋や公共施設など、LAN 回線の接続環境が利用できる場所で使うときに選びます。	51 ページ 62 ページ

ご注意

- 接続タイプが家モード（ワイヤレス）、外モード（ワイヤレス）の場合、モニターに電源が入っている間は、常に電波が出ています。電車の中や病院など、電波を出すことが禁止されているところでは、接続タイプを家モード（有線 LAN）または外モード（有線 LAN）に切り換えるか、モニターの電源を切っておくなどして、電波を出さないようにしてください。また、公衆無線 LAN を使ってよい場所でのみ、接続タイプを外モード（ワイヤレス）に切り換えるようにしてください。
- 外モードで NetAV 機能を利用するには、あらかじめベースステーション側とモニター側の両方で、NetAV 設定を行っておく必要があります。ベースステーション側の NetAV 設定は、外出先からはできません。あらかじめベースステーションにワイヤレスで接続できる場所で、接続タイプを家モード（ワイヤレス）に切り換え、NetAV 設定を行う必要があります。詳しくは、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。
- 自宅でモニターを無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、接続タイプは外モード（ワイヤレス）を選択してください。

画面右上に表示されるアイコンの見かた

画面右上には、本機の接続状態を示す以下のアイコンが表示されます。アイコンの内容は、接続タイプやそのときの接続状態によって異なります。

自宅でワイヤレスで接続しているときの例：

アイコン	意味
	モニター設定が家モードのときに表示されます。
	モニター設定が外モードのときに表示されます。
	モニター設定がワイヤレスのときに表示されます。
	モニター設定がワイヤレスで、モニターがネットワークに接続できない、または DHCP サーバーから IP アドレスの取得中など、モニターがネットワークに接続されていないときに表示されます。
	モニター設定が有線 LAN のときに表示されます。
	モニター設定が有線 LAN で、モニターがネットワークに接続できない、または DHCP サーバーから IP アドレスの取得中など、モニターがネットワークに接続されていないときに表示されます。
	モニター設定が家モード（ワイヤレス）または家モード（有線 LAN）で、モニターとベースステーションが通信しているときに表示されます。
	モニター設定が家モード（ワイヤレス）で、ベースステーションとモニターが通信できていないときに表示されます（圏外）。
	モニター設定が外モードで、モニターとベースステーションが NetAV 機能を利用して通信しているときに表示されます。
	モニター設定が家モード（ワイヤレス）または家モード（有線 LAN）で、別のモニターがベースステーションと NetAV 機能を利用して通信しているときに表示されます。 モニターはベースステーションと通信していますが、別のモニターが NetAV を利用しているため、テレビやビデオを見ることができません。テレビやビデオを見るには、［AV 開始］を選んでください。

アイコンは、接続状態に応じて、次のように組み合わされて表示されます。

モニター設定が外モード（ワイヤレス）でネットワークと接続されているとき：

モニター設定が家モード（有線 LAN）で、モニターとベースステーションが通信できているとき：

モニターの接続タイプを切り換える

ここでは、モニターの接続タイプの切り換えかたについて説明します。外出先にモニターを持ち出して使うときや、外出先から戻って自宅で使うときなど、接続タイプを変更するときも、以下の手順で切り換える必要があります。

ちょっと一言

接続タイプによっては、あらかじめベースステーションとモニターで設定を行っておく必要があります。詳しくは、各項目の参照先をご覧ください。

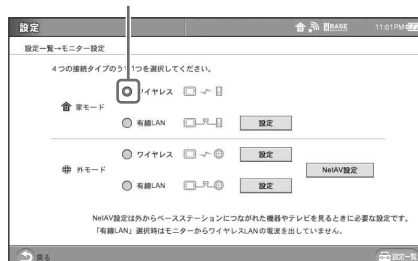
家モード(ワイヤレス)に切り換える

自宅でテレビやインターネットをワイヤレスで見るときは、家モード（ワイヤレス）に切り換えます。また、ベースステーションの設定を変更するときも、家モード（ワイヤレス）に切り換えてから行います。

1 **[設定一覧]画面を表示し、[モニター設定]を選ぶ。**

「モニター設定」画面が表示されます。

2 **家モードの[ワイヤレス]を選ぶ。**

ここを選びます

接続タイプが「家モード（ワイヤレス）」に変更されました。

3 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

ちょっと一言

ワイヤレスチャンネルの設定については、「ワイヤレスチャンネルを手動で変更する」（☞ 140 ページ）をご覧ください。

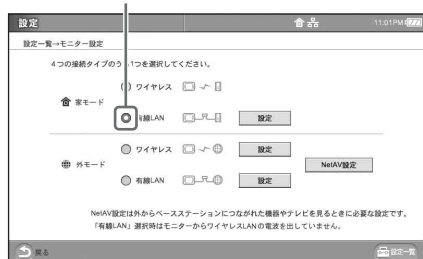
家モード(有線 LAN)に切り換える

家庭内 LAN に接続してテレビやインターネットを見るときは、家モード（有線 LAN）に切り換えます。はじめて家モード（有線 LAN）で使うときは、あらかじめベースステーションとモニターで設定が必要です。詳しくは、「モニターを家庭内 LAN に接続する」（☞ 51 ページ）をご覧ください。

1 ［設定一覧］画面を表示し、［モニター設定］を選ぶ。

「モニター設定」画面が表示されます。

2 家モードの［有線 LAN］を選ぶ。

ここを選びます

接続タイプが「家モード（有線 LAN）」に変更されました。

3 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

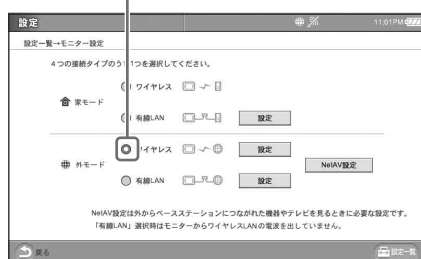
「外モード(ワイヤレス)に切り換える

街の公衆無線 LAN など、外出先でワイヤレスで使うときは、外モード（ワイヤレス）に切り換えます。詳しくは、「公衆無線 LAN で使う」（☞ 54 ページ）をご覧ください。また、［NetAV 設定］については、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。

1 ［設定一覧］画面を表示し、［モニター設定］を選ぶ。

「モニター設定」画面が表示されます。

2 ［外モード］の［ワイヤレス］を選ぶ。

ここを選びます

接続タイプが「外モード（ワイヤレス）」に変更されました。

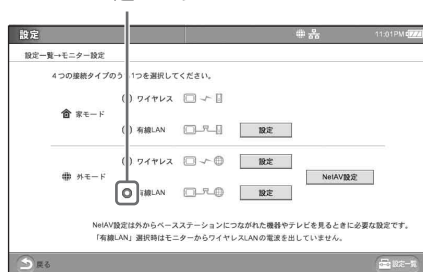
3 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

外モード(有線 LAN)に切り換える

外出先で有線 LAN で使うときは、外モードー有線 LAN に切り換えます。また、［NetAV 設定］については、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。

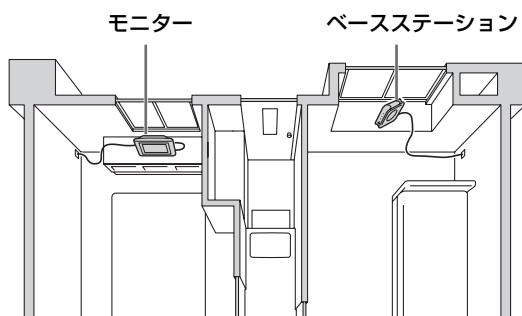
1 ［設定一覧］画面を表示し、［モニター設定］を選ぶ。

「モニター設定」画面が表示されます。

2 外モードの［有線 LAN］を選ぶ。

接続タイプが「外モード（有線 LAN)」に変更されました。

3 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

モニターを家庭内 LAN に接続する

本機では、モニターをベースステーションが接続されている家庭内 LAN に有線で接続して、テレビやインターネットを楽しむことができます。
家庭内 LAN で使う場合は、LAN ケーブル（別売り）で直接モニターを壁やルーターなどのイーサネット端子につないで使うことができます。
ワイヤレスではテレビの映りがよくない場合や画面上部にひんぱんに BASE と表示される場合に便利です。
家庭内 LAN に接続するには、以下の手順で必要な設定を行ってください。

ちょっと一言

ベースステーション用とモニター用の IP アドレスがそれぞれ必要になります。

ご注意

LAN 回線（PPPoE）でベースステーションをインターネットに接続している場合には、家庭内 LAN 接続機能は使えません。

有線 LAN を有効にする

ここでは、家庭内 LAN に接続して映像が見られるように、ベースステーション側の設定を行います。この設定は、家庭内 LAN に接続してテレビやビデオを見るときに必要です。インターネットやメールを使うときは必要ありません。
有線 LAN を有効にするには、ベースステーションとモニターがワイヤレスで接続されている必要があります。「モニター設定」画面でいっ

つづく

たん「家モード（ワイヤレス）」に切り換え、画面上部に BASE アイコンが表示されていることを確認してから、以下の設定を行ってください。

1 **[設定一覧]画面を表示し、[ベースステーション設定]を選ぶ。**

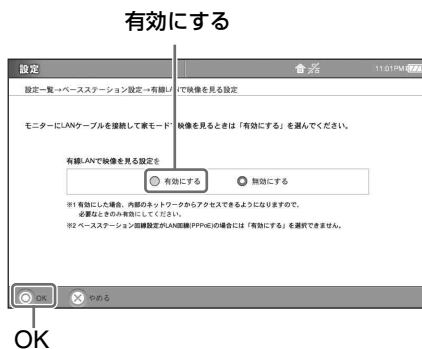
「ベースステーション設定」画面が表示されます。

2 **[有線LANで映像を見る設定]を選ぶ。**

「有線 LAN で映像を見る設定」画面が表示されます。

3 **[有効にする]を選び、[OK]を選ぶ。**

有効にする

OK

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

4 **[設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。**

モニターの設定をする

お買い上げ時の設定では、自動的にモニターの IP アドレスが取得されるようになっています。通常はこのまま使用できますが、手動で IP アドレスを設定したいときは、以下の手順を行ってください。

1 **[設定一覧]画面を表示し、[モニター設定]を選ぶ。**

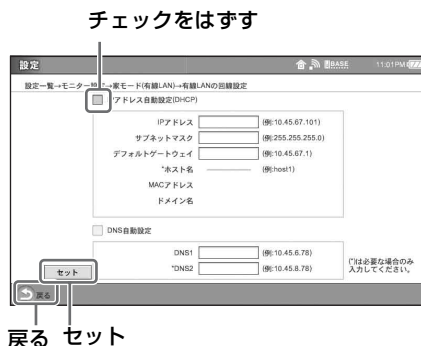
「モニター設定」画面が表示されます。

2 **[家モード(有線LAN)]の[設定]を選ぶ。**

「家モード（有線 LAN）設定」画面が表示されます。

3 **[有線 LAN の回線設定]を選ぶ。**

「有線 LAN の回線設定」画面が表示されます。

4 **[IP アドレス自動設定(DHCP)]のチェックをはずし、家庭内 LAN の設定やプロバイダの設定に合わせて各項目を入力し、[セット]を選んで[戻る]を選ぶ。**

ご注意

- ルーターやプロバイダなどの設定資料を参照し、正しく設定してください。間違った値を設定すると、モニターをインターネットに接続できなくなります。
- ベースステーションと同じ IP アドレスを設定しないでください。モニターとベースステーションが通信できなくなり、インターネットに接続できなくなったり、テレビやビデオが見られなくなります。

「家モード（有線 LAN）設定」画面が表示されます。

5 **[戻る]を選ぶ。**

「モニター設定」画面に戻ります。

6 **家モードの[有線 LAN]を選ぶ。**

7 **[設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。**

有線 LAN でテレビやビデオを見るときは、次項の「ベースステーションの IP アドレス」に進んでください。

ベースステーションの IP アドレス

家庭内 LAN でテレビやビデオを見るには、モニターにベースステーションの IP アドレスが正しく設定されている必要があります。一度ベースステーションとモニターを「家モード（ワイヤレス）」で接続すると、自動的にベースステーションの IP アドレスが取得されます。
ベースステーションの IP アドレスは、「家モード（有線 LAN）設定」画面で［ベースステーションの IP アドレス］を選び、表示される「ベースステーションの IP アドレス」画面で確認できます。

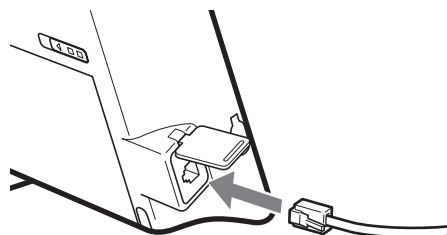
ちょっと一言

「家モード（有線 LAN）設定」画面は、「モニター設定」画面で［家モード（有線 LAN)］の右側にある［設定］を選ぶと表示されます。

ご注意

BASE が表示されていないときは、いったんモニター設定を家モード（ワイヤレス）に切り換え、BASE の表示を確認してから、再度家モード（有線 LAN）に切り換えてください。

モニターを有線 LAN で接続する

家庭内 LAN で使うための設定が終了したら、LAN ケーブル（別売り）を使って、モニターの LAN 端子と壁やルーターなどのイーサネット端子をつなぎます。

ちょっと一言

LAN ケーブルは、ストレートケーブルをお使いください。

ご注意

家庭内 LAN でテレビやビデオを楽しむとき、使用しているルーターまたはハブの性能によっては、正常に通信できない場合や他のインターネット機器の接続に影響が出る可能性があります。有線 LAN 接続では、10/100Base-T のハブ、ルーターであることを確認してください。

再びモニターをワイヤレスで使うには

モニター設定が家モード（有線 LAN）に設定されていると、モニターはワイヤレスでは使えません。モニターを家モード（ワイヤレス）で使うときは、「家モード（ワイヤレス）に切り換える」（☞ 49 ページ）をご覧ください。

公衆無線 LAN で使う

カフェや駅、空港のロビーなど、街の公衆無線 LAN でモニターを使うことができます。公衆無線 LAN を使用するには、あらかじめ設定を済ませておいてからアクセスポイントに接続する方法と、接続できるアクセスポイントを探して、その場で設定したアクセスポイントに接続する方法があります。なお、設定する公衆無線 LAN 情報は、利用する公衆無線 LAN によって異なります。公衆無線 LAN の資料を参照しながら設定してください。また、公衆無線 LAN で NetAV 機能を使う場合は、あらかじめ「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）を参照し、必要な設定を行ってください。

ご注意

- 本機では、主要な公衆無線 LAN サービスとの接続性を確認していますが、すべての公衆無線 LAN サービスとの接続性を保証するものではありません。
- 本機は、2.4 GHz 帯の 1 ～ 11 ch、5 GHz 帯の 34、38、42、46 ch の周波数に対応しています。これ以外の周波数で動作する公衆無線 LAN サービスとは接続できません。

ちょっと一言

事業者によっては、サービス加入時に本機の MAC アドレスが必要になる場合があります。本機のモニターのワイヤレス LAN で使用される MAC アドレスは、「LAN 回線（アドレス手動）を使って接続する」（☞ 60 ページ）の手順 3「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」の設定画面で確認できます。

公衆無線 LAN の設定を行う前に

「モニター設定」画面で、「外モード（ワイヤレス）」に切り換えてください。（☞ 50 ページ）

公衆無線 LAN に接続する

あらかじめアクセスポイントを設定する

あらかじめ接続する公衆無線 LAN 事業者のアクセスポイントの接続情報を設定しておくと、アクセスポイントですぐに接続できて便利です。接続に必要な設定情報は、各事業者にお問い合わせください。

1 **「設定一覧」画面を表示し、[公衆無線 LAN] を選ぶ。**

「公衆無線 LAN」画面が表示されます。

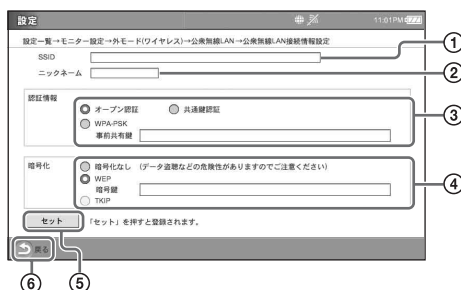
モニターの接続タイプが外モード（ワイヤレス）以外の場合は、［公衆無線 LAN］を選べません。その場合は、［モニター設定］を選び、［外モード（ワイヤレス）］を選んでください。

ちょっと一言

モニター設定の外モード（ワイヤレス）の［設定］を選び、［公衆無線 LAN］を選んでも「公衆無線 LAN」画面が表示されます。

2 **[新規] を選ぶ。**

「公衆無線 LAN 接続情報設定」画面が表示されます。

3 事業者の設定情報を見ながら、必要な項目を設定する。

① 接続する公衆無線 LAN 事業者に指定された SSID ＊を入力します。
＊「SSID」の別の呼びかた：「ESS-ID」、「ESSID」、「ネットワーク名」、「サービスセット識別子」

② ニックネーム（全角 8 文字、半角 16 文字以内）を入力します。
事業者によって SSID が覚えにくいときは、自分でわかりやすいニックネームをつけておくと便利です。

③ 事業者に指定された認証形式を選びます。

ちょっと一言

- 多くの事業者では［オープン認証］を使用しています。
- ［WPA-PSK］を選んだときは、事前共有鍵を入力します。入力可能な文字や文字数については「ワイヤレス LAN 設定の流れ」の手順 3（☞ 142 ページ）を参照してください。

④ 事業者に指定された暗号化の形式を選びます。
［WEP］の場合は、事業者に指定された暗号鍵を入力します。
暗号化されていない場合は、［暗号化なし］を選びます。

ちょっと一言

［WEP］を選んだ場合に、暗号鍵として入力可能な文字や文字数については「ワイヤレス LAN 設定の流れ」の手順 3（☞ 142 ページ）を参照してください。

⑤ 各項目を設定したら、［セット］を選びます。

⑥ ［戻る］を選びます。
「公衆無線 LAN」画面に戻ります。

4 ［ワイヤレス LAN ネットワーク一覧］に、手順 3 で設定した SSID とニックネームが表示されていることを確認する。

設定したアクセスポイントは、［登録済］欄に「＋」がついて表示されます。

5 ［戻る］を選ぶ。

手順 1 で「設定一覧」画面から［公衆無線 LAN］を選んだ場合は、「設定一覧」画面に戻ります。
手順 1 で「モニター設定」画面から外モード（ワイヤレス）の［設定］を選んだ場合は、「外モード（ワイヤレス）」画面に戻ります。その場合は、［戻る］を 2 回選ぶと、「設定一覧」画面に戻ります。

6 ワイヤレスの回線設定を行う。

事業者の設定にしたがって、「LAN 回線（DHCP）を使って接続する」（☞ 59 ページ）、「LAN 回線（アドレス手動）を使って接続する」（☞ 60 ページ）、「LAN 回線（PPPoE）を使って接続する」（☞ 60 ページ）のうち、いずれかの設定を行います。

ちょっと一言

多くの事業者では、「LAN 回線（DHCP）」を使用しています

7 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

設定済みのアクセスポイントに接続する

1 **「設定一覧」画面を表示し、[公衆無線LAN]を選ぶ。**

「公衆無線 LAN」画面が表示されます。

モニターの接続タイプが外モード（ワイヤレス）以外の場合は、[公衆無線 LAN] を選べません。その場合は、[モニター設定] を選び、[外モード（ワイヤレス)] を選んでから、外モード（ワイヤレス）の [設定] を選び、[公衆無線 LAN] を選んでください。

2 **[ワイヤレス LAN ネットワーク一覧] から設定済みのアクセスポイントを選び、[接続] を選ぶ。**

接続　**設定済みのアクセスポイントを選びます。**

設定済みのネットワークは［登録済］欄に「+」が付いて表示されています。また、現在無線接続可能なアクセスポイントは［電波］欄に「+」が付いて表示されています。アクセスポイントに接続すると、［現在の接続］に SSID や受信状態などが表示されます。

ご注意

- 事業者によっては、無線接続が可能でも［電波］欄に「+」が表示されないアクセスポイントもあります。その場合は、［電波］欄に「+」が表示されていなくても、アクセスポイントが正しく設定されていれば接続できます。
- しばらく待っても［現在の接続］に「SSID：....（接続先の SSID）を検索しています」が表示し続ける場合は、アクセスポイントが正しく設定されていない可能性があります。［編集］を選び、設定内容を確認してください。また、［WEP］の入力をやり直してください。
- 暗号化されていないアクセスポイントに接続すると、インターネットやメールなどを利用したときに、第三者に傍受される可能性があります。

3 **ネットワークに接続されたことを確認する。**

画面上部にネットワーク接続が確立したアイコンが表示されるのを待ちます。

	ネットワークに接続不可またはDHCP 取得中、PPPoE 認証中
	ネットワーク接続が確立

しばらく待っても［アイコン］が表示されない場合は、ワイヤレスの回線設定が正しく設定されていない可能性があります。事業者の設定にしたがって、ワイヤレスの回線設定を確認してください。

ご注意

ほとんどの事業者は LAN 回線（DHCP）を使って接続しますが、一部の事業者では LAN 回線（PPPoE）を使って接続します。使用する事業者の回線設定を確認してください。また複数の事業者を使用している場合は、接続先の事業者によって、回線設定の切り換えが必要になる場合があります。

4 **インデックス画面を表示し、[インターネット]を選ぶ。**

任意のホームページが表示できれば設定は完了です。事業者によっては、利用する公衆無線 LAN サービスの認証画面が自動的に表示されます。画面の指示にしたがって、ID とパスワードを入力してください。詳し

くは、利用する事業者のホームページなどで確認してください。

ちょっと一言

手順3で［アイコン］が表示される前にインターネット画面を表示すると、「Webサーバーに接続できません。」というエラーメッセージが表示されます。その場合は、［アイコン］が表示されてから、「ホーム」や「マーク」などからページを選んでください。

ご注意

事業者によっては公衆無線LANサービスの認証後、ログアウトするまでの時間で課金する場合があります。詳しくは、利用する事業者のホームページなどで確認してください。

接続できるアクセスポイントを探して接続する

1 ワイヤレスの回線設定で、LAN回線(DHCP)になっていることを確認する。(☞59ページ)

DHCP（アドレス自動取得）ではないアクセスポイントについては、必要な回線設定情報をアクセスポイントの管理者に確認のうえ、それに応じた設定をしてください。

ご注意

ほとんどの事業者はLAN回線（DHCP）を使って接続しますが、一部の事業者ではLAN回線（PPPoE）を使って接続します。使用する事業者の回線設定を確認してください。また複数の事業者を使用している場合は、接続先の事業者によって、回線設定の切り換えが必要になる場合があります。

2 「設定一覧」画面を表示し、[公衆無線LAN]を選ぶ。

「公衆無線LAN」画面が表示されます。

モニターの接続タイプが外モード（ワイヤレス）以外の場合は、［公衆無線LAN］を選べません。その場合は、［モニター設定］を選び、［外モード（ワイヤレス)］を選んでから、外モード（ワイヤレス）の［設定］を選び、［公衆無線LAN］を選んでください。

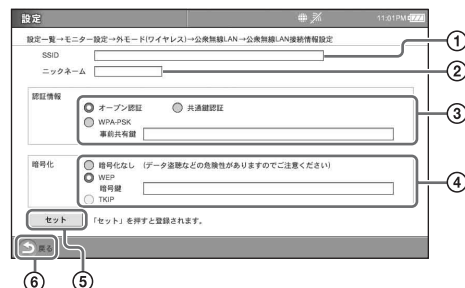
3 [ワイヤレスLANネットワーク一覧]から利用したいアクセスポイントを選び、[編集]を選ぶ。

編集　利用したいアクセスポイントを選びます。

現在無線接続可能なアクセスポイントは［電波］欄に「+」が付いて表示されています。

ご注意

事業者によっては無線接続が可能でも、一覧に表示されないものもあります。その場合は、「あらかじめアクセスポイントを設定する」（☞54ページ）を参照し、必要な設定をしてから、接続してください。

4 事業者の設定情報を見ながら、必要な項目を設定する。

① 接続する公衆無線LAN事業者に指定されたSSID＊を入力します。

つづく

＊「SSID」の別の呼びかた：「ESS-ID」、「ESSID」、「ネットワーク名」、「サービスセット識別子」

② ニックネーム（全角 8 文字、半角 16 文字以内）を入力します。
事業者によって SSID が覚えにくいときは、自分でわかりやすいニックネームをつけておくと便利です。

③ 事業者に指定された認証形式を選びます。

ちょっと一言

- 多くの事業者では［オープン認証］を使用しています。
- ［WPA-PSK］を選んだときは、事前共有鍵を入力します。入力可能な文字や文字数については「ワイヤレス LAN 設定の流れ」の手順 3（☞ 142 ページ）を参照してください。

④ 事業者に指定された暗号化の形式を選びます。
［WEP］の場合は、事業者に指定された暗号鍵を入力します。
暗号化されていない場合は、［暗号化なし］を選びます。

ちょっと一言

［WEP］を選んだ場合に、暗号鍵として入力可能な文字や文字数については「ワイヤレス LAN 設定の流れ」の手順 3（☞ 142 ページ）を参照してください。

⑤ 各項目を設定したら、［セット］を選びます。

⑥ ［戻る］を選びます。
「公衆無線 LAN」画面に戻ります。

5 ［ワイヤレス LAN ネットワーク一覧］に、手順 4 で設定した SSID とニックネームが表示されていることを確認し、［接続］を選ぶ。

アクセスポイントに接続すると、［現在の接続］に SSID や受信状態などが表示されます。

ご注意

- しばらく待っても［現在の接続］に「SSID：....（接続先の SSID）を検索しています」が表示し続ける場合は、アクセスポイントが正しく設定されていない可能性があります。［編集］を選び、設定内容を確認してください。また［WEP］の入力をやり直してください。
- 暗号化されていないアクセスポイントに接続すると、インターネットやメールなどを利用したときに、第三者に傍受される可能性があります。

6 ネットワークに接続されたことを確認します。

画面上部にネットワーク接続が確立したアイコンが表示されるのを待ちます。

	ネットワークに接続不可または DHCP 取得中、PPPoE 認証中
	ネットワーク接続が確立

しばらく待っても［アイコン］が表示されない場合は、ワイヤレスの回線設定が正しく設定されていない可能性があります。事業者の設

定にしたがって、ワイヤレスの回線設定を確認してください。

7 **インデックス画面を表示し、[インターネット]を選ぶ。**

任意のホームページが表示できれば設定は完了です。事業者によっては、利用する公衆無線 LAN サービスの認証画面が自動的に表示されます。画面の指示にしたがって、ID とパスワードを入力してください。詳しくは、利用する事業者のホームページなどで確認してください。

ちょっと一言

手順 3 で が表示される前にインターネット画面を表示すると、「Web サーバーに接続できません。」というエラーメッセージが表示されます。その場合は、 が表示されてから、「ホーム」や「マーク」などからページを選んでください。

ご注意

事業者によっては公衆無線 LAN サービスの認証後、ログアウトするまでの時間で課金する場合があります。詳しくは、利用する事業者のホームページなどで確認してください。

外モード（ワイヤレス）の回線設定をする

利用する公衆無線 LAN サービス事業者からの資料にしたがって設定してください。

LAN 回線（DHCP）を使って接続する

インターネットに接続することにより、DHCP サーバーから「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」が自動的に割り当てられます。DHCP サーバーによっては「DNS」も自動的に割り当てられます。

1 **画面右下の[設定一覧]を選ぶ。**

「設定一覧」画面が表示されます。

2 **[モニター設定]を選ぶ。**

「モニター設定」画面が表示されます。

3 **外モードの[ワイヤレス]を選ぶ。**

接続タイプが「外モード（ワイヤレス）」に変更されました。

4 **[外モード（ワイヤレス）]の[設定]を選ぶ。**

「外モード（ワイヤレス）設定」画面が表示されます。

5 **[ワイヤレスの回線設定]を選ぶ。**

「ワイヤレスの回線設定」画面が表示されます。

6 **[LAN回線（DHCP/アドレス手動）]の右側にある[設定]を選ぶ。**

ここを選びます

「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」の設定画面が表示されます。
IP アドレスなどの値が割り当てられているか、確認してください。

7 **[戻る]を選ぶ。**

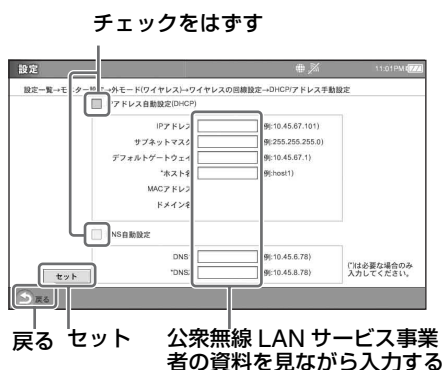
「ワイヤレスの回線設定」画面に戻ります。

LAN 回線(アドレス手動)を使って接続する

1 「LAN 回線(DHCP)を使って接続する」(☞ 59 ページ)の手順 1 ～ 5 を行い、「ワイヤレスの回線設定」画面を表示する。

2 [LAN回線(DHCP/アドレス手動)]の右側にある[設定]を選ぶ。

「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」の設定画面が表示されます。

3 [IP アドレス自動設定(DHCP)]、[DNS 自動設定]のチェックをはずし、公衆無線 LAN サービス事業者の資料を参照しながら「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「ホスト名」、「DNS1」、「DNS2」を入力し、[セット]を選んで[戻る]を選ぶ。

ちょっと一言

- 設定した内容は、画面をキャプチャー（画面保存）して、残しておくこともできます。（☞ 81 ページ）
- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

「ワイヤレスの回線設定」画面に戻ります。

4 [LAN回線(DHCP/アドレス手動)]を選ぶ。

確認の画面が表示されます。

5 [OK]を選ぶ。

「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」に設定されます。

6 [戻る]を選ぶ。

「外モード（ワイヤレス）の設定」画面に戻ります。

7 [戻る]を選ぶ。

「モニター設定」画面に戻ります。

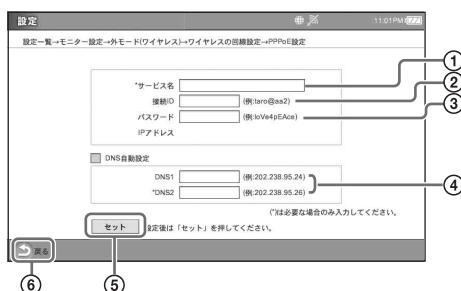
8 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

LAN 回線(PPPoE)を使って接続する

1 「LAN 回線(DHCP)を使って接続する」(☞ 59 ページ)の手順 1 ～ 5 を行い、「ワイヤレスの回線設定」画面を表示する。

2 **[LAN 回線(PPPoE)]の右側にある[設定]を選ぶ。**

「LAN 回線（PPPoE)」の設定画面が表示されます。

3 **公衆無線 LAN サービス事業者の資料を参照しながら各項目を入力し、[セット]を選んで[戻る]を選ぶ。**

① **公衆無線 LAN サービス事業者のサービス名を入力する。**
公衆無線 LAN サービス事業者を識別する名称です。
公衆無線 LAN サービス事業者によって入力が不要な場合もあります。公衆無線 LAN サービス事業者からの指示があるときのみ入力してください。

② **接続 ID＊1 を入力する。**
インターネットに接続するとき利用者本人であることを確認するための設定です。

③ **インターネット接続用パスワード*2を入力する。**
利用者本人であることを確認するための設定です。
入力した文字は、「＊」で表示されます。

④ **DNS1＊3、DNS2＊3 を入力する。**
公衆無線 LAN サービス事業者から指定された IP アドレスを入力します。
［DNS 自動設定］をチェックすると、自動的に値を取得します。
*公衆無線 LAN サービス事業者によっては自動取得できない場合があります。

⑤ **［セット］を選ぶ。**

⑥ **［戻る］を選ぶ。**

それぞれの用語は次のように呼ばれることがあります。詳しくは、公衆無線 LAN サービス事業者からの資料などをご覧ください。

＊1 **「接続 ID」の別の呼びかた**
「ユーザー名」、「ユーザー ID」、「PPP ログイン名」、「ネットワーク ID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」、「ログイン ID」、「接続アカウント」

＊2 **「パスワード」の別の呼びかた**
「PPP パスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」、「ログインパスワード」

＊3 **「DNS1」、「DNS2」の別の呼びかた**
DNS1：「ネームサーバー」、「プライマリ DNS サーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」
DNS2：「ネームサーバー」、「セカンダリ DNS サーバー」、「セカンダリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」

ちょっと一言

- 設定した内容は、画面をキャプチャー（画面保存）して、残しておくこともできます。（☞ 81 ページ）
- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

「ワイヤレスの回線設定」画面に戻ります。

4 **[LAN 回線(PPPoE)]を選ぶ。**

確認の画面が表示されます。

ご注意
すべての公衆無線 LAN サービス事業者の PPPoE 接続を保証するものではありません。

確認の画面が表示されます。

5 [OK]を選ぶ。

「LAN 回線（PPPoE）」に設定されます。

6 [戻る]を選ぶ。

「外モード（ワイヤレス）の設定」画面に戻ります。

7 [戻る]を選ぶ。

「モニター設定」画面に戻ります。

8 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

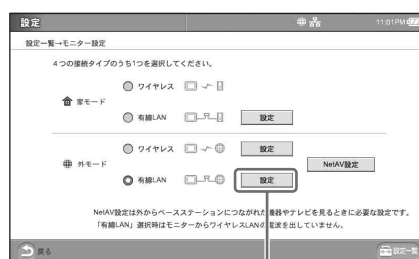
外出先で有線 LAN に接続する

ホテルの部屋や公共施設など、有線 LAN でインターネットに接続できる環境がある場所では、モニターを LAN ケーブル（別売り）でつないでホームページを見たり、メールをチェックしたりすることができます。
なお、設定情報や接続料金は、利用する接続環境によって異なります。詳しくは、利用する接続環境の資料をご覧ください。

外出先で NetAV 機能を利用する場合は、あらかじめ「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）を参照し、必要な設定を行ってください。

1 [設定一覧]画面を表示し、[モニター設定]を選ぶ。

「モニター設定」画面が表示されます。

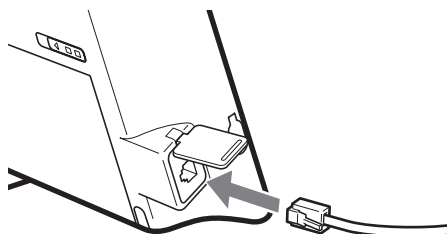
2 外モードの[有線 LAN]の[設定]を選ぶ。

「外モード（有線 LAN）の LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）設定」画面が表示されます。

3 インターネット接続環境に合わせて各項目を入力し、[セット]を選んで[戻る]を選ぶ。

「モニター設定」画面に戻ります。

ご注意

間違った値を入力すると、モニターをインターネットに接続できなくなります。

4 LAN ケーブル(別売り)を使って、モニターのイーサネット端子と接続先のイーサネット端子をつなぐ。

5 「モニター設定」画面で、外モードの[有線 LAN]を選ぶ。

有線 LAN のネットワークに正しく接続されると、画面上部にネットワークに接続が確立したことを示す が表示されます。 が表示されるまで、しばらくお待ちください。

	ネットワークに接続不可または DHCP 取得中
	ネットワーク接続が確立

6 インデックス画面を表示し、[インターネット]を選ぶ。

接続環境によっては、利用する接続サービスの認証画面が自動的に表示されます。その場合は、必要な手続きを行ってください。手続きの方法は、利用する場所や施設で確認してください。

NetAV 機能を利用する

外出先（駅の公衆無線 LAN やホテルの LAN コネクターなど）からインターネットを経由して自宅のベースステーションに接続し、テレビや外部入力機器の映像を楽しむことができます。

ちょっと一言

NetAV 機能の設定については、同梱の『NetAV セットアップガイド』もあわせてご覧ください。
また、下記のホームページでも、最新の情報をご案内しています。
http://www.sony.co.jp/airboard/QA/

ご注意

NetAV 機能を利用するには、外出前に以下の手順にしたがって、NetAV を利用するために必要なベースステーションとモニターの設定を行う必要があります。また、外出中もベースステーションやルーターなどの電源を入れておき、インターネット経由で接続できるようにしておく必要があります。

NetAV 機能をセットアップする前に

NetAV 機能を利用するには、以下のようなネットワーク環境が必要です。

- **ブロードバンド回線**
  ベースステーション接続回線の上り、モニター接続回線の下りとも、実効速度で 300 kbps 以上のブロードバンド回線が必要です。
- **固定グローバル IP アドレスまたはダイナミック DNS サービスへの加入**
  ベースステーションを設置する宅内ネットワーク環境にグローバル IP アドレス＊が必要です。
  ＊ 動的に割り当てられるグローバル IP アドレス（ダイナミック DNS）サービスと固定グローバル IP アドレスサービスがあります。

ご注意

- 以下の回線では、NetAV 機能は利用できません。
  - ISDN/ アナログ電話回線
  - PHS/ 携帯電話
  - グローバル IP アドレスが提供されていないタイプのインターネットマンションやケーブルテレビなどの回線
- 接続速度が遅い場合は、画像や音声が途切れる、ノイズが入るなどの影響があります。
- 宅内ネットワーク環境でファイヤーウォールを使用している場合は、NetAV 機能で使用するポート番号「5021」（お買い上げ時）を利用できるようにしておく必要があります。詳しくは、使用しているルーターなどのネットワーク機器の資料をご覧ください。
- プロキシサーバーを経由して NetAV 機能を利用することはできません。

セットアップの流れ

ここでは、NetAV 機能を利用するために必要なセットアップの流れを説明します。

外出前の準備（初めて使うときのみ）

外出先での準備

Step4 モニターをインターネットに接続する

外出先でNetAVを楽しむ

外出前の準備（はじめて使うときのみ）Step1 ネットワーク環境を整える

契約しているプロバイダやコースに合わせて、NetAV 機能を利用できるように、ベースステーションのネットワーク環境を整えます。
まず、「ベースステーションの回線の設定をする」（☞41 ～ 44 ページ）の設定を行い、モニターの接続タイプを家モード（ワイヤレス）にした状態で、インターネットに接続できる（ホームページが表示される）ことを確認してください。

固定グローバル IP アドレスサービスを利用して、NetAV 機能を利用する場合

ルーターのポートフォワーディング設定が必要です。ルーターの説明書などをご覧になり、以下のように設定してください。

＊「ポートフォワーディング」の別の呼びかた
「仮想サーバー」、「静的マスカレード」

ちょっと一言
ベースステーションのルーター自動設定（UPnP）機能（☞ 69 ページ）に対応しているルーターの場合は、ルーターのポートフォワーディング設定は必要ありません。詳しくは、使用するルーターの説明書をご覧ください。

ルーターの設定項目

設定方法	入力値（ベースステーションの IP アドレスが 192.168.0.64 の場合）
プロトコル	TCP
ポート番号	5021*1
サーバー IP アドレス	192.168.0.64*2

*1 ベースステーションの設定で、ポート番号を変更した場合は、その値に合わせてください。
*2 ベースステーションの ＩＰアドレスに合わせて設定してください。

このとき使用するグローバル IP アドレスは、「Step3 モニターの設定をする」（☞ 69 ページ）で必要になりますので、必ずメモしておいてください。
このあとは、「Step2 ベースステーションの設定をする」（☞ 67 ページ）に進んでください。

So-net のブロードバンド接続サービスから、NetAV 機能を利用する場合

So-net ダイナミック DNS サービスに利用申請・登録をし、ルーターの設定を行います。
So-net ダイナミック DNS サービスは、So-net とプロバイダ契約しているお客様のみが利用できる有料サービスです。

So-net ダイナミック DNS サービスに利用申請・登録する

1 インターネット画面の URL 入力欄に「http://www.so-net.ne.jp/ddns/」と入力する。
So-net が提供するダイナミック DNS サービスの申し込み画面が表示されます。

2 ご利用規約などをよく読み、「申し込み」または「登録はこちら」のリンクから登録する。
登録が完了すると、ホームページ上に「ドメイン名」が表示されます。

3 「ドメイン名」をメモしておく。
通常「ドメイン名」は、ご利用の ID に対して「taro.atso-net.jp」のようになります。
このドメイン名は、「Step3 モニターの設定をする」（☞ 69 ページ）で必要になりますので、必ずメモしておいてください。

つづく

4 「ドメインの公開」などを設定し、ドメインを有効にする。

ドメインを有効にすると、外部からこのホスト（この場合はベースステーション）をドメイン名で参照できるようになります。

ちょっと一言

「ドメインの公開」ボタンを選択してからドメインが有効になるまで、10 分程度かかる場合があります。

5 ルーターの設定をする。

ルーターのポートフォワーディング設定を行います。設定方法は、使用するルーターの説明書をご覧ください。なお、ベースステーションのルーター自動設定（UPnP）機能（69 ページ）に対応しているルーターの場合は、ルーターのポートフォワーディング設定は必要ありません。詳しくは、使用するルーターの説明書をご覧ください。

ちょっと一言

ルーターを使用して NetAV 機能を利用する場合、ルーター側の UPnP 機能またはポートフォワーディング機能の設定が必要になります。
ルーターの設定について詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。

- ルーター側の回線の自動切断機能はオフにしてください。
- UPnP 対応ルーターを使用する場合
  ルーターの UPnP 機能を有効にする設定が必要です。この場合は、ルーターのポートフォワーディングの設定は必要ありません。すでにポートフォワーディングを設定している場合は削除してください。
- ルーターの UPnP 機能を使用しない場合
  ルーターのポートフォワーディングの設定が必要です。この場合は、ベースステーション設定の「NetAV 有効 / 無効設定」画面で［ルーター自動設定（UPnP）］を［無効にする］に設定してください（☞ 69 ページ）。また、ベースステーションの IP アドレスを固定 IP アドレスに設定してください。

このあとは、「Step2 ベースステーションの設定をする」（☞ 67 ページ）に進んでください。

ダイナミック DNS 対応のブロードバンドルーターを使用して、NetAV 機能を利用する場合

お使いのブロードバンドルーターの説明書を参照しながら、以下の設定を行ってください。

1 利用するダイナミック DNS サービスに利用申請・登録する。

本機やパソコンを使って、インターネットから利用するダイナミック DNS サービスへの登録を行います。
登録・申請手順、初期登録料、月額利用料などに関しては、ダイナミック DNS サービスを提供する会社にお問い合わせください。
このとき取得したドメイン名は、「Step3 モニターの設定をする」（☞ 69 ページ）で必要になりますので、必ずメモしておいてください。

2 モデムの設定をする

使用するモデムがルーターモードの場合は、ブリッジモードに設定します。設定方法については、使用するモデムの説明書をご覧ください。

3 ルーターの設定をする

利用するダイナミック DNS サービス、モデムに合わせて、接続タイプ、ダイナミック DNS、ポートフォワーディングの設定を行います。設定方法については、使用するルーターの説明書をご覧ください。

なお、ベースステーションのルーター自動設定（UPnP）機能（69 ページ）に対応しているルーターの場合は、ルーターのポー

トフォワーディング設定は必要ありません。詳しくは、使用するルーターの説明書をご覧ください。

ちょっと一言

ルーターを使用してNetAV機能を利用する場合、ルーター側のUPnP機能またはポートフォワーディング機能の設定が必要になります。
ルーターの設定について詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。

- ルーター側の回線の自動切断機能はオフにしてください。
- UPnP対応ルーターを使用する場合
  ルーターのUPnP機能を有効にする設定が必要です。この場合は、ルーターのポートフォワーディングの設定は必要ありません。すでにポートフォワーディングを設定している場合は削除してください。
- ルーターのUPnP機能を使用しない場合
  ルーターのポートフォワーディングの設定が必要です。この場合は、ベースステーション設定の「NetAV有効/無効設定」画面で[ルーター自動設定（UPnP）]を[無効にする]に設定してください（☞69ページ）。また、ベースステーションのIPアドレスを固定IPアドレスに設定してください。

このあとは、「Step2 ベースステーションの設定をする」（☞67ページ）に進んでください。

外出前の準備（はじめて使うときのみ）Step2 ベースステーションの設定をする

NetAV機能を利用するために、ベースステーション側で必要な設定を行います。

ベースステーションのIPアドレスを設定する

NetAV機能を利用する場合は、ベースステーションのIPアドレスが動的に変更されないように、手動で固定のIPアドレスを設定する必要があります。
ルーターのDHCP機能を利用してパソコンなどを接続している場合は、DHCP用に割り当てられていないIPアドレスをベースステーションに設定します。

1 [設定一覧]画面を表示し、[ベースステーション設定]を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面が表示されます。

2 [ベースステーション回線設定]を選ぶ。

「ベースステーション回線設定」画面が表示されます。
[ベースステーション回線設定]は、「家モード（ワイヤレス）」のときに選ぶことができます。[ベースステーション回線設定]が選べないときは、「モニター設定」画面で「家モード（ワイヤレス）」に切り換えてください。

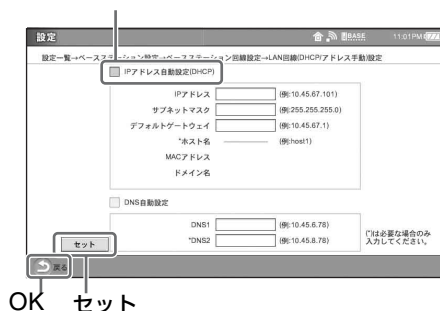
3 [LAN回線（DHCP/アドレス手動）]を選び、[設定]を選ぶ。

4 [IPアドレス自動設定（DHCP）]のチェックをはずしてから、ルーターの設定やプロバイダの設定に合わせて各項目を入力し、[セット]を選んで[OK]を選ぶ。

ちょっと一言

UPnP対応ルーターを使用する場合は、手動でIPアドレスを設定する必要はありません。[IP

つづく

アドレス自動設定（DHCP）］がチェックされていることを確認し、手順5に進んでください。

設定方法	入力値（ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合）
IPアドレス	192.168.0.64*1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
DNS1	192.168.0.1
DNS2	空欄
ホスト名	空欄

*1 Step1のルーターの設定で設定したポートフォワーディングのIPアドレスに合わせて設定してください。（☞ 65ページ）

「ベースステーション回線設定」画面に戻ります。

5 **［戻る］を選ぶ。**

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

6 **［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。**

7 **インターネットに接続し、LAN回線の設定が正しく行われているか確認する。**

ホームページが表示できるかどうか確認してください（☞ 82ページ）。

ベースステーションのNetAVの設定をする

ベースステーションから外出先のモニターに映像を送るために必要な設定を行います。

1 **［設定一覧］画面を表示し、［ベースステーション設定］を選ぶ。**

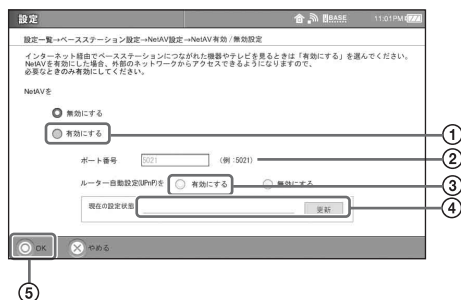
「ベースステーション設定」画面が表示されます。

2 **［NetAV設定］を選ぶ。**

「NetAV設定」画面が表示されます。
［NetAV設定］は、「家モード（ワイヤレス）」のときに選ぶことができます。
［NetAV設定］が選べないときは、「モニター設定」画面で「家モード（ワイヤレス）」に切り換えてください。

3 **［NetAV有効/無効設定］を選ぶ。**

「NetAV有効/無効設定」画面が表示されます。

4 各項目を設定し、[OK]を選ぶ。

① ［有効にする］を選ぶ。

② 必要に応じて、NetAV サーバーのポート番号を変更する。
ポート番号は、5021 ～ 5999 まで設定できます。

③ ［ルーター自動設定（UPnP)］を［有効にする］選ぶ。
UPnP 対応ルーターを使用する場合は、ルーターポートフォワーディング自動（UPnP）機能を使用するように設定できます。UPnP 機能を使用すると、ルーター側でポートフォワーディングの設定が不要になります。

④ 現在のルーターの自動設定（UPnP）の設定状態が表示されます。
「正常です」と表示されれば、正常に動作しています。

ご注意
③ でルーターの設定を変更した場合、④ 現在のルーターの自動設定（UPnP）の設定状態を更新するには、⑤ で一度［OK］を選んでから再び［NetAV 有効 / 無効設定］画面を表示してください。

⑤ ［OK］を選ぶ

ご注意
NetAV を有効にすると、ベースステーションに外部のネットワークからアクセスできるようになりますので、NetAV 機能を使用するときのみ有効にしてください。

「NetAV 設定」画面に戻ります。
なお、② で設定したポート番号は、「Step3 モニターの設定をする」（☞ 69 ページ）で必要になりますので、必ずメモしておいてください。

5 ［戻る］を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

6 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

以上で、外出前の準備ができました。Step3 以降は外出先で設定できます。

外出前の準備（はじめて使うときのみ）Step3 モニターの設定をする

外出先のモニターからベースステーションに接続して、映像を受信するための設定を行います。

1 ［設定一覧］画面を表示し、［モニター設定］を選ぶ。

「モニター設定」画面が表示されます。

2 ［NetAV 設定］を選ぶ。

「NetAV 設定」画面が表示されます。

3 ［NetAV 接続先の設定］を選ぶ。

「NetAV 接続先の設定」画面が表示されます。

4 各項目を入力し、[OK]を選ぶ。

① 「外出前の準備（はじめて使うときのみ）Step1 ネットワーク環境を整える」（☞ 65 ページ）でダイナミック DNS サービスに利用申請したときに登録したドメイン名を入力する。
ドメイン名は「taro.atso-net.jp」の形式で入力してください（「http://」などはつけないでください）。
固定グローバル IP アドレスサービスをご利用の場合は、固定グローバル IP アドレスを入力してください。
② 「ベースステーションのNetAVの設定をする」（☞ 68 ページ）で設定した NetAV サーバーのポート番号を入力する。
③ ［OK］を選ぶ。

「NetAV 設定」画面に戻ります。

5 [戻る]を選ぶ。

「モニター設定」画面に戻ります。

6 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

外出先での準備 Step4 外出先でモニターをインターネットに接続する

ご注意
自宅にあるベースステーションの電源が入っていないと、外出先で NetAV 機能を利用できません。NetAV 機能をご利用になるときは、必ずベースステーションやルーターなどの電源を入れておいてください。

1 外モードでモニターをインターネットに接続する。

有線 LAN で接続する場合は、「外出先で有線 LAN に接続する」（☞ 62 ページ）をご覧ください。
ワイヤレスで接続する場合は、「公衆無線 LAN で使う」（☞ 54 ページ）をご覧ください。

2 ホームページを表示して、モニターのインターネット接続設定が正しく行われているか確認する。

① モニター上部にある［インデックス］ボタンを押し、インデックス画面から［インターネット］を選ぶ。
② ホームで設定されているホームページなどが正しく表示できることを確認する。

3 テレビまたはビデオ入力チャンネルを選び、[NetAV 接続]を選ぶ。

NetAV 接続

モニターが自宅のベースステーションに接続できると、画面右上に NET-AV が表示されます。NET-AV が表示されてしばらくすると、映像が表示されます。
テレビやビデオの操作については、「テレビ / ビデオを見る」（☞ 77 ページ）をご覧ください。

NetAV 接続に失敗した場合は、「故障かな？と思ったら」（☞ 149 ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

NetAV 機能を利用しているときは、ベースステーションの［NetAV］ランプが緑色に点灯します。

NetAV 機能でテレビ / ビデオを見る

家の中でテレビやビデオを見るときと同じように、チャンネルの切り換えや音量の調節ができます。詳しくは、「テレビ / ビデオを見る」（☞ 77 ページ）をご覧ください。
また、付属の AV マウスを接続すると、ビデオチャンネルで画面上のリモコンから家の外部入力機器を操作できます。

ちょっと一言

- 著作権保護されているコンテンツによっては、視聴できないことがあります。
- NetAV 利用中は、チャンネルを変えてから番組が映るまで、しばらくかかることがあります。

テレビの画面サイズを変えるには

［サイズ変更］を選ぶと、テレビ画面のサイズを変更できます。選ぶたびに、画面サイズが 3 段階に切り換わります。お買い上げ時の設定では、画面いっぱいに映像が表示されます。

ちょっと一言

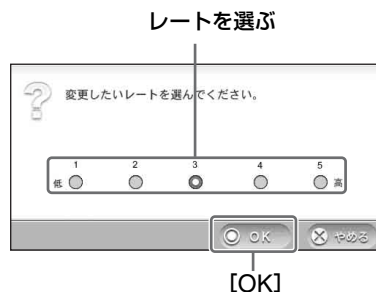
回線の速度によっては、画面いっぱいに映像を表示すると画像が粗くなる場合に、画面サイズを小さくすると画像が見やすくなります。

レートを切り替えるには

NetAV 利用中に、ネットワーク状態に応じて、レートを設定できます。
レートの段階が高いほど高画質となります。

1 ［レート変更］を選ぶ。

レートを設定する画面が表示されます。

2 レートを選び、［OK］を選ぶ。

レートは、NetAV の利用中に変更できます。

NetAV を終了するには

画面下の［NetAV 切断］を選びます。

モニターを海外で使う際のご注意

■ モニター部を海外へ持ち運ぶ前に

無線に関する規制は国や地域によって異なります。海外へ持ち運ぶ場合は、お出かけ前に、必ず［外モード（有線 LAN）］に設定してください。（☞ 51 ページ）（［外モード（有線 LAN）］に設定すると、モニターから電波は出ません）

■ 電源について

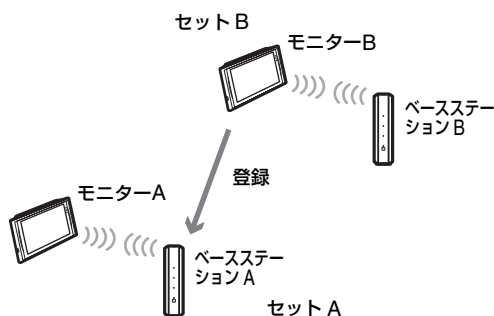
付属の AC アダプターは、どの国や地域の電源（AC100 V ～ 240 V · 50/60 Hz）でもお使いになれます。
また、バッテリーの充電もできます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターが必要です。
変換プラグアダプターについては、あらかじめ旅行代理店などでご確認の上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

■ インターネット接続環境について

300 Kbps 以上のネットワークの環境下でご利用ください。
ソニー株式会社は、本製品を海外で使用する際のプロバイダとの接続環境については保証しません。日本以外でのインターネットへの接続に関しては、お客様ご自身でプロバイダまでご確認ください。
なお、モニター部は、LAN 回線（PPPoE）への直接の接続には対応しておりません。モニターの接続設定が PPPoE の場合はルーターをご利用のうえ、DHCP で設定してください。

※本機は日本国内向けの仕様になっております。
本機を海外でご使用いただいた際の故障・不具合などは、製品保証の範囲に含まれませんのであらかじめご了承ください。
※渡航の際には貨物申告を必要とする場合があります。
詳しくは税関のホームページ、大使館・領事館などでご確認ください。

複数のモニターをベースステーションに登録するには

本機は、ベースステーションとモニターから構成されています。お買い上げ時に同梱されていたモニターとは別のモニターをベースステーションに登録し、NetAV 機能を利用できます。
モニターは 4 台まで登録できます。ただし、登録できる機器は、ロケーションフリーテレビ LF-X5 のモニターとベースステーションのみとなります。

ここでは例として、セット A のベースステーションに、別のセット B のモニターを登録する手順を説明します。
モニター A、モニター B の両方から設定操作が必要です。

ご注意

- この機能は、個人で楽しむ目的以外では使用できません。
- 登録した複数のモニターで、テレビやビデオなどの映像を同時に見ることはできません（映像を見ることができるのは、常に 1 台のモニターだけとなります）。
- モニター A が家モードでベースステーション A と通信してテレビやビデオを見ている間は、モニター B からベースステーション A に対して、NetAV 機能は利用できません。ただし、ベースステーションの設定をするときに、「家モード」より「外モード」を優先するようにチェックした場合は、モニター A が家モードでテレビやビデオを見ているときでも、モニター B からベースステーション A に対して NetAV 接続を開始できます。
- NetAV 機能を使ってベースステーションが映像を送信している間は、他のモニターから NetAV 機能を利用することはできません。例えば、モニター A が外モードでベースステーション A と通信して NetAV を使用している間は、モニター B はベースステーション A に対して NetAV 機能を利用できません。同様に、モニター B がベースステーション A に接続して NetAV を使用している間は、モニター A はベースステーション A に対して NetAV 機能を利用できません。

ベースステーションの設定をする

この設定を行う前に、ベースステーション A の NetAV 設定を有効にしておく必要があります。
「ベースステーションの NetAV の設定をする」

（☞ 68 ページ）を参照し、モニター A とベースステーション A が NetAV を使用できることを確認してください。
以下の設定を行った後で、モニター A に設定されている NetAV 接続先の設定（ドメイン名とポート番号）をモニター B に入力しますので、必ずメモしておいてください。
はじめに、ベースステーション A をモニター登録を受け付ける状態に設定します。この設定はモニター A で行います。モニター設定は、「家モード（ワイヤレス）」で行ってください。

1 [設定一覧]画面を表示し、[ベースステーション設定]を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面が表示されます。

2 [NetAV 設定]を選ぶ。

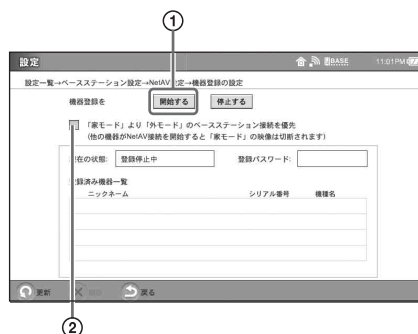
「NetAV 設定」画面が表示されます。

ご注意

［NetAV 設定］は、モニター設定が［家モード（ワイヤレス）］のときに選べます。［NetAV 設定］が選べないときは、［戻る］を選んで「設定一覧」画面を表示し、［モニター設定］を選んで［家モード（ワイヤレス）］に切り換えてください。

3 [機器登録の設定]を選ぶ。

「機器登録の設定」画面が表示されます。

4 各項目を設定する。

① ［開始する］を選ぶ。
② モニター A が家モードでテレビやビデオを見ているときに、登録したモニターからの NetAV 接続を優先する場合は、ここをチェックする。
ここをチェックした場合は、モニター B が NetAV 接続を開始すると、モニター A ではテレビやビデオの映像が表示されなくなります。ただし、モニター A が家モードのときは［AV 開始］を選ぶことで、モニター B の NetAV 接続を中断し、テレビやビデオの映像を再び表示させることができます。

［開始する］を選ぶと、現在の状態が「登録停止中」から「登録受付中」に変わり、［登録パスワード］に 8 桁のパスワードが表示されます。このパスワードは、モニター B で登録設定をするときに必要になりますので、メモしておいてください。

ちょっと一言

- モニター B からの登録設定が成功する（☞ 75 ページ）と、［登録済み機器の一覧］にモニター B の情報が表示されます。表示されない場合は、［更新］を選び、［登録済み機器一覧］の表示を更新してください（現在の状態は、［登録停止中］に戻ります）。
- 登録受付中をやめたいときは、［停止する］を選んでください。
- パスワードは、1 回登録するごとに変更されます。また、登録受付中をやめ、再度登録を開始すると、パスワードは新しいものに変更されます。

- 一度登録したモニターからベースステーションへの接続をやめたいときは、登録解除したいモニターをチェックし、[削除]を選んでください。

5 **[戻る]を選ぶ。**

「NetAV 設定」画面に戻ります。

6 **[戻る]を選ぶ。**

「ベースステーション設定」画面が表示されます。

7 **[設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。**

続いて「モニターを設定する」に進んでください。

ご注意

ベースステーション A の電源は切らないでください。

登録モニターの設定をする

ベースステーションの設定を行ってモニター登録を受け付ける状態に設定したら、登録したいモニター(モニター B)の登録を行います。この設定は、モニター B から行います。このときモニター B は、外モードでインターネットに接続している必要があります。

1 **[設定一覧]画面を表示し、[モニター設定]を選ぶ。**

「モニター設定」画面が表示されます。

2 **外モードの[ワイヤレス]、または外モードの[有線 LAN]を選び、インターネットに接続する。**

ご注意

外モード(ワイヤレス)を選んだときは、手順 7 で[登録開始]を行うまでの間に、公衆無線 LAN でワイヤレスネットワークに接続する必要があります。公衆無線 LAN の接続については、「公衆無線 LAN で使う」(☞ 54 ページ)をご覧ください。

3 **[NetAV 設定]を選ぶ。**

「NetAV 設定」画面が表示されます。

4 **[NetAV 接続先の設定]を選ぶ。**

「NetAV 接続先の設定」画面が表示されます。

5 **各項目を入力し、[OK]を選ぶ。**

① 登録先のベースステーション(ベースステーション A)のドメイン名または固定 IP アドレスを入力する。
② 登録先のベースステーション(ベースステーション A)のポート番号を入力する。
③ [OK]を選ぶ。

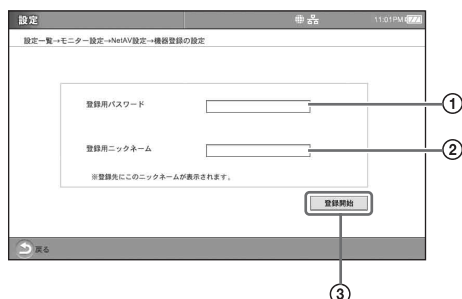
「NetAV 設定」画面に戻ります。

ちょっと一言

同梱のベースステーション（モニターBの場合はベースステーションB）との間で、すでにNetAV機能を利用している間は、登録先のベースステーション（ベースステーションA）のドメイン名とポート番号に変更してください。

6 [機器登録の設定]を選ぶ。

「機器登録の設定」画面が表示されます。

7 各項目を設定し、[登録開始]を選ぶ。

① 「ベースステーションの設定をする」（☞ 72ページ）の手順4で取得した登録用パスワードを入力する。

② モニターBの名前を20字以内の半角英数字で入力する。
ここで設定した名前が、「機器登録」画面の［登録済み機器一覧］に表示されます。
この名前は、ベースステーションAにどのモニターが登録されているかを識別する名前です。他のモニターとは異なる名前を入力してください。

③ ［登録開始］を選ぶ。

確認のメッセージが表示されます。

8 [OK]を選ぶ。

「登録中です。お待ちください。」というメッセージの後に、「登録しました。」というメッセージが表示されると、モニター登録は成功です。

ご注意

「登録に失敗しました。」というメッセージが表示された場合は、手順5で入力した接続先のベースステーションのドメイン名とポート番号を確認してください。それ以外のエラーメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがって確認してください。

9 [OK]を選ぶ。

「NetAV設定」画面が表示されます。

10 [戻る]を選ぶ。

「モニター設定」画面が表示されます。

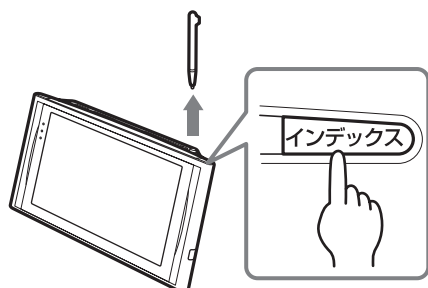
11 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

登録したモニターでNetAVを利用するときのご注意

- 1台のベースステーションに4台までのモニターを登録できますが、同時に複数のモニターでテレビやビデオなどの映像を見ることはできません（映像を見ることができるのは、常に1台のモニターだけとなります）。
- 登録したモニターからNetAV接続を行うと、モニター設定の「NetAV設定」画面－「NetAV接続先の設定」画面に設定されているドメイン名とポート番号を持つベースステーションに接続されます。お買い上げ時のベースステーションと機器登録したベースステーションで、NetAVの接続先を切り換える場合は、その都度、接続したいベースステーションのドメイン名とポート番号に設定し直してください。
- 登録の解除は、ベースステーション側の設定で行います（☞ 73ページ）。そのため、ベースステーションの初期化を行うと、登録情報も消去されます。

インデックス(メニュー)を表示する

テレビ、ビデオ入力、インターネット、メール、アルバムのそれぞれの画面の切り換えは、インデックス画面から行います。

1 [インデックス]ボタンを押して、タッチペンを取り出す。

インデックス画面が表示されます。

ちょっと一言

各種設定画面を表示するときは、画面右下の［設定一覧］を選びます。テレビ・ビデオの画面が表示されているときは、画面に軽く触れると右下に［設定一覧］が表示されます。

2 見たい項目を選ぶ。

ちょっと一言

- 再度インデックス画面を表示するには、再度［インデックス］ボタンを押します。
- インデックス画面を消すには、再度［インデックス］ボタンを押します。
- インデックス画面が表示されているときは、インデックス画面の背景にあるボタンと［キャプチャー］ボタンは無効になります。

手順 2 で選んだ画面が表示されます。

テレビ / ビデオを見る

インデックス画面を表示し（☞ 76 ページ）、見たいチャンネルやビデオ入力を選ぶ。

ちょっと一言

- モニターの電源を入れると、まずテレビまたはビデオ（電源を切る直前に見ていたテレビのチャンネルまたはビデオ入力）が映ります。
- 外モード（NetAV）でテレビ / ビデオを見るとき、家モードと同じチャンネルを選ぶことができますが、チャンネルを選ぶ前に NetAV 接続が必要になります。詳しくは、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。
- テレビやビデオの画面に触れると、テレビ画面のときはテレビチャンネル一覧が、リモコン設定されているビデオ画面のときは、設定されたリモコンが画面上に表示されます。

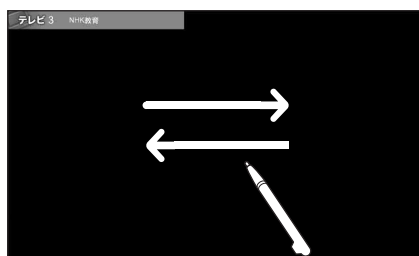
テレビチャンネル一覧からチャンネルを選ぶには

画面に触れてテレビチャンネル一覧を表示し、見たいチャンネルを選ぶ。
テレビチャンネル一覧は、画面操作後 5 秒で自動的に消えます。

テレビチャンネル一覧

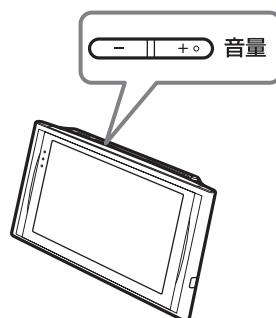
画面をなぞってチャンネルを選ぶには［チャンネルスライド］

左から右になぞると次のチャンネルが表示され、右から左になぞると前のチャンネルが表示されます。

画面をなぞってそのまま押しつづけると、チャンネルが次々と変わります。

ちょっと一言

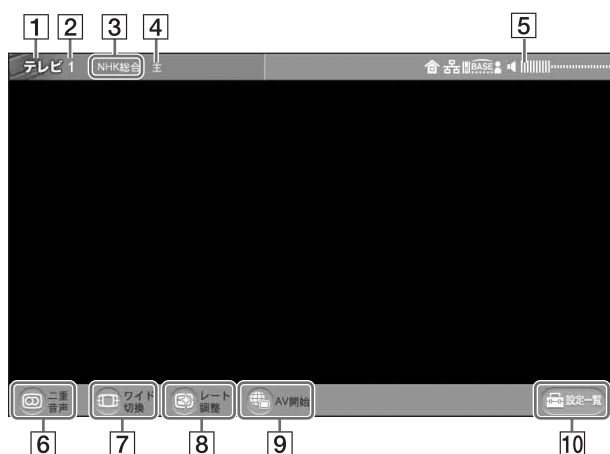
ビデオ入力画面のときは、接続した外部入力機器のチューナーのチャンネル送りをします（チューナーのある外部入力機器を接続し、リモコン設定（☞ 35 ページ）をしているときのみ有効です）。

音量を調節するには

音量を調節するときは、モニター上部の［音量＋ / −］ボタンを押します。

ちょっと一言

モニターの［音量−］を 2 秒押しつづけると、音量をすばやくゼロにすることができます。

テレビ / ビデオの基本画面

テレビ / ビデオ画面の各部の名前とはたらき

1 **テレビ / ビデオ表示**

2 **テレビのチャンネル番号**

3 **放送局名**

4 **二重音声表示（☞ 79 ページ）**
二重音声放送のとき、「主」、「副」、「主／副」のいずれかが表示されます。
ステレオ放送のときは「ステレオ」と表示されます。

5 **音量表示**
音量表示は、操作後約 5 秒で自動的に消えます。

6 **二重音声（☞ 79 ページ）**
二重音声放送時、音声を切り換えます。

7 **ワイド切換**
ワイドモードを切り換えます。
このボタンを押すたびに、「ワイドズーム」、「ノーマル」、「フル」、「ズーム」と切り換わります。

8 **レート調整**
お使いの通信環境に応じて、テレビおよびビデオ画質の最適化を行います。

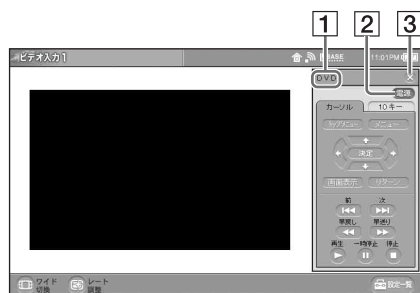
9 **AV 開始**
画面上部に BASE が表示されているときに表示されます。このボタンは、機器登録されたモニターがベースステーションに接続し、NetAV 機能を利用しているときに表示されます（☞ 64 ページ）。

10 **設定一覧**
各種設定をするための「設定一覧」画面を表示します。
「設定一覧」画面にある［テレビ・ビデオ］を選ぶと、画質や音質の調整やチャンネルの手動設定などができます。

NetAV 機能を利用しているときのボタン操作については、「NetAV 機能を利用する」（☞ 64 ページ）をご覧ください。

ご注意
パソコンのモニターなどに使用されているノンインターレース信号は、本機のモニターでは表示できません。

画面上のリモコンの各部の名前とはたらき

設定によって表示されるリモコンが異なりますが、ここでは各リモコン共通の機能について説明します。

1 **リモコン名表示**

2 **[電源]**
つないだ機器の電源の入 / 切を行います。

3 **閉じる**
画面上のリモコンを閉じます。

ご注意
- つないだ機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、画面上のリモコンに表示されているボタンでも、つないだ機器にない機能については操作できません
- つないだ機器に付属のリモコンのボタン名と画面リモコンのボタン名が異なることがあります。
- 一体型機器のリモコンをお使いの場合、[デッキ切換] ボタンを押すと、一体型機器に入っている 2 つのデッキの映像とリモコンを同時に切り換えますが、[デッキ切換] ボタンを押して表示されるデッキの映像と画面上のリモコンが一致しないときは ボタンを押すと映像が切り換わります。

音声を切り換える [二重音声]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

画面左下の[二重音声]をくり返し押す。

押すたびに、「主」→「副」→「主／副」→「主」の順に切り換わります。

ちょっと一言

ビデオ入力につないだ機器の二重音声切り換えは、つないでいる機器に付属のリモコンで行ってください。

レートを切り換える

画面左下の [レート調整] を選んだときに、通信状態に応じて、最適な映像を見ることができます。[レート調整] を選ぶと、画面上部に「レート調整中です。お待ちください」のメッセージが表示されます。最適なレートは通信状況によって変わりますが、[レート調整] を選ぶたびに最適なレートに調整されます。

ちょっと一言

一時的に映像が乱れることがありますが、故障ではありません。

ワイドモードを切り換える

画面左下の［ワイド切換］を押すと、ワイドモードを切り換えできます。

［ワイド切換］を押すたびに、ワイドモードが以下のように切り換わります。

ワイドズーム

［ワイドズーム］
画面縦横比 4:3 の映像を違和感なく画面いっぱいに拡大します。画面の中央より端のほうが画像の拡大比率が大きくなります。

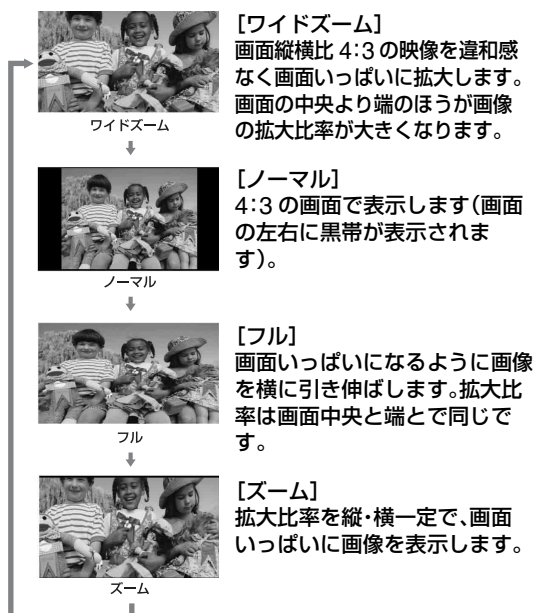
ノーマル

［ノーマル］
4:3 の画面で表示します（画面の左右に黒帯が表示されます）。

フル

［フル］
画面いっぱいになるように画像を横に引き伸ばします。拡大比率は画面中央と端とで同じです。

ズーム

［ズーム］
拡大比率を縦・横一定で、画面いっぱいに画像を表示します。

ちょっと一言

ワイドモードは、テレビやビデオ入力、設定画面など、すべての画面で適用されます。また、電源を切っても、ワイドモードは保持されます。

画面位置を調整する

ワイドモードがワイドズーム、ズームのときに、画面位置を縦方向に調整して、切れてしまった映像を表示できます。ノーマル、フルのときは、画面位置の調整はできません。

1 画面右下の［設定一覧］を選ぶ。
「設定一覧」画面が表示されます。

2 ［テレビ / ビデオ］を選ぶ。
「テレビ / ビデオ」画面が表示されます。

3 ［画面位置調整］を選ぶ。
「画面位置調整」画面が表示されます。

4 映像を見ながら、［＋］［－］ボタンを使って、映像を上下に動かして調整する。

ここに表示される映像を見ながら調整します。
－ 5 ～＋ 5 までの範囲で調節できます。

ご注意
外モード（ワイヤレス / 有線 LAN）設定時は、映像を見ながら設定することはできません。

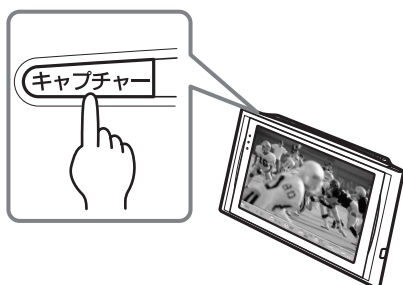
5 調整が終わったら、［戻る］を選ぶ。

6 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

キャプチャー(画面保存)する

モニターの［キャプチャー］ボタンを使って、モニターに表示されているテレビやビデオ入力、ホームページなどの画面を見たままキャプチャー（画面保存）できます。キャプチャー（画面保存）された画像は、静止画としてアルバムに保存されますので、好きなときにゆっくりと見ることができます。

- 個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。

とっておきたい画面が表示されているときに、[キャプチャー]ボタンを押す。

キャプチャー（画面保存）した画面がキャプチャーリストに表示され、アルバムに保存されます。

ご注意

キャプチャーリストに表示された後、すぐにモニターの電源を切ったり、バッテリーが切れてしまった場合には、キャプチャーされた画像はアルバムに保存されないことがあります。

ちょっと一言

- ホームページの画面をキャプチャー（画面保存）したときは、画像を指定して保存することもできます。（☞ 89 ページ）
- 次のときはキャプチャー（画面保存）できません。
  – インデックス画面が表示されているとき
  – キャプチャーした直後
  – スライドショーの実行時
  – テレビのチャンネル切り換えや、ビデオ入力 1/2 の切り換えをしているとき
  – 画面にメッセージ（ダイアログボックス）が表示されているとき
  –「ペン位置調整」画面が表示されているとき
  – アルバム画像を拡大表示しているとき
  – 映像にコピーガード信号が含まれているとき
  – MPEG1 方式の動画を再生しているとき

ホームページを見る

インターネット画面に切り換えて、ホームページを表示してみましょう。
ここでは例として、ソニードライブのホームページ（アドレス「http://www.sony.jp/」）を表示させます。

ちょっと一言

文字入力について詳しくは、「文字入力」（☞ 120ページ）をご覧ください。

1 **インデックス画面を表示し（☞ 76ページ）、[インターネット]を選ぶ。**

インターネット画面が表示されます。

2 **アドレス入力欄を選ぶ。**

アドレス入力欄

画面上に英数キーボードが表示されます。

3 **キーボードを使って「http://www.sony.jp/」と入力し、[入力終了]を選ぶ。**

キーボードが消え、ソニードライブのホームページの読み込み（ダウンロード）が始まります。読み込み中は画面左上のインターネットアイコンが動きます。完了するとソニードライブのホームページが表示され、インターネットアイコンは止まります。

ご注意

- 漢字やかな、スペースが使用されているアドレスは、表示できないことがあります。
- お使いの回線事業者やプロバイダにより、契約上、同時に１つの端末しかインターネットに接続できないことがあります。詳しくは回線事業者またはプロバイダに確認してください。

インターネットの基本画面

インターネット画面の各部の名前とはたらき

1 **インターネットアイコン**
ホームページなどを読み込んでいる（ダウンロードしている）ときは、このアイコンが動きます。

2 **インターネット表示**

3 **ページタイトル**
現在選ばれているタブに表示されているホームページのタイトルを表示します。

4 **アドレス入力・表示欄**（☞ 82 ページ）
現在見ているホームページのアドレスが表示されます。他のホームページを表示させるときは、この欄を選び、アドレスを入力します。

5 **（SSL）マーク**
SSL 対応のホームページのとき、このマークが表示されます。

6 **マーク**（☞ 85 ページ）
すでに登録されているお気に入りのホームページなどのマーク（アドレス）を表示します。また、マークを登録することもできます。

7 **履歴**（☞ 87 ページ）
過去に表示したホームページのアドレスの一覧を表示します。また、履歴を削除することもできます。

8 **保存**（☞ 87 ページ）
保存されたホームページの一覧を表示します。また、現在表示されているホームページを保存することもできます。ホームページを保存しておくと、インターネットに接続しなくても、保存したページを見ることができます。

9 **タブを閉じる**
現在表示されているタブ（☞10 タブ）のページを閉じ、空白ページを表示します。ページを閉じてもタブの表示だけは残ります。

10 **タブ**
本機はタブブラウザ機能を搭載し、最大 6 つまでのページを読み込んで切り換え表示できます。
- タブを選ぶと、そのタブに読み込まれたページが表示されます。
- モニターの電源を入れ、インターネット画面を表示すると、一番左側のタブが選ばれ、

「ホーム」に設定されているページが表示されます。

- 別のウィンドウが開くように作られているリンクを選んだときは、ページが読み込まれていないタブにリンク先のページが表示されます。
- 6個のタブがすべて埋まっている場合に、別のウィンドウが開くリンクを選んだときは、上バーに「タブがいっぱいです。別ページが開けません」と表示されます。その場合は、[タブを閉じる]（☞9 タブを閉じる）を選んで不要なページを閉じてから、再度リンクを選んでください。

⑪ **戻る**
1つ前のページに戻ります。

⑫ **進む**
次のページに進みます。

⑬ **ホーム**
「設定一覧」画面にある［インターネット］の［ホームページ］の［ホームの設定］に登録したホームページを表示します。

⑭ **更新**
現在表示しているアドレスのホームページを読み込んで、最新の情報を表示します。
（停止：ホームページの読み込みをやめます。）

⑮ **ページ内検索（☞ 90ページ）**
現在表示している画面の中にある文字列を検索します。
（コピー：反転表示された文字（テキスト）をコピーします。）

⑯ **文字サイズ**
画面上の文字の大きさを変えます。

⑰ **設定一覧（☞ 92ページ）**
各種設定をするための「設定一覧」画面を表示します。
「設定一覧」画面にある［インターネット］を選ぶと、ホームページを見るための設定などができます。

インターネットナンバーを使ってホームページを表示させるには

本機は、ホームページごとに決められた数字（インターネットナンバー）をアドレス欄に入力するだけでホームページを表示できるインターネットナンバーサービスに対応しています。
インターネットナンバーはインターネットナンバー（株）が提供しているサービスです。

インターネットナンバーの例：

 88881111（So-netのホームページ）
888（インターネットナンバー株式会社のホームページ）

ちょっと一言

7桁の郵便番号をアドレス欄に入力すると、その場所の地図が表示されます。

セキュリティ上のご注意

- 個人認証のために名前やパスワードなどの個人情報を入力、または登録する場合は、信頼できるサイトであることを確認してから行ってください。また、そのような入力操作を行う場合は、他のタブを閉じることをおすすめします。
- 本機は、インターネットのセキュリティを強化するために情報を暗号化するSSLに対応しています。SSLに対応しているホームページはアドレス入力欄の右側に🔒が表示されます。

ホームページを見るときの便利な機能

よく見るホームページのアドレスを登録する[マーク]

よく見るホームページやお気に入りのホームページのアドレスを登録（マーク）しておくと、毎回アドレスを入力したり、検索サービスで探さなくても、すぐに表示できます。本機には最大 100 件のホームページのアドレスを登録できます。

好みのホームページのアドレスを登録する

1 **登録したいホームページを表示し、[マーク]を選ぶ。**

画面右側に「マーク」リストのパネルが表示されます。

ちょっと一言

- 登録したホームページのタイトルやアドレスを変更できます。（☞ 86 ページ）
- ホームページのアドレスは、コンパクトフラッシュカードにも登録できます。また、コンパクトフラッシュカードに登録したアドレスを本機にコピーしたり、本機に登録したアドレスをコンパクトフラッシュカードにコピーすることもできます。

2 **[追加]を選ぶ。**

本体が選ばれているときは が、コンパクトフラッシュカードが選ばれているときは が表示されます

追加

このボタンはコンパクトフラッシュカードが挿入されているときのみ表示されます

ちょっと一言

コンパクトフラッシュカードにマークを追加したい場合は、［切換］を選び、コンパクトフラッシュカードに切り換えてから［追加］を選びます。

今見ているホームページのアドレスがリストの先頭に追加されます。

「マーク」リストのパネルを閉じるには、パネル右上にある を選んでください。

ご注意

ホームページの読み込みが完了していない場合は登録できません。登録できないときは、手順 2 の画面で［追加］が薄く表示されます。読み込みが完全に終わってから再度［追加］を選んでください。

マークに登録したホームページを見る

画面右上の［マーク］を選び、表示される「マーク」リストのパネルから、見たいホームページのタイトルを選びます。
選んだホームページが表示されます。

ご注意

ホームページの読み込みが完了していない場合は、マークに登録されているホームページを選ぶことはできません。読み込み中は、「マーク」リストにあるタイトルが薄く表示されます。読み込みが完全に終わってから、ホームページを選んでください。

ちょっと一言

- ［▶］を選ぶと次の「マーク」リストが表示され、［◀］を選ぶと前のリストが表示されます。
- コンパクトフラッシュカードに登録したホームページを見るには、「マーク」リストのパネル下部にある［切換］を選びます。

マークに登録したホームページのタイトルとアドレスを変更する

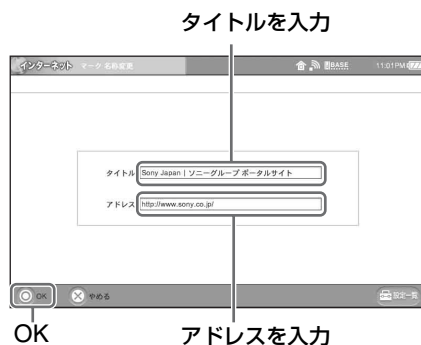
1 「マーク」リストのパネルで、[編集]を選ぶ。

「マーク編集」画面が表示されます。

2 タイトルまたは、アドレスを変えたいマークをチェックし、画面下部にある[名称変更]を選ぶ。

タイトルは 1 つずつ変更できます。

「マーク編集」画面が表示されます。

3 [タイトル]、[アドレス]の欄に新しいタイトルとアドレスを入力し、[OK]を選ぶ。

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

登録したマークを本体からコンパクトフラッシュカード(またはコンパクトフラッシュカードから本体)にコピーする

「マーク編集」画面で本体からコンパクトフラッシュカード（またはコンパクトフラッシュカードから本体）にコピーしたいマークをチェックし、「コピー」を選びます。
マークをすべてコピーしたいときは、［すべてをチェックする］を選び、［コピー］を選びます。

登録したマークを削除する

「マーク編集」画面で削除したいマークをチェックし、［削除］を選びます。
マークをすべて削除したいときは、［すべてをチェックする］を選び、［削除］を選びます。

過去に表示したホームページを見る［履歴］

過去に表示したホームページのアドレスは、最新の 100 件までが履歴として自動的に記録されます。「履歴」リストからホームページのタイトルを選ぶだけでホームページを見ることができます。アドレスを入力する必要がなく便利です。

［履歴］を選び、画面右側に表示される「履歴」リストのパネルから、見たいホームページを選ぶ。

見たいホームページを選ぶ

選んだホームページが表示されます。

ご注意

ホームページの読み込みが完了していない場合は、過去に表示したホームページを選ぶことはできません。読み込み中は、「履歴」リストにあるタイトルが薄く表示されます。読み込みが完全に終わってから、ホームページを選んでください。

ちょっと一言

- ［▶］を選ぶと次の「履歴」リストが表示され、［◀］を選ぶと前のリストが表示されます。
- 履歴が 100 件を越えた場合、古いものから順に削除されます。

過去に表示した履歴のホームページを削除する

1 「履歴」リストのパネルで［編集］を選ぶ。

「履歴編集」画面が表示されます。

2 削除したい履歴をチェックし、画面下部にある［削除］を選ぶ。

すべての履歴を削除したいときは、［すべてをチェックする］を選び、［削除］を選びます。

ご注意

ホームページの読み込みが完了していない場合は、履歴を削除できません。削除できないときは、［編集］が薄く表示されます。読み込みが完全に終わってから、再度［編集］を選んでください。

ホームページを保存する［保存］

ホームページを保存する

表示しているホームページの内容を、そのまま保存できます。一度保存しておくと、回線につなぐことなく、見たいときにゆっくり見ることができます。

1 ホームページを表示しているときに、［保存］を選ぶ。

画面右側に「保存」リストのパネルが表示されます。

2 ［追加］を選ぶ。

本体が選ばれているときは が、コンパクトフラッシュカードが選ばれているときは が表示されます

追加

このボタンはコンパクトフラッシュカードが挿入されているときのみ表示

ちょっと一言

コンパクトフラッシュカードにホームページを保存したい場合は、［切換］を選び、コンパクトフラッシュカードに切り換えてから［追加］を選びます。

今見ているホームページのアドレスが「保存」リストの先頭に追加されます。

「保存」リストのパネルを閉じるには、パネル右上にある を選んでください。

ご注意

ホームページの読み込みが完了していない場合は保存できません。保存できないときは、手順2の画面で［追加］が薄く表示されます。読み込みが完全に終わってから再度［追加］を選んでください。

ちょっと一言

「保存編集」画面に表示される保存日時は、「保存」リストのパネルにある［追加］を選択したときの日時が反映されます。

保存したホームページを見る

「保存」を選び、画面右側に表示される「保存」リストのパネルから、見たいホームページのタイトルを選ぶとそのホームページが表示されます。

ご注意

ホームページの読み込みが完了していない場合は、保存したホームページを選ぶことはできません。読み込み中は、「保存」リストにあるタイトルが薄く表示されます。読み込みが完全に終わってから、ホームページを選んでください。

ちょっと一言

コンパクトフラッシュカードに保存したホームページを見るには「保存」リストのパネル下部にある［切換］を選びます。

保存したホームページのタイトルを変更する

1 「保存」リストのパネルから［編集］を選ぶ。

「保存編集」画面が表示されます。

2 「保存編集」画面の中からタイトルを変えたいホームページをチェックし、［名称変更］を選ぶ。

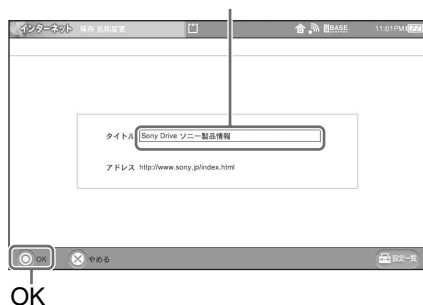
タイトルは1つずつ変更できます。

ここにチェックをつけます

名称変更

3 ［タイトル］の欄に新しいタイトルを入力し、［OK］を選ぶ。

タイトルを入力します

OK

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120ページ）をご覧ください。

保存したホームページを本体からコンパクトフラッシュカード（またはコンパクトフラッシュカードから本体）にコピーする

「保存編集」画面で本体からコンパクトフラッシュカード（またはコンパクトフラッシュカードから本体）にコピーしたいホームページをチェックし、「コピー」を選びます。
保存したホームページをすべてコピーしたいときは、［すべてをチェックする］を選び、［コピー］を選びます。

保存したホームページを削除する

「保存編集」画面で削除したいホームページをチェックし、［削除］を選びます。
保存ページをすべて削除したいときは、［すべてをチェックする］を選び、［削除］を選びます。

ホームページをキャプチャー（画面保存）する

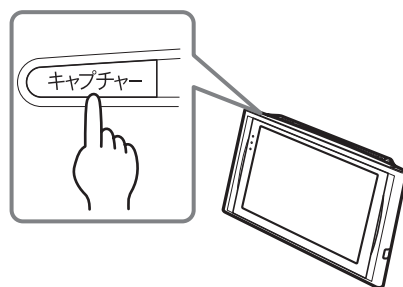
今見ている画面をアルバムに保存できます（今見ている画面を写真に撮るように取り込むことを「キャプチャー」（画面保存）といいます）。
画像が含まれているホームページをキャプチャーするときは、今見ている画面全体をキャプチャーすることも、画像を選んでキャプチャーすることもできます。

ご注意

ホームページによっては、キャプチャーできない画像もあります。

ちょっと一言

ホームページだけでなく、テレビやビデオ入力、メール、アルバムなどの画面もキャプチャーできます。詳しくは、「キャプチャー（画面保存）する」（☞ 81ページ）をご覧ください。

1 ホームページを表示しているときに、モニター上部の［キャプチャー］ボタンを押す。

「キャプチャー確認」画面が表示されます。

つづく

2 **[画像を選んでキャプチャー]または[画面全体をキャプチャー]を選ぶ。**

［画像を選んでキャプチャー］を選んだときは、画面上部（「インターネット」表示の右側）に「キャプチャーしたい画像を選んでください」と表示されます。手順 3 にお進みください。
［画面全体をキャプチャー］を選んだときは、画面全体がキャプチャーされます。

ご注意
Flash によって作成された画像や PDF ファイルにある画像は、画像を選んでキャプチャーすることができません。

3 **保存したい画像を選ぶ。**

選択した画像がキャプチャーされます。

ちょっと一言
キャプチャーを中止する場合は、画像を選ぶ前に［戻る］を選んでください。

キャプチャーされた画像は、確認のため、いったんここに表示されます

キャプチャーされた画像は、アルバムに保存されます。

ホームページ内で文字を検索する

今見ているホームページ内の文字（テキスト）を検索できます。

ちょっと一言
- この機能を使って検索できるのはテキスト（タッチペンでなぞって反転できる文字）だけです。文字として読めても、Flash や画像になっているものは検索対象になりません。
- PDF ファイルの検索はできません。［ページ内検索］が薄く表示されます。

1 **ホームページを表示しているときに、[ページ内検索]を選ぶ。**

画面下に検索のための画面が表示されます。

2 **入力欄に検索したい文字列を入力し、キーボードにある[入力終了]を選ぶ。**

このとき、［次を検索］、［前を検索］を選んでも検索されます。
該当する文字列が検索されます。

検索された文字列

ここに検索したい文字列を入力します

ちょっと一言
- 検索を続けたいときは［次を検索］を選びます。前に戻って検索したいときは、［前を検索］を選びます。
- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

3 **検索が終了したら、[検索終了]を選ぶ。**

ホームページ内の文字をコピーし、貼り付ける

今見ているホームページ内の文字（テキスト）をコピーして、メールなどの他の画面に貼り付けできます。

ちょっと一言

この機能を使ってコピーできるのはテキスト（タッチペンでなぞって反転できる文字）だけです。文字として読めても、Flash や PDF、画像になっているものはコピーの対象になりません。

1 タッチペンでコピーしたい文字列をなぞって反転させ、[コピー]を選ぶ。

コピーしたい文字列をなぞると［ページ内検索］が［コピー］に変わり、［コピー］を選ぶと［ページ内検索］に戻ります。

文字をなぞって反転させる

コピー

2 コピーした文字列を貼り付けたい画面を表示し、貼り付ける位置を選ぶ。

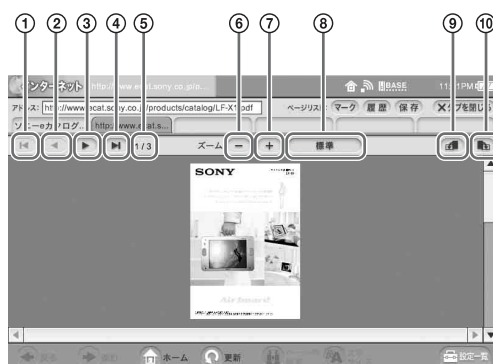
3 キーボードの[貼付]を選ぶ。

文字列が貼り付けられます。

キーボードの表示方法について詳しくは、「文字を入力する」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

PDF ファイルを見る

ホームページにリンクされている PDF ファイルを選ぶと、ファイルがダウンロードされた後、新しいタブに PDF ファイルの内容が表示されます。

以下のツールボタンを使って、PDF ファイルを閲覧します。

① PDF の最初のページを表示します。
② 前のページに戻ります。
③ 次のページに進みます。
④ PDF の最終ページを表示します。
⑤ 現在のページ / 全ページを表示します。
⑥ 選ぶたびに、縮小表示します。
⑦ 選ぶたびに、拡大表示します。
⑧ 標準サイズ（最初に表示したときのサイズ）に戻ります。
⑨ 反時計回りに 90°回転します。
⑩ 時計回りに 90°回転します。

また、表示されている PDF の画面にタッチしたまま動かすと、表示位置を移動できます。

ご注意

PDF ファイルによっては、本機で表示できないものもあります。

その他の設定をする

必要に応じて、ホームページを見るための設定やプロキシの設定を行います。
ほとんどの場合は、プロキシの設定は必要ありません。

1 画面右下の[設定一覧]を選ぶ。

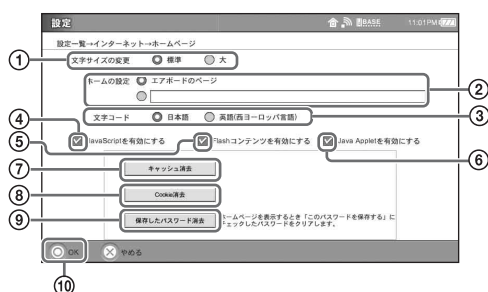
「設定一覧」画面が表示されます。

2 [インターネット]を選ぶ。

「インターネット」の設定画面が表示されます。

3 ホームページを見るための設定を行うときは、[ホームページ]を選ぶ。

「ホームページ」画面が表示されます。

4 必要に応じて各項目を設定し、[OK]を選ぶ。

① 文字を大きく表示したいときは［大］を選びます。
② 「ホーム」に登録するホームページのアドレスを入力します。
インターネットの［ホーム］ボタンを選ぶと、ここに登録されているホームページが表示されます。お買い上げ時は、エアボードのホームページが「ホーム」に設定されています。
③ ほとんどのホームページには、そのページで使用する言語のエンコード（言語と文字セット）の情報が含まれています。この情報がページに含まれていない場合に、文字化けして表示されます。その場合には、文字コードを変更してみてください。お買い上げ時は、［日本語］に設定されています。
文字コードの変更は、モニターを再起動した後に有効になります。
④ JavaScript を使ったホームページが正常に表示されない場合や、表示したくないときはチェックをはずします。
⑤ Flashを使ったホームページを表示したくないときはチェックをはずします。
⑥ JavaApplet を使ったホームページが正常に表示されない場合や、表示したくないときはチェックをはずします。
⑦ キャッシュを消去するときに選びます。表示したホームページの内容は、いったん本機に取り込まれます。キャッシュの中身は、一定量になると自動的に消去されますが、ここを選ぶと、すべてのキャッシュを消去できます。
⑧ Cookie を消去するときに選びます。Cookie は、一部のホームページが作成するファイルで、そのホームページにアクセスしたときの設定などの情報が保存されています。
⑨ ホームページを見る際、ユーザ名とパスワードを入力するダイアログメッセージ内にある「このパスワードを保存する。」をチェックしたときに保存されたパスワードを消去する場合に選びます。
⑩ ［OK］を選びます。

［OK］を選ぶと、手順３の「インターネット」画面に戻ります。

③ の文字コードを変更したときは、「文字コードの設定を有効にするには電源を入れ直す必要があります。今すぐ電源を入れ直しますか？」というメッセージが表示されます。［OK］を選ぶと、自動的にモニターが再起動します。

5 プロキシの設定をするときは、[プロキシ]を選ぶ。

「プロキシ」画面が表示されます。

6 各項目を設定し、[OK]を選ぶ。

プロキシサーバーを経由しないで直接インターネットに接続するときは、［設定しない］を選びます。
プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するときは、［自分で設定］を選び、［ホスト］と［ポート］を入力します。

OK

［OK］を選ぶと、「インターネット」の設定画面に戻ります。

ちょっと一言

お使いのプロバイダによって入力の要、不要が異なります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

7 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

メールを使う

メール画面に切り換えると、メールを書いたり送受信したりできます。

インデックス画面を表示し（☞ 76 ページ）、メールを選ぶ。

メール画面が表示されます。

メールの基本画面

送受信箱画面

1 **メール表示**

2 **受信箱タブ（☞ 101 ページ）**
受信メール（送られてきたメール）の一覧を表示します。
下の領域には、青い背景で選択されたメールの内容が、常にプレビュー表示されます。

3 **送信箱タブ**
送信済みメール・途中保存メールの一覧を表示します。
下の領域には、青い背景で選択されたメールの内容が、常にプレビュー表示されます。

4 **整理箱タブ（☞ 106 ページ）**
コンパクトフラッシュカードを挿入したときに表示されます。受信、送信したメールを整理できます。

5 **ソートボタン**
マーク、アドレス、日時または件名の各項目ごとにメールを並べ替えできます。ソートボタンを選ぶたびに昇順降順に並べ替えできます。

6 すべてをチェックする/すべてのチェックを外す
［すべてをチェックする］を選ぶと、表示されているタブ内ですべてのメールがチェックされ、［すべてのチェックを外す］を選ぶと、チェックがすべてはずれます。

7 検索（☞ 107 ページ）
キーワードを指定して、受信箱や送信箱、整理箱のメールを検索できます。

8 添付画像アイコン（☞ 101 ページ）
メールに画像ファイルが添付されている場合に表示されます。画像以外が添付されているときは、クリップアイコンが表示されます。

9 プレビュー表示
受信箱タブや送信箱タブ、整理箱タブで青い背景で選択されたメールの内容を表示します。

10 チェックボックス
選ぶたびにチェックマークがついたり、はずれたりします。

11 マーク欄
メールの状態に応じて、（未開封）、（返信）、（転送）、（途中保存）、（送信失敗）のマークを表示します。

12 受信（☞ 101 ページ）
メールを受信します。

13 新規作成（☞ 97 ページ）
メールを作成します。

14 返信（再送信、編集）
プレビュー表示されているメールの内容に応じて、［返信］、［再送信］、［編集］が表示されます。
返信：　メールを返信するための画面を表示します。（☞ 102 ページ）
再送信：送信済みのメールを再び送信するための編集画面を表示します。
編集：　メールの内容を編集するための画面を表示します。

15 移動（チェックを移動）（☞ 106 ページ）
青い背景で選択されたメール（［チェックを移動］のときはチェックしたメール）を整理箱などへ移動します。

16 削除（チェックを削除）（☞ 102 ページ）
青い背景で選択されたメール（［チェックを削除］のときはチェックしたメール）とそのメールに添付されているファイルを削除します。

17 全画面表示
メールの本文を画面いっぱいに表示します。

18 設定一覧
各種設定をするための「設定一覧」画面を表示します。
「設定一覧」画面にある［メール］を選ぶと、画面上の文字の大きさなどを設定できます。

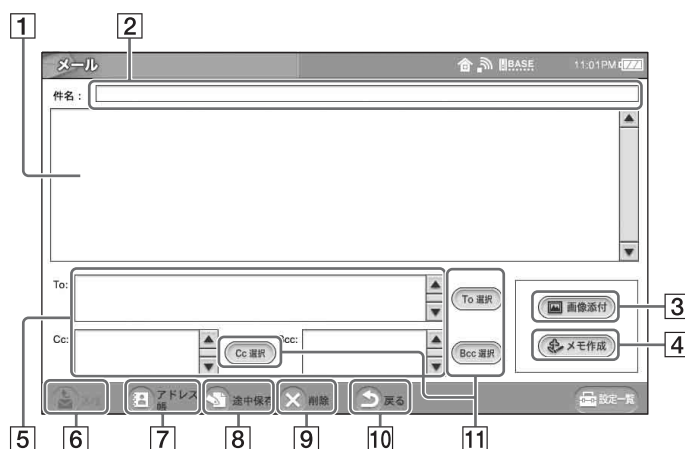
メール作成画面

1 **本文入力欄**
メールの本文を入力します。

2 **件名**
メールのタイトルを入力します。

3 **画像添付（☞ 98 ページ）**
メールに画像を添付します。

4 **メモ作成（☞ 100 ページ）**
手書きの絵や文字をメールに添付します。

5 **宛先入力欄**
メールの宛先（メールアドレス）を入力します。

6 **送信（☞ 97 ページ）**
作成したメールをすぐ送信します。

7 **アドレス帳（☞ 104 ページ）**
アドレス帳を表示します。

8 **途中保存（☞ 98 ページ）**
作成途中のメールを送信箱に保存します。

9 **削除（☞ 98 ページ）**
表示しているメールを削除します。

10 **戻る**
メールの作成を中止し、送信箱または受信箱に戻ります（作成していたメールや送信に失敗したメールは途中保存されます）。

11 **To 選択、Cc 選択、Bcc 選択（☞ 97 ページ）**
宛先を選ぶためにアドレス帳を表示します。

セキュリティ上のご注意

受信したメール本文中の URL リンク（青色で表示されているホームページのアドレス）、または添付された HTML メールを選んで開くことで、個人情報を傍受したり、迷惑メールを発信したりするような悪意のあるサイトに誘導される可能性があります。URL リンクや HTML メールの内容が信頼できることを確認してから選ぶことをおすすめします。

メールを書く

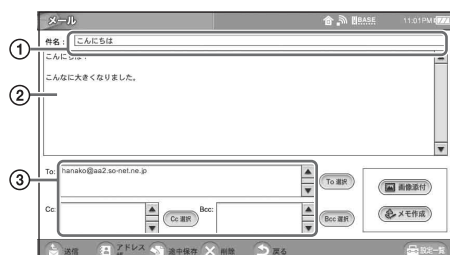
メールを書いて送信する

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

1 **メール画面を表示し、[送信箱]または[受信箱]タブを選んで、[新規作成]を選ぶ。**

メール作成画面が表示されます。

2 **メールを書く。**

① 件名にメールのタイトルを入力します。
② メールの本文を入力します。
本機は、メールの本文の文字入力を終了したとき、一定の文字数を超えると、自動的に改行を入れます。
（署名を設定（☞ 107 ページ）すると、本文と署名の間は改行されます。）
③ 宛先（メールアドレス）を入力します。
1 文字間違えても相手には届かないので、正確に入力してください。

ちょっと一言

- 送信元（自分）の名前やメールアドレスなどの情報を「署名」として保存し、メールの文末に入れることができます。詳しくは、「メールに関するその他の設定をする」（☞ 107 ページ）をご覧ください。
- あらかじめアドレス帳にメールアドレスを登録しておくと（☞ 104 ページ）、メールアドレスを簡単に入力できます。

3 **メールの内容と宛先のメールアドレスを確認する。**

メールは一度送信してしまうと、取り消せません。送信する前に、もう一度メールの内容に間違いがないか確認しましょう。

4 **[送信]を選ぶ。**

メールが送信されます。

ご注意

メールアドレスを入力しないと、[送信] は選べません。

ちょっと一言

自分のメールアドレス宛てに送ると、本機でメールを正しく送受信できるかどうか確認できます。メールの受信については、「受信したメールを読む」（☞ 101 ページ）をご覧ください。

1通のメールを複数の相手に同時に送りたいときは？

[To] や [Cc]、[Bcc] など宛先の欄で、メールアドレスとメールアドレスの間に、半角の「,」（コンマ）を入れて、メールアドレスを入力します。

[To]と[Cc]、[Bcc]の違いって何？

[To]： メールを送りたい相手先（宛先）です。
[Cc]： カーボンコピー（Carbon copy：カーボン紙で複写する）の意味で、メールのコピーを送りたい相手先（「To」以外の人）です。
[Bcc]：ブラインドカーボンコピー（Blind carbon copy：隠れたカーボンコピー）の意味です。「To」や「Cc」に入力したメールアドレスは、メールを受け取った全員に表示されますが、「Bcc」に入力したメールアドレスは、メールを受け取った全員からは見えません。

どの宛先に入力してもメールは届きますが、「To」、「Cc」、「Bcc」のどれで受け取るかで、相手の受けとめかたが異なることがあります。うまく使い分けましょう。

メールの送信が失敗したときは

送信箱のメールのマーク欄に ✕ が表示されますので、[編集] を選び、メール作成画面で宛先を確認してから [送信] を選んでください。

作成途中のメールを保存するには[途中保存]

[途中保存] を選びます。
送信箱が表示され、途中保存したメールのマーク欄に が表示されます。

ちょっと一言

メールを作成途中にキーボードを表示した状態でモニターの電源を切った場合、作成途中のメールは途中保存されます。

途中保存したメールを再び作成するには、再び作成するメールをプレビュー表示して [編集] を選び、文章を編集します。元の文章に戻すには、画面下部にある [やめる] を選んでください。

作成途中のメールや途中保存したメールを消すには

- **メールの作成中は**
  作成途中のメール作成画面下部にある [削除] を選びます。
- **送信箱から消すには**
  送信箱リストの中から消したいメールをプレビュー表示し、[削除] を選びます。または、消したいメールをチェックし、[チェックを削除] を選びます。

画像を添付する[画像添付]

ふつうの手紙に写真や絵を同封するように、メールでも、デジタルスチルカメラで撮影した画像を同封(添付)して送れます。
送りたい画像は、本機の「アルバム」やコンパクトフラッシュカードに保存されている画像から選べます。

ご注意

メールの本文と画像の合計サイズが約 5MB を超えると送信できません。添付した画像の合計サイズは、添付した画像の一覧画面で確認できます。(☞ 99 ページ)

1 メールの件名と本文、宛先を入力する。

2 [画像添付] を選ぶ。

画像添付

画像の選択画面が表示されます。

3 送りたい画像をチェックし、[添付] を選ぶ。

今回は「動物園」という名前の画像を送ってみましょう。

コンパクトフラッシュカードが挿入されているときはタブが表示されます。

添付

2 枚以上の画像を添付したいときは、添付したい画像すべてにチェックマークをつけてください。
コンパクトフラッシュカードの画像を添付したいときは、コンパクトフラッシュカードの保存箱・整理箱タブを選びます。

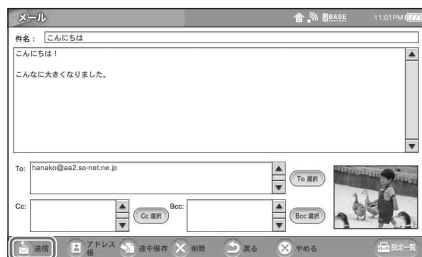
ちょっと一言

画像に触れると、画像を拡大表示できます。
拡大表示をやめるには、もう 1 回画像に触れます。

ご注意

画像のファイルサイズが 4MB を超える場合は、画像名の右側に（メール静止画画像送信不可）（メール動画画像送信不可）マークがつきます。なお、画像のファイルサイズが合計 4MB を超える場合は［添付］を選んだ際にエラーメッセージが表示されますので、画像の枚数を減らしてください。

メール作成画面に、選んだ画像が表示されます。

4 ［送信］を選んで送信する。

送信

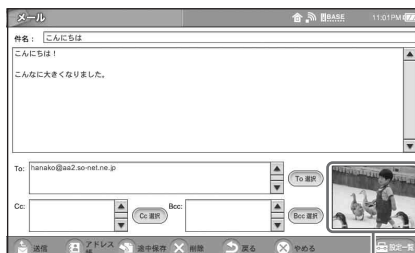
ちょっと一言

複数の画像を添付するときは、最初に選んだ画像がメール作成画面に表示されます。

ご注意

- 添付画像のファイルサイズが合計 4MB 以下でも、To や Cc、Bcc にたくさんのアドレスを入力した場合は、送信できない場合があります。
- 相手が受け取ったメールに表示される名前は、画像の名前ではなくファイル名です。
- 画像ファイルが添付されているメールを送受信する場合、画像ファイルのサイズにより、送受信にしばらく時間がかかることがあります。

送る画像を確認するには

1 メール作成画面で添付画像に触れる。

ここを選びます

添付した画像の一覧画面が表示されます。

2 確認したい画像に触れる。

画像を選びます

画像が拡大表示されます。
送る画像が複数の場合は、「次画像」「前画像」を選ぶと、他の画像を確認できます。

3 ［戻る］を選ぶ。
添付した画像の一覧画面に戻ります。

4 ［戻る］を選ぶ。
メール作成画面に戻ります。

送る画像を追加するには

一度に複数の画像を送れます。

1 添付した画像の一覧画面を表示する。

2 ［添付追加］を選ぶ。
画像の選択画面が表示されます。

3 追加したい画像をチェックする。

つづく

4 [添付] を選ぶ。
添付した画像の一覧画面の末尾に、追加した画像が表示されます。

5 [戻る] を選ぶ。
メール作成画面に戻ります。

画像添付を取り消すには

1 添付した画像の一覧画面を表示する。

2 添付を取り消したい画像をチェックする。

3 [添付取消] を選ぶ。
「この画像の添付を取り消します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

4 [OK] を選ぶ。
選んだ画像が消えた添付した画像の一覧画面に戻ります。

5 [戻る] を選ぶ。
メール作成画面に戻ります。

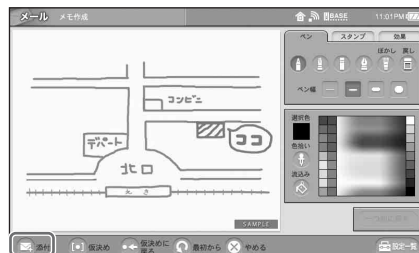
手書きの絵を送る [メモ作成]

写真などの画像だけではなく、手書きの絵や文字もメールで送れます。

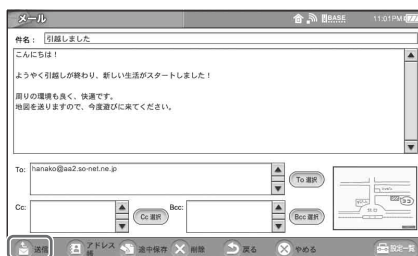
1 メールの件名と本文、宛先を入力する。

2 [メモ作成] を選ぶ。

添付のメモの作成画面が表示されます。

3 絵や文字を描き、[添付] を選ぶ。

絵の描きかたについては、「お絵かきパレットの使いかた」（☞ 115 ページ）をご覧ください。

描いた絵がメール作成画面のメモ作成欄に表示されます。

4 [送信] を選んで送信する。

ちょっと一言
手書きのメモも、添付画像と同じ操作で拡大表示して確認したり、送るメモを追加したり、添付を取り消すことができます。（☞ 98 ページ）

複数のメモを一度に送るには

複数のメモを作成して一度に送ることができます。添付画像を選んだあとでメモを作成することもできます。

1 １枚目のメモを作成する、または画像を添付する。

2 添付した画像の一覧画面を表示する。

3 [メモ作成]を選ぶ。
添付メモの作成画面が表示されます。

4 送りたいメモを作成し、[添付]を選ぶ。
添付した画像の一覧画面の末尾に、作成したメモが表示されます。

5 [戻る]を選ぶ。
メール作成画面に戻ります。

作成したメモをアルバムに保存するには

1 添付した画像の一覧画面を表示する。

2 保存したいメモ画像をチェックする。

3 [保存]を選ぶ。
アルバムに保存されます。

ちょっと一言
コンパクトフラッシュカードが入っていると、[保存]を選んだとき、「どちらのアルバムに保存しますか？」と表示されます。保存先を選んでから［OK］を選びます。

メールを読む

受信したメールを読む

送られてきたメールがあるかどうか受信箱で確認します。

1 **[受信]を選ぶ。**
受信箱の画面に切り換わり、新たに届いたメールには、受信箱のメールのマーク欄に（未開封）が表示されます。

2 **（未開封）マークのついているメールを選ぶ。**

メールの内容がプレビュー表示されます。

ご注意
- 受信メールに画像などの添付ファイルがある場合、受信にしばらく時間がかかることがあります。
- 以下のとき、リストの横に が表示されます。
  – 受信したメールに、本機では表示できないファイルが添付されているとき
  →メールをパソコンなどに転送し、添付ファイルをご覧ください。
  – 受信したメールが HTML 形式のとき
  →添付されているファイルを選ぶと、インターネット画面で HTML メールを表示します。
  信頼できないメールに添付された HTML メールは選ばないでください。

メールの本文を全画面で表示するには

プレビュー表示時に［全画面表示］を選びます。

受信したメールを削除するには

削除したいメールをプレビュー表示し、［削除］を選びます。または、受信箱を表示し、削除したいメールをチェックしてから、［チェックを削除］を選びます。

受信したメールの文中にホームページのアドレスが青色で表示されているときは

ホームページのアドレスを選ぶと、インターネット画面に切り換わり、そのホームページが表示されます。

ご注意
信頼できないメールの文中にあるホームページのアドレスは選ばないでください。

メールで送られてきた画像を拡大するには

メールに添付された画像を選ぶと拡大表示されます。［戻る］を選ぶと、元の画面に戻ります。

ここを選びます

ご注意
動画が添付されたメールを受け取ったときは、メール画面に画像ではなくムービーマークが表示されます。ムービーマークを選ぶと、動画が再生されます。

メールで送られてきた画像をアルバムに保存するには

添付された画像を選んで拡大表示し、［保存］を選びます。
アルバムに保存されます。

ちょっと一言
コンパクトフラッシュカードが入っていると、［保存］を選んだとき、「どちらのアルバムに保存しますか？」と表示されます。保存先を選んでから［OK］を選びます。

返信する

1 受信箱を表示し､返事を書きたいメールを選ぶ。

ここを選びます

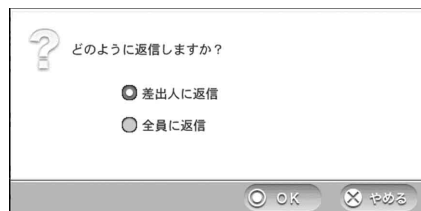
受信したメールの内容がプレビュー表示されます。

2 [返信]を選ぶ。

返信先のメールアドレスがすでに自動的に入力されたメール作成画面が表示されます。題名の先頭には返信を表す「RE：」が、本文の行頭には引用を表す「>」（引用符）が自動的につきます。

複数のあて先に返信するには

宛先が自分だけではなく、複数の人にも送られたメールに返事を書く場合、「どのように返信しますか？」というメッセージが表示されます。［全員に返信］を選び、［OK］を選びます。

（この画面は、返信するメールの宛先が複数の場合に表示されます。）

ちょっと一言

元のメールの差出人にだけ返信したいときは

［全員に返信］の代わりに、［差出人に返信］を選びます。

特定の方には返信したくないときは

［全員に返信］を選んだ後、「To」または「Cc」の欄で返信したくない方のメールアドレスをなぞって黒く反転させ、キーボードの［削除］を選びます。

さらに返信したい方を追加したいときは

「To」や「Cc」、「Bcc」に追加したい方のメールアドレスを入力します。

3 返信する文章を入力する。

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

4 メールの内容と返信先のメールアドレスを確認する。

5 ［送信］を選ぶ。

転送する

1 受信箱を表示し、転送したいメールを選ぶ。

ここを選びます

受信したメールのプレビュー画面が表示されます。

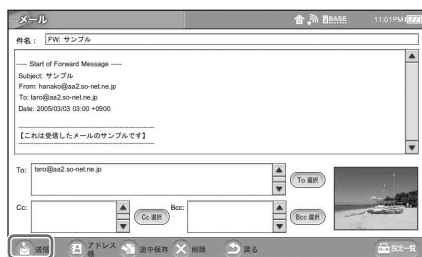
2 ［全画面表示］を選ぶ。

3 ［転送］を選ぶ。

転送用のメール作成画面が表示されます。元のメールの受信情報とメールの文面が自動的に入力されます。題名の文頭には転送を表す「FW:」が自動的に付きます。文章を付け加えて転送したい場合は、キーボードで文章を入力します。

つづく

4 **宛先を入力し、[送信]を選ぶ。**

［To 選択］、［Cc 選択］または［Bcc 選択］を選ぶと、アドレス帳画面が表示され、登録されている宛先からメールアドレスを選べます。「アドレス帳から登録した送り先を選ぶ［To 選択］」（☞ 106 ページ）をご覧ください。

送信

メールを使うときの便利な機能

アドレス帳を使う

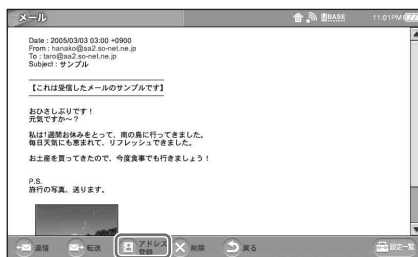
あらかじめメールアドレスをアドレス帳に登録しておけば、メール作成時にアドレス帳から選んで自動的に入力できるので、簡単で正確です。

アドレス帳に宛先を登録する[登録]

1 **受信箱または送信箱を表示する。**

2 **アドレス帳に登録したいメールアドレスの入っている送信済みメール、または受信メールを選ぶ。**

3 **[全画面表示]を選ぶ。**

4 **[アドレス登録]を選ぶ。**

アドレス登録

アドレスの登録画面が表示され、メールアドレス入力欄にメールアドレスが入力されます。

ちょっと一言

受信メールを表示しているときは、差出人のメールアドレスが登録されます。

送信済みメールを表示しているときは、「To」と「Cc」、「Bcc」に表示されているメールアドレスがすべてアドレス帳に登録されます。グループをまとめて登録したいときに便利です。

5 **ニックネーム入力欄にメールアドレスのニックネームを入力し、[OK]を選ぶ。**

ちょっと一言

- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。
- アドレス帳のリストは、追加した順に並びます。またソートボタンで、並べ替えできます。

ニックネームのつけかた

例えば、hanako@aa2.so-net.ne.jp というメールアドレスのニックネームを「はなこ」にすると、アドレス帳に「はなこ」と表示されます。相手が受け取ったメールにはニックネームは表示されませんので、本名でもニックネーム（あだ名）でも、あなたが識別しやすい名前にしましょう。

手順 4 で表示したメールの画面に戻ります。

メールアドレスを直接アドレス帳に入力して登録するには

1 メール作成画面を表示し、[アドレス帳]を選ぶ。
アドレス帳画面が表示されます。

2 [新規]を選ぶ。
アドレスの登録画面が表示されます。

3 「ニックネーム」欄に、メールアドレスのニックネームを入力する。

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

4 メールアドレス入力欄にメールアドレスを入力し、[OK]を選ぶ。
同じニックネームに複数のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスとメールアドレスの間にコンマ（,）を入れて区切ります。

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

アドレス帳を変更するには

1 アドレス帳画面を表示し、内容を変更したいメールアドレスをチェックし、[編集]を選ぶ。
アドレスの編集画面が表示されます。

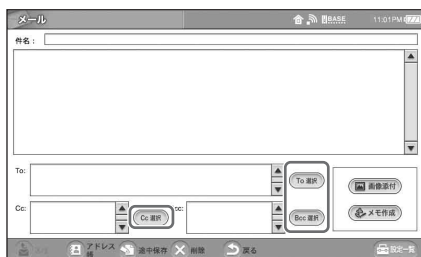
2 変更したい項目を入力し直し、[OK]を選ぶ。

アドレス帳からメールアドレスを削除するには

アドレス帳画面を表示し、削除したいメールアドレスをチェックし、［削除］を選びます。

つづく

アドレス帳から登録した送り先を選ぶ [To 選択]

1 **メールの新規作成画面を表示し、宛先入力欄の右側にある[To 選択]、[Cc 選択]、[Bcc 選択]を選ぶ。**

To 選択画面（または Cc 選択画面や Bcc 選択画面）が表示されます。

2 **メールアドレスをチェックし、[OK]を選ぶ。または、直接メールアドレスを選ぶ。**

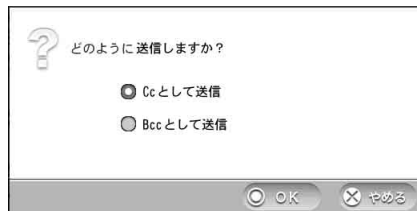
ここをチェックします

または直接ここを選びます

OK

メール作成画面のアドレス入力欄にメールアドレスが入力されます。

ちょっと一言

- アドレス帳画面を表示し、送り先のメールアドレスをチェックして、［To］または［Cc/Bcc］を選んでもメールアドレスが入力されたメール作成画面を表示できます。
- ［Cc/Bcc］を選んだ場合、「どのように送信しますか？」というメッセージが表示されます。どちらかを選び、［OK］を選んでください。

メールを整理する[整理箱]

保存されているメールをコンパクトフラッシュカードの「整理箱」に移動してメールを分類できます。

1 **コンパクトフラッシュカードを挿入する。**

メール画面に整理箱タブが表示されます。

2 **受信箱または送信箱を表示する。**

3 **整理箱に移動したいメールをチェックし、[チェックを移動]を選ぶ。**

チェックを移動

メッセージが表示されます。

4 移動先を選ぶ。

選択したメールがコンパクトフラッシュカードの整理箱に移動します。

ご注意
メールの移動中にコンパクトフラッシュカードを抜いたり、本体の電源を切ったりしないでください。
パソコンでコンパクトフラッシュカード内のメールデータを編集すると、コンパクトフラッシュカードを本機に挿入したとき、そのメールが消去される場合がありますので、ご注意ください。

整理箱に名前をつけるには

1 画面右下の[設定一覧]を選ぶ。
「設定一覧」画面が表示されます。

2 [メール]を選ぶ。
「メール」画面が表示されます。

3 [整理箱]を選ぶ。
「整理箱」画面が表示されます。
＊ コンパクトフラッシュカードが本機に挿入されていないときは、選べません。

4 名前を付けたい整理箱の欄を選んで名前を変更し、[OK]を選ぶ。
「メール」画面に戻ります。

ちょっと一言
文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」(☞ 120 ページ)をご覧ください。

5 [設定一覧]を選ぶ。
「設定一覧」画面に戻ります。

6 [設定終了]を選ぶ。

ちょっと一言
整理箱内のメールをパソコンで確認するときは、コンパクトフラッシュカードの中の「LFXmailx」(x は任意の数字)というフォルダを検索してください。

メールに関するその他の設定をする

画面に表示するメールの文字の大きさを変更したり、署名(送信元(自分)の名前やメールアドレスなどの情報)を登録して、自動的にメールの文末に入れて送信できます。署名を登録しておくと、自分の名前や住所などをその都度入力しなくてもすむので便利です。
文字の大きさは、「設定一覧」画面で[メール]を選び、[送受信設定]を選んで設定します。
署名は、「設定一覧」画面で[メール]を選び、[署名]を選んで設定します。

メールを検索する

受信箱や送信箱、整理箱のメールを検索できます。メールの内容を探したり、移動や削除したいメールをまとめて検索したいときなどに便利です。なお、検索結果から移動や削除を行うと、そのメールは元の受信箱や送信箱、整理箱からも移動・削除されます。

1 受信箱または送信箱、整理箱を表示しているときに、[検索]を選ぶ。

「メール検索」パネルが表示されます。

2 ［キーワード］欄に検索したい文字列を入力し、検索条件を選んで、［検索］を選ぶ。

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。

検索が終了すると、新たに検索結果タブが追加され、検索されたメールの一覧が表示されます。

メール画面を表示するためのパスワードを設定する（セキュリティパスワード）

本機のメール画面を他人に見られないように、パスワード（暗証番号）を設定します。
ここでは例として、はじめてパスワードを設定するときの手順を説明しますが、パスワードを変更するときも同様の手順で行えます。

ご注意

入力したパスワードは忘れないでください。
パスワードを忘れると、メールを初期化する（☞ 145 ページ）必要があります。メールを初期化すると、すべてのメールデータが消去されますので、ご注意ください。

1 画面右下の［設定一覧］を選ぶ。

「設定一覧」画面が表示されます。

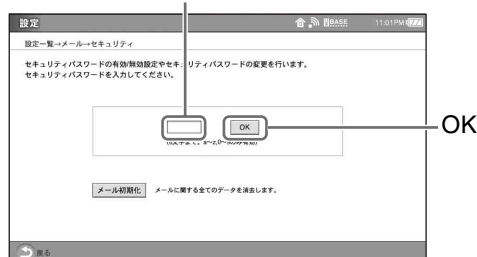
2 ［メール］を選ぶ。

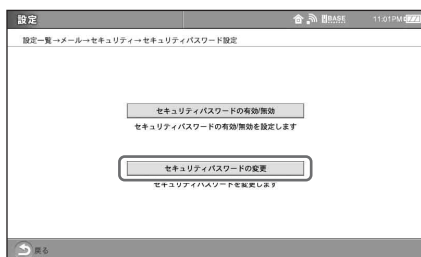
「メール」画面が表示されます。

3 ［セキュリティ］を選ぶ。

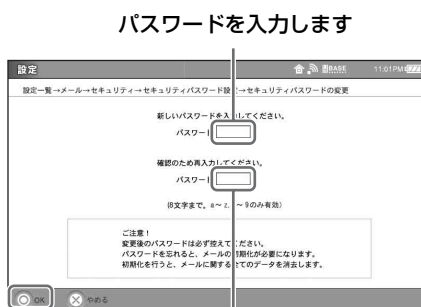
「セキュリティ」画面が表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］を選ぶ。

本機の工場出荷時のパスワードは「0000」です。
はじめてパスワードを設定するときは、「0000」と入力します。

「セキュリティパスワード設定」画面が表示されます。

5 [セキュリティパスワードの変更]を選ぶ。

「セキュリティパスワードの変更」画面が表示されます。

6 新しいパスワードを8文字以内の半角数字(0 ～ 9)、半角英小文字(a ～ z)で入力し、[OK]を選ぶ。

確認のため、同じパスワードをもう一度入力してください。

パスワードを入力します

手順5の「パスワード設定」画面に戻ります。

7 [セキュリティパスワードの有効/無効]を選ぶ。

「セキュリティパスワードの有効/無効」画面が表示されます。

8 [有効にする]を選び、[OK]を選ぶ。

「パスワード設定」画面に戻ります。

9 [戻る]を選ぶ。

「メール」画面に戻ります。

10 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

設定後は、メール画面を開くときにパスワードの入力が必要になります。
一度パスワードを入力すると、電源を切るまで再度入力する必要はありません。

アルバムの基本画面

1 アルバム表示

2 保存箱タブ
本機に保存されている画像の一覧を表示します。

3 保存箱タブ、整理箱タブ
コンパクトフラッシュカードを挿入したときに表示されます。保存されている画像を整理できます。

4 すべてをチェックする/すべてのチェックを外す
［すべてをチェックする］を選ぶと、表示されているタブ内のすべての画像がチェックされ、［すべてのチェックを外す］を選ぶと、チェックがすべてはずれます。

5 画像
選ぶと画像が拡大表示されます。動画は、動画再生されます。

6 ソートボタン
名前順または更新日時順に画像を並べ替えできます。ソートボタンをタッチするたびに、昇順降順に並べ替えできます。

7 チェックボックス
選ぶたびにチェックマークがついたり、はずれたりします。

8 スライド（☞ 112 ページ）
アルバム内の全画像、またはチェックした画像を自動的に次々と表示します。

9 お絵かき（☞ 114 ページ）
絵や文字を手描きします。

10 送る（☞ 117 ページ）
チェックした画像をメールに添付します。

11 詳細（☞ 119 ページ）
チェックした画像の名前を変更したり、拡大表示（動画表示）や回転ができます。また、画像のファイルサイズや、撮影日時、更新日時などを表示します。

12 コピー（☞ 118 ページ）
チェックした画像を本体、またはコンパクトフラッシュカードへコピーします。

13 削除
チェックした画像を削除します。

14 設定一覧
各種設定をするための「設定一覧」画面を表示します。
「設定一覧」画面にある［アルバム］を選ぶと、整理箱の名前の変更などができます。

アルバムの画像を見る

画像の一覧を表示する

アルバムで本体およびコンパクトフラッシュカードに保存した画像の一覧を表示できます。

インデックス画面を表示し、[アルバム]を選ぶ。

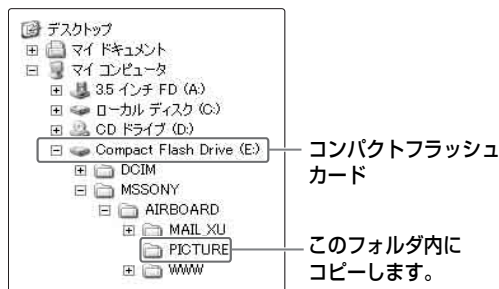
「画像一覧」画面が表示されます。

コンパクトフラッシュカードに保存した画像を表示するには

コンパクトフラッシュカードをモニターに入れると、本体の［保存箱］タブの右側にコンパクトフラッシュカードのタブが表示されます。

コンパクトフラッシュカードのタブ

ちょっと一言

- パソコンで作成した画像を本機のアルバムで表示する場合、画像をコンパクトフラッシュカード内の次のフォルダにコピーしてください。
  パソコンのフォルダ例：

- コンパクトフラッシュカード内に上記フォルダが存在しないときは、パソコンでフォルダを作成するか、本機にコンパクトフラッシュカードを挿入してください。アルバム画像一覧を表示したときにフォルダが作成されます。
- 本機のアルバムの画像をコンパクトフラッシュカードに保存してパソコンで確認するときも、上記フォルダを参照してください。

“メモリースティック”対応のデジタルスチルカメラで撮影した画像を見るには

コンパクトフラッシュ対応のメモリースティック デュオアダプター（別売り：MSAC-MCF1）が必要です。なお、本機は“メモリースティック デュオ”に対応しています。

ちょっと一言

“メモリースティック デュオ”は、別売りのメモリースティック デュオアダプター MSAC-M2 を装着すると、標準サイズの“メモリースティック”対応機器で使えます。

ご注意

- 標準サイズの“メモリースティック”は、本機では使用できません。
- デジタルスチルカメラ DSC-T3/L1 などの E メールモードで撮影した画像を本機のアルバムで表示すると、同じ画像が 2 つ表示されますが、これらの画像を拡大表示すると異なった大きさで表示されます。このとき、大きい画像を削除すると、“メモリースティック デュオ”をデジタルスチルカメラに戻したときに画像が表示されなくなりますので注意してください。

- 本体の容量がいっぱいになったときは、画像の一覧で動画の1コマ目の画像が表示されず、[マーク] マークが画像の一覧で表示されることがあります。
- ファイル名に全角の文字が使われている画像をパソコンからコンパクトフラッシュカードにコピーした場合、その画像は本機のアルバムでは表示できないことがあります。
- パソコンで初期化したコンパクトフラッシュカードに保存されている画像は、本機で表示できないことがあります。コンパクトフラッシュカードは、本機で初期化してください。（☞ 135ページ）
- 本機では（社）日本電子工業振興会の規格（DCF：Design rule for Camera File system）で記録された画像を表示できますが、この規格に対応していないデジタルビデオカメラレコーダー DCR-TRV900 やデジタルスチルカメラ DCF-D700/D770 などで記録された画像は表示できないことがあります。
- デジタルスチルカメラなどで撮影した画像で、本機で手を加えていないオリジナルの画像（元画像）には [マーク] マークが画像の右側に表示されます。

拡大画像を見る

1 拡大したい画像を選ぶ。

画像を選びます（□は選ばない）

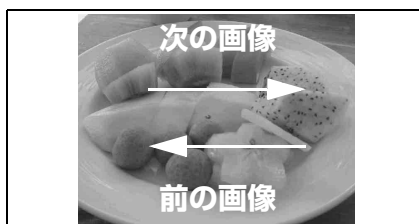
画像が拡大表示されます。

ご注意

画像によっては拡大表示に数十秒ほどかかることがありますが、この間、他の操作はできません。

ちょっと一言

画像をチェックしてから［詳細］を選び、表示される「画像詳細」画面で［拡大表示］を選んでも拡大表示できます。この場合、拡大された画像に軽く触れると「画像詳細」画面に戻ります。

右から左へなぞると次の画像に、左から右へなぞると1つ前の画像に切り換わります。

ちょっと一言

デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーでは、通常4：3の縦横比で画像が撮影されます。LF-X5では、4：3の縦横比を保ったままワイド画面に画像を拡大表示するため、画面の左右に余白が表示されます。

2 拡大表示をやめるには、画像に軽く触れる。

「画像一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言

モニターの［インデックス］ボタンを押しても、「画像一覧」画面に戻ります。

拡大画像を順番に見る[スライドショー]

アルバム内の画像を次々に自動的に切り換えて見ることができます。この機能をスライドショーと言います。

1 「画像一覧」画面を表示し、画像のチェックをすべてはずして、[スライド]を選ぶ。

スライド

アルバム用の画像すべての拡大画像が次々と自動的に切り換わって表示されます。（スライドショー）

2 **スライドショーをやめるには、拡大画像に触れる。**
「画像一覧」画面に戻ります。

ご注意
サイズの大きい（高画質）画像など、拡大表示できない画像がスライドショーに含まれているときは、その画像をとばして次の画像を表示します。アルバムの中のすべての画像が拡大表示できない場合は、スライドショーが開始されません。

好きな画像を好きな順番で表示するには

スライドショーで表示したい順番にチェックし、［スライド］を選びます。
チェックした画像だけが選んだ順番に次々と表示されます。

ご注意
1 枚だけをチェックして［スライド］を選ぶと、同じ画像が表示されつづけます。

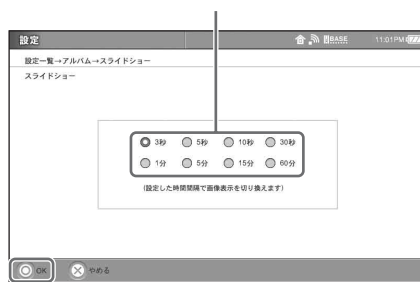
画面が切り換わる時間を変えるには

設定画面で変更します。

1 画面右下の［設定一覧］を選ぶ。
「設定一覧」画面が表示されます。

2 ［アルバム］を選ぶ。

3 ［スライドショー］を選ぶ。
「スライドショー」画面が表示されます。

4 画面が切り換わる時間を選び、［OK］を選ぶ。

ご注意
- サイズの大きな画像が含まれている場合、次の画像へ切り換わるのに、選んだ時間より長くかかることがあります。
- アルバム内の動画や GIF アニメーション形式の画像は、１コマ目だけをスライドショーで表示します。

画面に絵を描く［お絵かき］

アルバムに保存されている画像や白い画面に絵や文字を描いて、アルバムに保存できます。

1 「画像一覧」画面を表示し、お絵かきしたい画像を1つだけチェックして、［お絵かき］を選ぶ。

「アルバム お絵かき」画面に選択した画像が拡大表示されます。
白い画面にお絵かきしたいときは、すべての画像のチェックをはずしてください。

ご注意
複数の画像にチェックがついているときは、［お絵かき］が選べません。

ちょっと一言
次の場合は、画像のまわりに余白ができます。

- 縦横比が4：3以外の画像（本機でキャプチャーした画面など）
- 画像の元サイズがお絵かき画面のサイズ（512 × 384ドット）より小さい画像

2 画面右側のお絵かきパレットを使って、絵や文字を描く。

お絵かきパレット

お絵かきパレットの使いかたについて詳しくは、「お絵かきパレットの使いかた」（☞ 115ページ）をご覧ください。

3 お絵かきが完成したら［保存］を選ぶ。

「画像一覧」画面に戻ります。
お絵かきした画像は、元の画像とは別の画像として、JPEG形式でアルバムの先頭に保存されます。

お絵かき中の画像を一時的に保存するには

「お絵かき」画面下部の［仮決め］を選びます。あとで仮決め保存した状態に戻すには、画面下部の［仮決めに戻る］を選びます。

お絵かきを最初からやり直すには

「お絵かき」画面下部の［最初から］を選びます。お絵かきする前の画像の状態に戻ります。

> あなたが撮影、制作した画像以外は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

お絵かきパレットの使いかた

[ペン]パネル

絵や文字をペンで描くには

［ペン］パネルで絵や文字が描けます

1 ペンの種類を選ぶ。

: ペン

: 竹ペン

: パステル

: 万年筆

2［ペン幅］で、使いたいペンの太さを選ぶ。

3 カラーパレットを選んで、［選択色］ボックスに使いたい色を表示する。

4 画面上に絵や文字を描く。

画像の中の色と同じ色を使うには（色拾い）

1［色拾い］を選ぶ。

2 画像の中の使いたい色にタッチする。［選択色］ボックスにタッチした色が表示され、画像の中の色に一番近い色で描けます。

描いた図形全体に色を塗るには

円や多角形など、閉じた図形の全体に色をつけることができます。

1 ペンで色を流し込みたい図形を描く。

2［流込み］を選ぶ。

3 図形の内側を選ぶ。
図形全体に色が塗られます。

ご注意

次のような場合は、図形でなく画面全体に色が塗られますのでご注意ください。

- 図形が閉じていないとき
- 閉じた図形を描いたあとで流し込む色を変えたとき
- スタンプやパステルで図形を描いたとき

画像をぼかすには

［ぼかし］を選び、タッチペンでぼかしたい部分をこする。
こすった部分にぼかし効果が入ります。

描いた線や文字を消すには

1［戻し］を選ぶ。

2［ペン幅］で消す幅の太さを選ぶ。

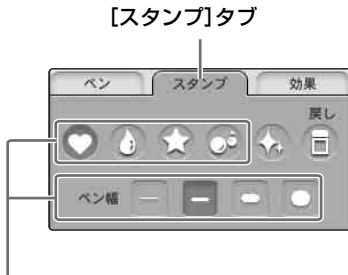
3 タッチペンで消したい部分をこする。
消しゴムのように描いた線や文字が消えます。

ひとつ前の画像の状態に戻すには

［一つ前に戻す］を選ぶ。
お絵かきした画像が最後の操作の前の状態に戻ります。

[スタンプ]パネル

5 種類のマークをスタンプのように 1 つずつ押したり、連続模様として描いたりできます。
[スタンプ] タブを選ぶと「スタンプ」パネルが表示されます。

[スタンプ]タブ

スタンプを使うには

1 使いたいスタンプの種類を選ぶ
2 [ペン幅] でスタンプの大きさを選ぶ。
3 カラーパレットを選んで、[選択色] ボックスに使いたい色を表示する。
4 タッチペンで画面にタッチする、または画面上でタッチペンを動かす。
選んだスタンプが描けます。

[効果]パネル

[効果] タブを選ぶと、[効果] パネルが表示されます。[効果] パネルでは、お絵かきした画像全体に効果をつけられます。

[明るく]：
タッチするたびに画像全体の色が明るくなります。

[暗く]：
タッチするたびに画像全体の色が暗くなります。

[ネガポジ]：
タッチするたびに画像全体の色が反転します。

[モザイク]：
タッチするたびに画像全体がモザイク状になります。1 ～ 10 回目まではタッチするたびにモザイクが大きくなります。11 回目にタッチするとモザイクなしに戻ります。

[セピア]：
タッチすると画像全体がセピア色(茶色っぽい色)になります。

ちょっと一言

[効果] パネル表示中に画面上でタッチペンを動かすと、[ペン] パネルで選択したペンを使って絵や文字が描けます。

動画を見る[動画再生]

アルバムに保存した動画を再生します。
本機では、MPEG1 を再生できます。

ご注意

- 本機では、「mpg」以外の拡張子がついた MPEG1 方式の動画は再生できません。
- 本機では、横 480 ドット、縦 360 ドット以下の動画は元のサイズで表示されますので、画像によっては、動画の周りに余白が表示されます。また、横 480 ドット、縦 360 ドットを超えるサイズの動画は、元の動画の縦横比を保ったまま縮小表示されます。ただし、横 640 ドット、縦 480 ドットを超えるサイズの動画は再生できません。サイバーショットやハンディカムで撮影した MPEG1 方式の動画は、この範囲内なので再生できます。
- GIF アニメーション形式の画像の表示方法は、静止画と同じです。

1 「画像一覧」画面を表示し、再生したい動画を選ぶ。

動画は、画像名の右側に 🎞 が表示されています。
「動画再生」画面が表示され、自動的に再生が始まります。

[一時停止]： 再生を一時停止します。もう一度選ぶと再生が再開します。
[再生]： 再生を始めます。
[停止]： 再生を止めます。
[早戻し]： 動画を早戻しします。
[早送り]： 動画を早送りします。

［戻る］を選ぶと、「画像一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言

- 再生バー表示は、現在再生中の位置の目安となります。再生中または一時停止中は、再生バーをつかんで、再生位置を動かすことができます。
- 動画のサイズが大きいときは、本来の再生速度よりゆっくりと再生されることがあります。
- 動画の最後まで「再生」または「早戻し」、「早送り」が行われると、再生画面は真っ黒になります。
- 画像をチェックしてから［詳細］を選び、表示される［画像詳細］画面で［動画再生］を選んでも動画の再生ができます。
- 音声のない MPEG1 方式の動画を再生するときは、「早戻し」や「早送り」の操作を行ったり、再生バーをつかんで再生位置を動かしたりすることはできません。

アルバムを使うときの便利な機能

メールで画像を送る

アルバムから画像を選び、メールに添付して送れます。

1 「画像一覧」画面を表示し、メールに添付したい画像をチェックして、［送る］を選ぶ。

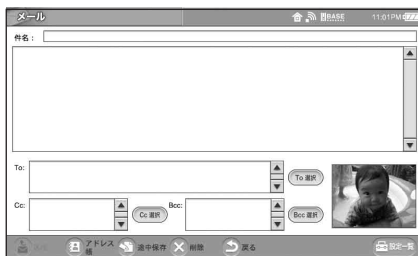
2 枚以上の画像を添付するときは、それぞれをチェックします。

ここをチェックします

「メールの作成」画面が表示されます。

ご注意

画像のファイルサイズは、「画像詳細」画面（☞ 119 ページ）で確認できます。
画像のファイルサイズが 4MB を超える場合は、画像名の右側に マークがつきます。
なお、画像のファイルサイズが合計 4MB を超える場合は［送る］を選んだ際にエラーメッセージが表示されますので、画像の枚数を減らしてください。

複数の画像を添付するときは、最初にチェックした画像が「メールの作成」画面に表示されます。

ちょっと一言

２番目以降の画像を確認するときは、「メールの作成」画面にある青枠で囲まれた画像を選んで「添付画像一覧」画面を表示します。

2 **メールを書いて送る。**（☞ 97 ページ）

アルバムを整理する

本体の「保存箱」にある画像をコンパクトフラッシュカードの「保存箱」または「整理箱」にコピーして整理できます。

1 **本機にコンパクトフラッシュカードを挿入する。**

2 **整理したい画像が保存されている「画像一覧」画面を表示する。**

3 **整理したい画像をチェックし、[コピー]を選ぶ。**

コピー

「コピー先を選んでください。」というメッセージが表示されます。

4 **コピーしたい場所を選ぶ。**

例： コンパクトフラッシュカードの「整理箱 3」にコピーするときは、［整理箱 3］を選ぶ。

選択した画像がコピーされます。
コピー先の「画像一覧」画面を表示すると、コピーされたことを確認できます。

コンパクトフラッシュカードの整理箱に名前をつけるには

1 画面右下の［設定一覧］を選ぶ。
「設定一覧」画面が表示されます。

2 ［アルバム］を選ぶ。
「アルバム」画面が表示されます。

3 ［整理箱］を選ぶ。
「整理箱」画面が表示されます。
＊コンパクトフラッシュカードが本機に挿入されていないときは、選べません。

4 名前を付けたい整理箱の右側の入力欄を選んで名前を変更し、［OK］を選ぶ。
「設定一覧」画面に戻ります。

5 ［設定終了］を選ぶ。

画像の詳細を表示する

画像の名前やファイル名、ファイルサイズ、撮影日時、更新日時などを表示できます。

1 「画像一覧」画面を表示し、詳細を表示したい画像を1つだけチェックして、[詳細]を選ぶ。

ご注意
複数の画像がチェックされていると、[詳細]を選べません。他の画像のチェックをはずしてください。

「画像詳細」画面が表示されます。

ちょっと一言
- [名前]欄を選ぶと、画像の名前を変更できます。画像の名前を変えても、「ファイル名」は変更されません。
- 撮影日時はデジタルカメラで撮影した画像のみ表示されます。
- アドレスはホームページの画面全体をキャプチャーした画像のみ表示されます。
- [コメント]欄に、各画像の情報を入力できます。(最大文字数全角280字)入力したコメントは、本機でのみ見ることができます。

2 [OK]を選ぶ。

「画像一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言
- 動画やGIF形式の画像は回転できません。
- 回転させた画像を他の機器で表示しても、回転した向きでは表示されません。また、回転させた画像をメールに添付すると、回転は解除されます。

文字を入力する

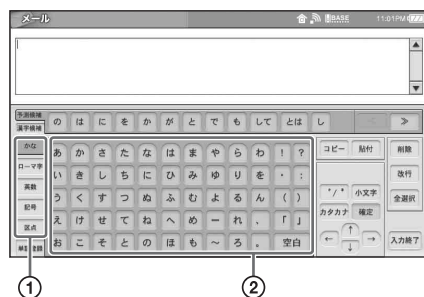
本機では、メールを書いたり、各種設定をするときなどに入力欄を選ぶと、自動的に文字入力用のソフトウェアキーボードが表示されます。文字の入力は、ソフトウェアキーボードのキーをタッチペンで選んで行います。

ここでは例として、「メールの作成」画面を使って説明しますが、その他の画面の場合も同様の操作で文字入力できます。

1 メール作成画面を表示し(☞ 97 ページ)、文字入力欄を選ぶ。

キーボード入力画面が表示されます。

2 タッチペンを使って、キーボードの種類を選び、入力したい文字を選ぶ。

選択に応じて、キーボードが切り換わります。

① キーボードの種類を選びます。
② 入力したい文字を選びます。
入力欄に選んだ文字が青字で表示されます。

文字入力のしかたについて詳しくは、「ソフトウェアキーボードを使って文字を入力する」(☞ 125 ページ)をご覧ください。
キーボードの種類と各キーの使いかたについて詳しくは、「キーボードの各部の名前」(☞ 121 ページ)をご覧ください。

3 文字入力が終わったら、[入力終了]を選ぶ。

キーボードが消え、元の画面に戻ります。

ちょっと一言

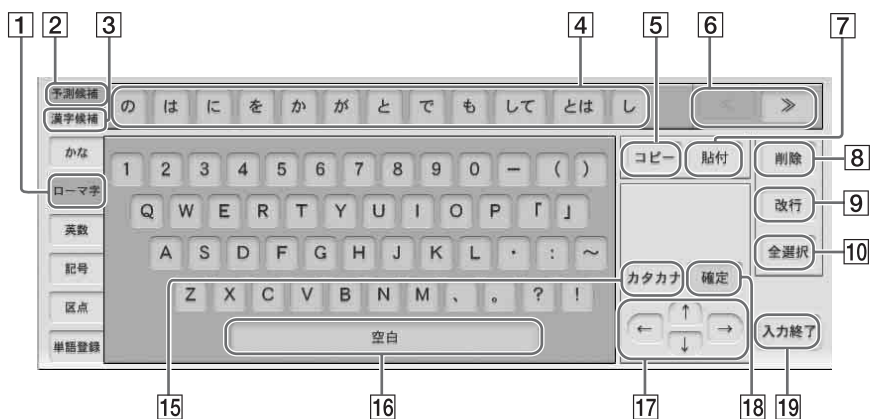
本機のキーボードには、予測入力(POBox)機能があります。予測入力機能とは、入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、一覧表示から選んだ単語から文脈を予測していく機能です。さらに、よく使う単語を学習しますので、使うほどにキーボードを打つ回数が減って便利になります。

キーボードの各部の名前

かなキーボード

ローマ字キーボード

英数キーボード

つづく

1 **かな / ローマ字 / 英数**（☞ 125、127 ページ）
かなキーボードまたはローマ字キーボード、英数キーボードを切り換えます。

2 **予測候補**
予測候補一覧を表示します。

3 **漢字候補**
読みと一致した単語や漢字などを表示します。

4 **予測候補一覧**
入力した文字から予測される単語の候補を一覧表示します。
英数キーボードのときは、候補の単語の代わりに次の単語を表示します。
http://、**www**.
ホームページのアドレスを入力するときに使います。
.co、**.ne**、**.jp**、**.com**
ホームページのアドレスやメールアドレスを入力するときに使います。
.html
ホームページのアドレスを入力するときに使います。

5 **コピー**（☞ 130 ページ）
反転された文字をコピーします。

6 **<< / >>**
<<：前の候補一覧を表示します。
>>：次の候補一覧を表示します。

7 **貼付**（☞ 130 ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

8 **削除**（☞ 127 ページ）
「|」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

9 **改行**
改行します。

10 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

11 **大文字**
大文字キーボードを表示します。

12 **シフト**
大文字と記号（!、"、#、$）キーボードを表示し、1 文字選んだ後は、小文字キーボードを表示します。

13 **小文字**
入力した文字を「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換します。

14 **"/°**
入力した文字に濁点・半濁点を付けます。

15 **カタカナ**
入力した文字をカタカナに変換します。

16 **空白**
全角スペース（かな、ローマ字キーボード時）や半角スペース（英数キーボード時）を挿入します。

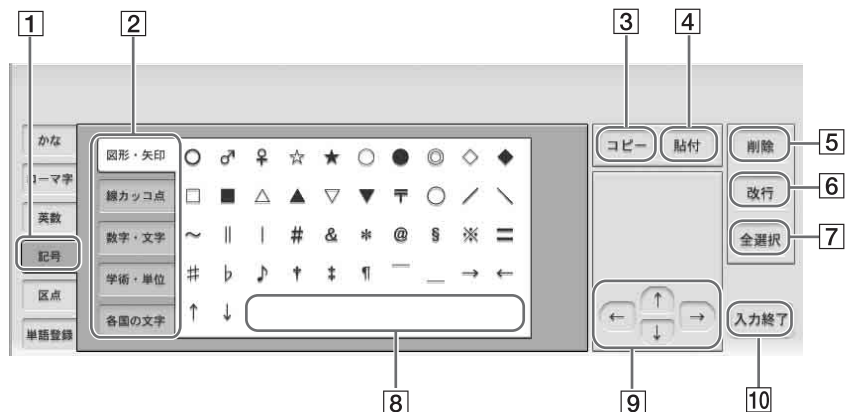
17 **← / ↑ / → / ↓**
入力位置を移動します。

18 **確定**
予測候補や漢字候補から選ばずに、ひらがなやカタカナの確定、小文字や濁点・半濁点への変換の確定をするときに選びます。

19 **入力終了**
キーボードを消し、元の画面に戻ります。

ご注意

- ［カタカナ］や［小文字］、［"/°］は、入力した文字の変換を確定する前（文字の色が青のとき）にのみ働きます。
- ［←］/［→］は入力した文字の変換を確定する前でも働きますが、［↑］/［↓］は変換を確定した後にのみ働きます。
- メールアドレスなど半角の英数字（記号や空白などを含む）を入力したい場合は、［英数］を選び、キーボードを切り換えてから入力してください。
- 全角の英字を入力したい場合は、［記号］を選び、［各国の文字］を選んで入力してください。

記号キーボード

1 **記号（☞ 127 ページ）**
記号キーボードを表示します。

2 **記号種類切り換え**

3 **コピー（☞ 130 ページ）**
反転された文字をコピーします。

4 **貼付（☞ 130 ページ）**
コピーした文字を貼り付けます。

5 **削除（☞ 127 ページ）**
「|」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

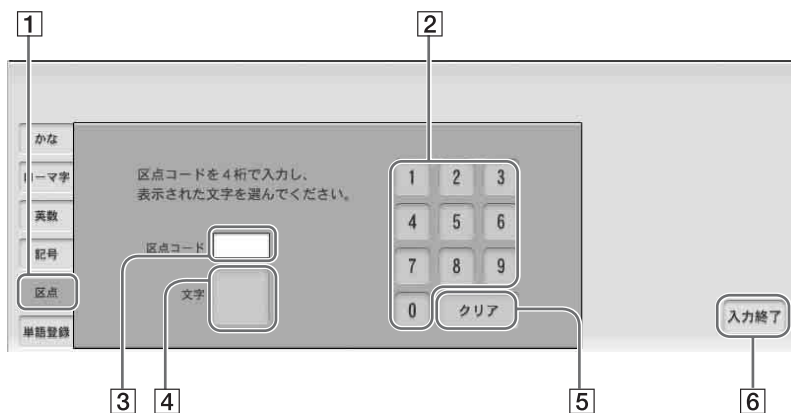
6 **改行**
改行します。

7 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

8 **スペース**
全角スペースを入力します。

9 **←／↑／→／↓**
入力位置を移動します。

10 **入力終了**
キーボードを消し、元の画面に戻ります。

区点キーボード

1 **区点**
区点キーボードを表示します。

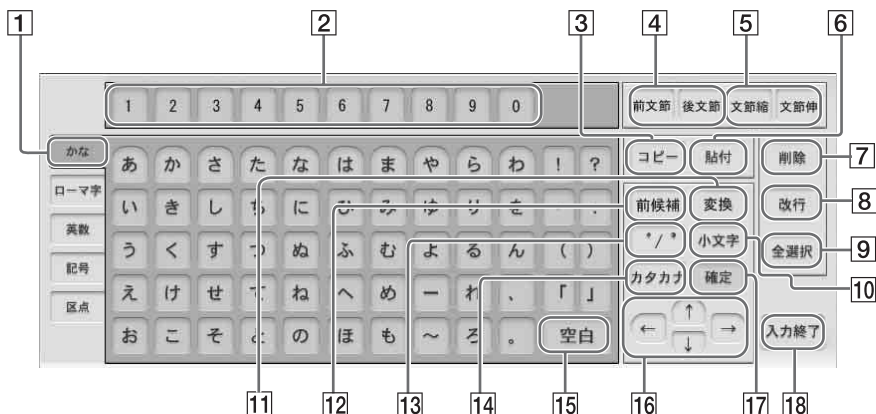
2 **数字ボタン**
区点コード番号を選びます。

3 **区点コード**
入力した区点コードが表示されます。

4 **文字**
入力した区点コードに対応した文字が表示されます。

5 **クリア**
区点コードが消去（クリア）されます。

6 **入力終了**
キーボードを消し、元の画面に戻ります。

連文節キーボード（かなキーボードの例）

1 キーボード選択
キーボードを選びます。

2 数字ボタン
全角の数字を入力します。

3 コピー（☞ 130 ページ）
反転された文字をコピーします。

4 前文節 / 後文節（☞ 129 ページ）
前の文節 / 次の文節に移動します。

5 文節縮 / 文節伸（☞ 129 ページ）
文節を短く / 長くします。

6 貼付（☞ 130 ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

7 削除（☞ 127 ページ）
「|」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

8 改行
改行します。

9 全選択
文字入力欄のすべての文字を選びます。

10 小文字
入力した文字を「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換します。

11 変換
入力した文字を漢字に変換します。

12 前候補
前の変換候補を表示します。

13 "/°
入力した文字に濁点・半濁点を付けます。

14 カタカナ
入力した文字をカタカナに変換します。

15 空白
全角スペースを挿入します。

16 ← / ↑ / → / ↓
入力位置を移動します。

17 確定
漢字に変換せずにひらがなのまま入力したり、変換した文字を確定するときに使います。

18 入力終了
キーボードを消し、元の画面に戻ります。

ソフトウェアキーボードを使って文字を入力する

予測入力機能を使って文章を入力してみましょう。

かな / ローマ字入力の切り換え

日本語の入力方法には、かな入力とローマ字入力があります。使いやすいほうで入力してください。

かな入力とローマ字入力を切り換えるには

キーボードの［かな］または［ローマ字］を選ぶと、かなキーボード / ローマ字キーボードに切り換わります。

入力してみよう

予測入力機能を使って文章を入力してみましょう。
ここでは例として、「メールの作成」画面で「プレゼントをありがとう」とかな入力する手順を説明しますが、予測入力機能の使いかたなどはローマ字入力のときも同様です。

ちょっと一言

ローマ字入力は、子音＋母音（[A]［I］［U］［E］［O]）を組み合わせて文字を入力します。

1 **メール作成画面を表示し（☞ 97 ページ）、文字入力欄を選ぶ。**

キーボードが表示されます。

2 **[かな]を選ぶ。**

かなキーボードが表示されます。

3 **キーボード上部の予測候補一覧に「プレゼント」が表示されるまで、順に「ふ」、「れ」、「せ」、「ん」、「と」を選ぶ。**

選んだ文字が入力欄に青字で表示され、キーボード上部に予測候補が表示されます。

1 文字追加するごとに予測候補一覧に表示される単語が絞られます。キーボードのキーを選んでいく途中でも、予測候補一覧に目的の語が表示されたら、その語を選んで入力できます。

予測候補の絞り込み例

- 「ふ」を入力したときの予測候補例：
  「ふ」「富士山」「分」「振込」
- 「ふれ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれ」「プレーヤー」「フレンチ」
- 「ふれせ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれせ」「プレゼント」

ちょっと一言

［ふ］を選ぶと、予測候補には「ふ」のほか、「ぷ」、「ぶ」、「フ」、「プ」、「ブ」が表示されます。したがって、「ふ」を「プ」に変えなくても、「ふれせんと」と選んでいくと「プレゼント」という予測候補が表示されます。
もし予測候補に表示されなかった場合は、一度、濁点や小文字を正しく最後まで入力した後、予測候補から選んでください。一度選んだ単語は、次回から濁点、小文字を気にせずに入力しても予測候補に表示されます。

4 予測候補一覧から「プレゼント」を選ぶ。

プレゼント

黒字で「プレゼント」が入力されます。

5 予測候補一覧の中に、目的の「を」があれば選ぶ。

なければ、キーボードの［を］と［確定］を選びます。
黒字で「を」が入力されます。

ちょっと一言

助詞などは、キーボードから選ばなくても予測候補一覧に表示されます。
例：「の」「は」「に」「を」「が」

6 同様にして、予測候補の一覧に「ありがとう」が表示されたら選ぶ。

7 入力が終わったら、[入力終了] を選ぶ。

キーボードが消え、元の画面に戻ります。

顔文字を入力するには

メールなどでよく使われる顔文字も予測候補一覧から選べます。
たとえば、「かおえみ」とひらがなで入力すると、予測候補一覧に顔文字が表示されます。

顔文字

顔文字は「かおえみ」の他に次のようなものがあります。

顔文字辞書

- 「かおえみ」を入力したときの予測候補：「(^o^) ／ 」、「(^_^)」、「(^。^)」…
- 「かおこまり」を入力したときの予測候補：「(> __ <)」、「(・ ・:)」、「(^_^;)」…
- 「かおむひょうじょう」を入力したときの予測候補：「(-.-)」、「(°_°)」、「(・_・)」…
- 「かおおどろき」を入力したときの予測候補：「(・o・)」、「(° 0 °)」、「(@__@)」
- 「かおあいさつ」を入力したときの予測候補：「(＾.＾）／ ~~~」、「m（_ _）m」、「＜（_ _）＞」…

ちょっと一言

顔文字は、ローマ字キーボードや英数キーボード（大文字 / 小文字）を使って、[(]、[^]、[>] などを選んでも入力できます。

英数字 / 記号の入力

英数字の入力

英数字は、英数キーボードに切り換えて入力します。

大文字の入力について

大文字の入力のしかたには 2 通りあります。

- **[シフト]を選んだ場合：**
  初めに「大文字キーボード」が表示され、1 文字選んだ後は「小文字キーボード」に戻ります。単語の冒頭の大文字を入力するときに便利です。
- **[大文字]を選んだ場合：**
  「大文字キーボード」が表示されます。大文字を 2 つ以上入力するときに使います。もう一度［大文字］を選ぶと「小文字キーボード」になります。

記号の入力

記号は、記号キーボードに切り換えて入力します。
記号は、すべて全角になります。
「記号キーボード」は 5 種類あります。

「図形・矢印」　(○、★、〒、△など)
「線・カッコ点」([、]、；、”など)
「数字・文字」　(３、々など)
「学術・単位」　(%、℃、±、√など)
「各国の文字」　(Ｂ、α、Ω、Ж など)

記号キーボードの種類

文字の削除、編集

←/→/↑/↓を使うか、直接画面に触れて、削除したい文字の右側に「｜」(カーソル)を置き、[削除]を選ぶ。

削除したい文字の右側を選びます

削除

文字が削除されます。

ちょっと一言
続けて文字を消したいときは［削除］を押し続けます。

一度に複数の文字を削除したいときは

削除したい文字をすべてタッチペンでなぞって反転させてから［削除］を選びます。
黒字で表示されているときのみ一度に複数の文字を削除できます。

一度にすべての文字を削除したいときは

［全選択］を選んで文字入力欄のすべての文字を反転させてから［削除］を選びます。

文字を削除すると同時に文字を入力するには

削除したい文字をすべて反転させてから、次に入力したい文字を入力します。

例：「今週末 **キャンプ** に行きます」を

「今週末 **山登り** に行きます」に変更する

→「キャンプ」を反転させてから「山登り」を入力する。
「キャンプ」が削除されると同時に「山登り」が入力されます。

入力した文字を漢字に変換するには

変換したい文字を入力したら［漢字候補］を選び、表示される漢字候補一覧から選びます。
選んだ漢字が黒字で入力されます。

入力した文字をカタカナに変換するには

変換したい文字を入力したら［カタカナ］を選び、［確定］を選びます。
入力した文字がカタカナに変換され、黒字で確定されます。

ひらがなに戻したいときは

カタカナへの変換を確定する前（青字で表示されているとき）に、［カタカナ］を選びます。もう一度［カタカナ］を選ぶとひらがなに戻ります。
一度カタカナに確定された文字（画面上で黒く表示される文字）は、もう一度［カタカナ］を選んでもひらがなに戻せません。

予測入力を使わずに文字を入力する

予測入力機能を使わないときは、連文節変換機能を使います。
連文節変換機能を使うには、文字入力の方法を「連文節変換」に切り換えます。

1 「設定一覧」画面を表示し、［基本設定］を選ぶ。

「基本設定」画面が表示されます。

2 ［文字入力］を選ぶ。

「文字入力」画面が表示されます。

3 ［キーボード］を選ぶ。

「キーボード」画面が表示されます。

4 ［連文節変換］を選び、［OK］を選ぶ。

「文字入力」画面に戻ります。

5 ［戻る］を選ぶ。

「基本設定」画面に戻ります。

6 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

これで、キーボードを選ぶと、連文節キーボードが表示されるようになりました。
入力のしかたは、次のページをご覧ください。

ひらがなのままにするには

ひらがなで入力して、[確定]を選びます。

漢字に変換するには

正しい漢字が表示されるまで[変換]をくり返し選んでから[確定]を選びます。
1つ前の変換候補を表示したいときは[前候補]を選びます。

ちょっと一言
このとき、[確定]を選ぶ前に[空白]を選ぶと、[変換]と同様に漢字に変換されます。

カタカナに変換するには

[カタカナ]を選んでから[確定]を選びます。
詳しくは、「入力した文字をカタカナに変換するには」(☞ 128ページ)をご覧ください。

小文字に変換するには

[小文字]を選んでから[確定]を選びます。

文節を変更するには

長い文章を一度に変換したとき、希望通りの文節で区切られない場合があります。このような場合、文節の区切りを変更できます。
例として「今朝は医者にいきました。」と変換された文章を「今朝歯医者に行きました。」に変更してみます。

1 ひらがなで「けさはいしゃにいきました。」と入力する。

2 [変換]を選ぶ。

「今朝は 医者にいきました。」が表示されます。

3 [文節縮]を1回選ぶ。

「けさ はいしゃにいきました。」が表示されます。

4 [変換]を選ぶ。

「今朝 歯医者にいきました。」が表示されます。

5 [後文節]を2回選ぶ。

「今朝歯医者に いきました。」が表示されます。

6 [変換]を選ぶ。

「今朝歯医者に 行きました。」が表示されます。

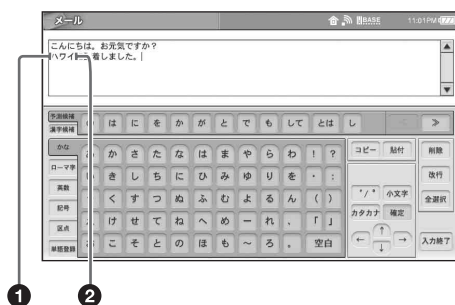
- [前文節]＝1つ前の文節に移動します。
- [後文節]＝1つ後の文節に移動します。
- [文節縮]＝文節を短くします。
- [文節伸]＝文節を長くします。

選んだ文章を他の場所にも使う[コピー/貼付]

文章をコピー（複写）して他の場所に貼り付けられます。似た文章や同じ文章をくり返し入力する必要がなく便利です。
単語だけでなく、文章ごとコピーして貼り付けられます。

1 コピーしたい単語または文章を、すべてタッチペンでなぞって反転する。

❶から❷までをなぞります。

❶ ❷

ちょっと一言

文字入力欄のすべての文字をコピーしたいときは［全選択］を選びます。すべての文字が反転します。

2 [コピー]を選ぶ。

コピー

3 貼り付けたい位置に「｜」(カーソル)を置く。

4 [貼付]を選ぶ。

単語または文章が貼り付けられます。

貼付

ご注意

コピーした文字列が貼り付け先の入力欄より長い場合、表示しきれず、文字列の最後しか表示されないときがあります。キーボードの［←］を押すと、貼り付けられた文字を確認できます。

ちょっと一言

- コピーした内容は、次にコピーするか、電源を切るまで「貼付」が有効です。
- インターネットのホームページでコピーした文章も同様に「貼付」できます。（☞ 91 ページ）

よく使う単語を登録する[ユーザー辞書]

あらかじめよく使う単語を予測入力機能の辞書に登録しておけば、早く予測候補に表示されるので便利です。

ご注意

- キーボードが「連文節変換」（☞ 128 ページ）に設定されているときは、キーボードからの単語登録はできません。
- ユーザー辞書は予測入力時のみ有効になるため、キーボードが「連文節変換」に設定されている場合、登録した単語は反映されません。

1 予測入力キーボードを表示する。

2 登録したい単語をすべてタッチペンでなぞって反転する。

❶ から ❷ までをなぞります。

3 [単語登録] を選ぶ。

キーボード上部に単語が表示されます。

4 登録する単語の読みを入力する。

キーボードを使って「よみ」の横の入力欄にひらがなで入力します。

「よみ」が入力されます。

5 [登録する] を選ぶ。

単語が登録されます。

文字入力

つづく

ご注意

- ［登録する］を選ぶ前にキーボード（かな、ローマ字、英数、記号）を切り換えると単語登録は中止されます。
- 登録したい単語を反転させてから［単語登録］を選ばないと登録できません。

設定画面で単語を登録するには

1 画面右下の［設定一覧］を選ぶ。
「設定一覧」画面が表示されます。

2 ［基本設定］を選ぶ。
「基本設定」画面が表示されます。

3 ［文字入力］を選ぶ。
「文字入力」画面が表示されます。

4 ［単語登録］を選ぶ。
「単語登録」画面が表示されます。

5 ［新規］を選ぶ。
「単語登録編集」画面が表示されます。

6 ［よみ］欄に登録する単語の読みを、［単語］欄に登録する単語を入力し、［OK］を選ぶ。
「単語登録」画面に戻ります。

7 ［戻る］を選ぶ。
「文字入力」画面に戻ります。

8 ［戻る］を選ぶ。
「基本設定」画面に戻ります。

9 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

登録した単語やその読みを変更するには

1 上記の「設定画面で単語を登録するには」の手順 1 ～ 4 を行う。

2 変更したい単語のリスト部分を選ぶか、チェックしてから［編集］を選ぶ。
「単語登録編集」画面が表示されます。

3 単語やその読みを変更し、［OK］を選ぶ。

登録した単語を消去するには

1 「設定画面で単語を登録するには」の手順 1 ～ 4 を行う。

2 消去したい単語をチェックし、［消去］を選ぶ。

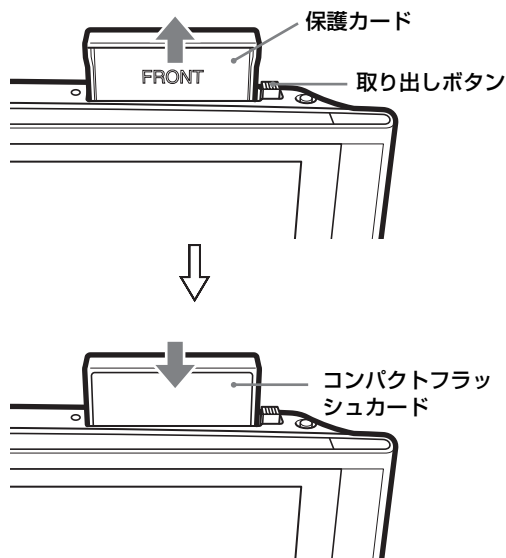
コンパクトフラッシュカードを使う

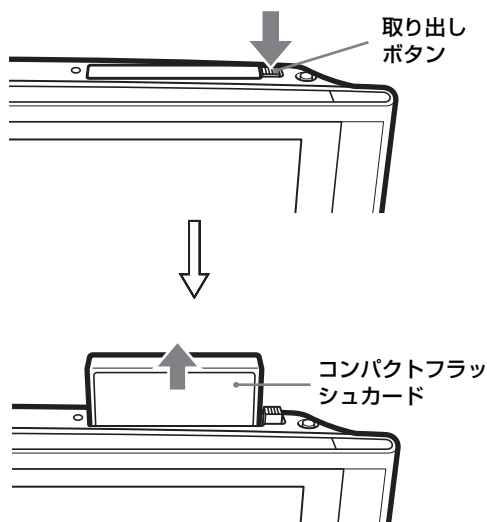
モニター上部にあるコンパクトフラッシュ用スロットにコンパクトフラッシュカードを入れ、画像を表示したり、保存したりすることができます。
また、コンパクトフラッシュアダプターを使うと、各種メモリーカードを使用できます。
本機で使用できるコンパクトフラッシュアダプターやメモリーカードについては、エアボードのホームページ（http://www.sony.co.jp/airboard/）をご覧ください。

コンパクトフラッシュカードを入れるには

ご注意

コンパクトフラッシュカード用スロットには、保護カードが入っています。コンパクトフラッシュカードを入れる前に、保護カードを取り出してください。
また、コンパクトフラッシュカードを取り出した後は、必ず保護カードを入れてください。保護カードは、「FRONT」と記載されている面を液晶画面側にして入れてください。

取り出しボタンを押して、保護カードを取り出し、コンパクトフラッシュカードを挿入する。

コンパクトフラッシュカードを取り出すには

取り出しボタンを押して、コンパクトフラッシュカードを取り出す。

ご注意

- 次のような場合、コンパクトフラッシュカードを抜き挿ししたり、本機の電源を切るようなことは、絶対にしないでください。
  – コンパクトフラッシュカード用ランプがオレンジ色に点灯しているとき
  – メールなどのデータをコンパクトフラッシュカードに移動しているとき
  – 画像などのデータをコンパクトフラッシュカードにコピーしているとき
  – コンパクトフラッシュカード内のデータを消去しているとき
  – コンパクトフラッシュカードを初期化しているとき
- 次の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中（コンパクトフラッシュカード用ランプ点灯中）にコンパクトフラッシュカードを取り出したり、本機の電源を切ったり、AC パワーアダプターを抜いたり、バッテリーがなくなって本機の電源が切れたりしたとき
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用したとき

“メモリースティック デュオ”を使うには

ご注意

標準サイズの“メモリースティック”は使用できません。

“メモリースティック デュオ”（別売り）を別売りのコンパクトフラッシュスロット対応メモリースティック デュオアダプター MSAC-MCF1 に入れると、コンパクトフラッシュカードと同じ大きさになり、本機で使えるようになります。

ちょっと一言

“メモリースティック デュオ”（別売り）は、別売りのメモリースティック デュオアダプター MSAC-M2 を装着すると、標準サイズの“メモリースティック”対応機器で使えます。

1 図のような向きで、“メモリースティックデュオ”を、挿入口に差し込む。

2 “メモリースティックデュオ”を装着した状態で、本機のコンパクトフラッシュ用スロットに奥までしっかり差し込む。

コンパクトフラッシュカードを初期化する

本機を使ってコンパクトフラッシュカードを初期化するときは、次の操作にしたがってください。

ご注意

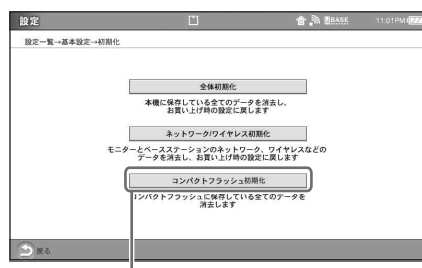
- 本機で初期化すると、記録されているデータはすべて消去されます。本機以外で記録したデータも消去されます。
- コンパクトフラッシュカードは必要なとき以外は初期化しないでください。

1 「設定一覧」画面を表示し、[基本設定]を選ぶ。

「基本設定」画面が表示されます。

2 [初期化]を選ぶ。

「初期化」画面が表示されます。

3 [コンパクトフラッシュ初期化]を選ぶ。

「コンパクトフラッシュカード初期化」画面が表示されます。

4 [初期化する]を選び、[OK]を選ぶ。

ご注意

画面に表示される注意書きは必ず、よくお読みください。

初期化確認のメッセージが表示されます。

5 [OK]を選ぶ。

ご注意

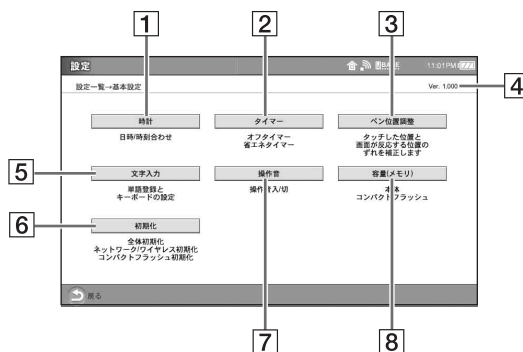
初期化中はコンパクトフラッシュカードを絶対に抜かないでください。

6 「コンパクトフラッシュの初期化が完了しました。」と表示されたら[OK]を選ぶ。

ご注意

コンパクトフラッシュカードをパソコンなどで初期化すると、本機で使えなくなる場合があります。その場合は、コンパクトフラッシュカードに記録されているデータをパソコンなどでバックアップをとったうえで本機で初期化し直してください。

基本設定画面

「設定」画面を開き、［基本設定］を選択すると、「基本設定」画面が表示されます。「基本設定」画面で各項目を選ぶと、以下の設定が行えます。

1 時計

日付と時刻の設定やタイムゾーンの設定が行えます。
時計の設定が違うと、インターネットのホームページが正しく表示されなかったりします。
また、タイムゾーンを変更し、［OK］を選ぶと、モニターが再起動します。

ご注意

タイムゾーンから［都市名（標準）］で夏時間を採用している都市を選択しても、自動的には夏時間に設定されません。夏時間に設定したいときは、［都市名（夏時間）］を選んでください。

2 タイマー

オフタイマーや省エネタイマーの設定が行えます。

オフタイマー：

自動的にモニターの電源を切るように設定できます。本機をつけたまま外出したり、寝てしまっても設定した時間（30 分、60 分または 90 分）が過ぎると、自動的に電源が切れます（ベースステーションの電源は切れません）。
テレビやビデオ以外の機能を使用しているときでもオフタイマーは働きます。

省エネタイマー：

モニターの電源をつけたまま一定時間何も操作しなかったときに、省エネタイマーが働いて本機の消費電力を少なくするように設定できます。省エネタイマーが働くと、バックライトが消えて、画面は暗くなります。

- 省エネタイマーは、テレビ・ビデオを表示しているときや、モニターを AC アダプターで接続しているときは実行されません。

3 ペン位置調整

タッチペンで触れた位置と画面上で反応した位置がずれている場合、ずれをなくすように調整できます。

ご注意

タッチペン以外は使わないでください。画面が傷ついたり割れたりする原因になります。

4 ソフトウェアのバージョン表示

本機のソフトウェアバージョンを表示します。

5 文字入力

よく使う単語を予測入力機能の辞書に登録したり（☞ 131 ページ）、文字入力の方法を「予測変換」または「連文節変換」に切り換えたりできます（☞ 128 ページ）。

6 初期化（☞ 144 ページ）

本機のすべての設定やネットワーク / ワイヤレスの設定をお買い上げ時の状態に戻したり、コンパクトフラッシュカードを初期化したりできます。

7 操作音

本機を操作しているときの操作音をオン / オフできます

8 容量（メモリ）（☞ 146 ページ）

本体メモリやコンパクトフラッシュカードの残りの容量を確認できます。

テレビチャンネルを手動で設定する

ちょっと一言

テレビチャンネルの設定をするには、モニター設定の接続タイプを家モード（ワイヤレス）に設定してください。

テレビチャンネルを手動で設定する

モニターで受信するテレビチャンネルを手動で設定できます。
また、自動受信した後に、チャンネルを追加・取り消したり、チャンネルの名前を変更できます。

本機で受信可能なチャンネル

VHF 放送：　1 ～ 12 チャンネル
UHF 放送：　13 ～ 62 チャンネル
ケーブルテレビ：C13 ～ C63 チャンネル

1 「設定一覧」画面を表示し、[テレビ・ビデオ]を選ぶ。

「テレビ・ビデオ」画面が表示されます。

2 [チャンネル設定変更]を選ぶ。

「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

3 変更したいテレビチャンネルのリスト部分を選ぶか、チェックしてから、[編集]を選ぶ。

「チャンネル設定」画面が表示されます。

4 「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を変更し、「放送局名表示」の中から設定したい放送局名を選ぶ。

[−]または[+]を使って数字を変更します。
受信チャンネルを変更すると、選んだチャンネルが映ります。

「チャンネル表示」とは

テレビの画面上部やインデックス画面に表示するテレビチャンネルの番号です。

その他の便利な機能と設定

「受信チャンネル」とは

新聞のテレビ欄などに記載されているチャンネルです。

ちょっと一言

- ケーブルテレビのときは、チャンネル番号の前に「C」の付いた番号を選びます。
- 「受信チャンネル」に「--」（C63 の次）を表示すると、テレビチャンネルを受信しなくなります。
- 追加したい放送局名が「放送局名表示」の中にないときは「放送局名を編集する」（☞ 139 ページ）を行います。

5 [OK]を選ぶ。

変更された「チャンネル設定変更」画面に戻ります。

6 [戻る]を選ぶ。

「テレビ・ビデオ」画面に戻ります。

7 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

見ないチャンネルを消去する

設定したテレビチャンネルの中から、見ないテレビチャンネルを消去します。

ご注意

消去したチャンネルをもう一度受信するには、自動で設定し直すか（☞ 33 ページ）、「テレビチャンネルを手動で設定する」（☞ 137 ページ）にしたがって設定し直してください。

1 「チャンネル設定変更」画面を表示し（☞ 137 ページ）、消去したいテレビチャンネルをチェックして、[表示取消]を選ぶ。

一度に複数のテレビチャンネルを選べます。

そのチャンネルが消去され、「放送局名」が「受信しない」に変わります。

2 [戻る]を選ぶ。

「テレビ・ビデオ」画面に戻ります。

3 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

放送局名を編集する

テレビチャンネルを設定するとき、「放送局名表示」の中に追加したい放送局名がないときは、好みの放送局名を入力して、インデックス画面に表示できます。

1 「放送局名表示」画面を表示し(☞ 137 ページ)、[リストにない放送局] を選ぶ。

「局名編集」画面が表示されます。

2 [局名編集] を選ぶ。

「局名編集」画面が表示されます。

ちょっと一言

受信チャンネルが「--」のときは、[+] / [−] で受信チャンネルを設定してから [局名編集] を選んでください。

3 インデックス画面に表示したい放送局名を入力し、[OK] を選ぶ。

ちょっと一言

文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」(☞ 120 ページ)をご覧ください。

「チャンネル設定」画面に戻り、新しく入力した放送局名が [局名編集] の下に表示されます。

4 [OK] を選ぶ。

変更された「チャンネル設定変更」画面に戻ります。

5 [戻る] を選ぶ。

「テレビ・ビデオ」画面に戻ります。

6 [設定一覧] を選び、[設定終了] を選ぶ。

ワイヤレスチャンネルを手動で変更する

モニター設定の接続タイプが家モード（ワイヤレス）でワイヤレス通信中、通信状態が悪いと本機は自動的に最適なワイヤレスチャンネルに変更しますが、次の場合は、手動でワイヤレスチャンネルを変更してください。

- テレビの画像がひんぱんに停止する
- 手動で最適なワイヤレスチャンネルを設定したい
- 本機の近くに同じ周波数を使っている機器がある
- パソコンをベースステーションに無線接続する

ご注意

ワイヤレスチャンネルの設定中は、ベースステーションとモニターの電源を切らないでください。

ちょっと一言

「公衆無線 LAN 設定」画面で、本機の近くで使用されているワイヤレスネットワークを確認できます（☞ 54 ページ）。ワイヤレスの通信状態が悪い場合は、近くに同じチャンネルを使っているワイヤレスネットワークがないか確認してください。

1 「設定一覧」画面を表示し、[ベースステーション設定]を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面が表示されます。

2 [ワイヤレスチャンネル]を選ぶ。

「ワイヤレスチャンネル設定」画面が表示されます。

3 各項目を設定する。

① 手動を選択します。
② 受信状態を確認しながら、7 つのチャンネルから良好なワイヤレスチャンネルを選びます。

ちょっと一言

各規格のワイヤレス LAN カードでは、次の周波数帯を使用できます。パソコンをベースステーションにワイヤレスで接続する場合は、ワイヤレス LAN カードに合わせたチャンネルから選択してください。
IEEE 802.11a 準拠のワイヤレス LAN カードの場合：5 GHz
IEEE 802.11b 準拠のワイヤレス LAN カードの場合：2.4 GHz
IEEE 802.11g 準拠のワイヤレス LAN カードの場合：2.4 GHz

4 テレビもしくはビデオを表示して、ワイヤレス通信できることを確認したら、[戻る]を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

5 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

ちょっと一言
本機では 2.4 GHz 帯および 5 GHz 帯の無線周波数帯を使用しています。[自動：2.4 GHz と 5 GHz]、[自動：2.4 GHz のみ]、または［自動：5 GHｚ のみ］を選ぶと、本機が自動的にその周波数帯で最適なワイヤレスチャンネルを選択します。

近くでワイヤレス LAN を使用するときは

近くで本機を 2 台以上使用する場合、または 2.4 GHz/5 GHz、IEEE 802.11a/b/g 準拠のワイヤレス LAN のアクセスポイントを使用する場合は、本機のワイヤレスチャンネルは自動を選んだ状態で使用できます。
それでも本機の画像などが正しく表示されないときは、本機の「ワイヤレスチャンネル」画面の手動を選び、他の機器で設定しているチャンネル以外のチャンネルに変更してください。
たとえば、「2.4 GHz、IEEE 802.11b」準拠のワイヤレス LAN のアクセスポイントが 1 チャンネルであれば、本機は 6 チャンネルまたは 11 チャンネルに設定します。

ちょっと一言
ワイヤレス LAN の設定について詳しくは、エアボードのホームページの「Q & A」（http://www.sony.co.jp/airboard/QA/）をご覧ください。

ベランダや庭など、屋外で使用するときは

必ず 2.4 GHz 帯で使用してください。[自動：5 GHz のみ]、[自動：2.4 GHz と 5 GHz] は使用しないでください。
法令により、国内では 5 GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。

電波を出したくないときは

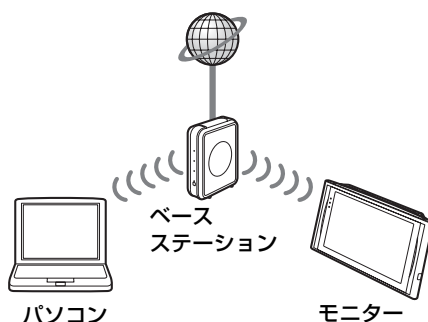
電波を出してはいけない場所でモニターを使用するときは、モニター設定を家モード（有線 LAN）または外モード（有線 LAN）に切り換えてください。

ご注意
ベースステーションは電源が入っているときは常に電波を出しています。

ベースステーションをワイヤレス LAN アクセスポイントとして使う

ワイヤレス LANって何？

ワイヤレス LAN とは、無線通信でデータの送受信をするネットワーク（LAN）のことで、ワイヤレス LAN アクセスポイントを中心にワイヤレスネットワークをつくります。本機のベースステーションは、ワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコンと次のようなワイヤレスネットワークを構成できます。

- ベースステーションを経由して、リビングや子供部屋など、家の中のいろいろな場所にあるパソコンからインターネットに接続できます。

ちょっと一言
- ここで説明しているワイヤレス LAN とは、ベースステーションをワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコンとワイヤレスネットワークを構成することです。ワイヤレスネットワークを構成しない場合は、次で説明しているワイヤレス LAN の設定は必要ありません。
- 本機をパソコンのワイヤレス LAN アクセスポイントとして使う場合は、IEEE 802.11a/b/g のいずれかに準拠のワイヤレス LAN 機能が内蔵されたパソコンか、IEEE 802.11a/b/g のいずれかに準拠したワイヤレス LAN カードが必要です。
- モニターをワイヤレスではなく家モードまたは外モードの有線 LAN で使っているときも、本機の

つづく

ベースステーションをパソコンのワイヤレス LAN アクセスポイントとして使うことができます。

ご注意

すべてのワイヤレス LAN 機器がベースステーションに接続できることを保証するものではありません。

＊動作確認済みのワイヤレス LAN PC カードは、エアボードのホームページ（アドレス「http://www.sony.co.jp/airboard/QA/」）をご覧ください。

ワイヤレス LAN 設定の流れ

ここでは、本機をパソコンのワイヤレス LAN アクセスポイントとして使う場合に必要な設定の流れをおおまかに説明します。
詳しい設定や接続のしかたについては、お使いのワイヤレス LAN PC カードの取扱説明書をご覧ください。

本機でワイヤレス LAN の設定をする
↓
パソコンの設定をする
↓
パソコンでワイヤレス LAN を利用できるようになります

本機でワイヤレス LAN の設定をする

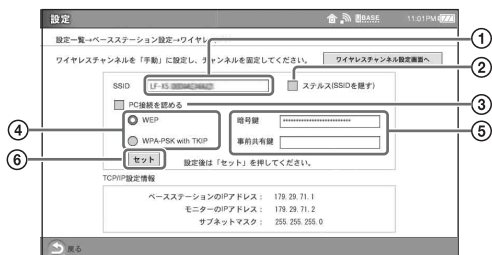
モニター設定を家モード（ワイヤレス）に設定し、ベースステーションとモニター間の通信状態が安定している環境で設定してください。また、設定中はベースステーションとモニターの電源を切らないでください。

1 **「設定一覧」画面を表示し、[ベースステーション設定]を選ぶ。**

「ベースステーション設定」画面が表示されます。

2 **[ワイヤレス LAN]を選ぶ。**

「ワイヤレス LAN 設定」画面が表示されます。

3 **各項目を設定し、[セット]を選ぶ。**

① ［SSID］（ネットワークネーム）には、お買い上げ時にすでに文字列が入力されています。変更する場合は、32 文字以内の半角英数字記号で入力してください。
SSID とは、ワイヤレスネットワークを識別するための ID です。

② SSID を公開したくないときは、［ステルス（SSID を隠す）］をチェックします。

③ ［PC 接続を認める］をチェックします。

④ ［WEP］または［WPA-PSK with TKIP］を選びます。

⑤ ④で選んだ暗号化の方法に合わせて、暗号鍵または事前共有鍵を入力します。
WEP の場合：
暗号鍵を、文字または 16 進数で入力します。
暗号鍵には、任意の文字列を設定できますが、暗号鍵の長さによって必要文字数が異なります。暗号鍵の必要文字数と使用できる文字は次のとおりです。

暗号鍵長	64bit	128bit
文字入力	5 文字（半角英数字、記号）	13 文字（半角英数字、記号）
16 進数入力	10 文字（0 ～ 9、A ～ F、a ～ f）	26 文字（0 ～ 9、A ～ F、a ～ f）

WPA-PSK with TKIP の場合：
事前共有鍵を、8 文字以上 64 文字以内で入力します。
64 文字で入力した場合にのみ、使用できる文字は、0 ～ 9、a ～ f、A ～ F になります。

⑥ 各項目を設定したら、［セット］を選びます。

ご注意

- ［ステルス（SSID を隠す）］をチェックすると、Windows XP の「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の［利用できるネットワーク］で検索できなくなります。
- 暗号鍵や事前共有鍵は、人から推測されにくい文字列を設定してください。
- セキュリティのため、暗号鍵や事前共有鍵は定期的に変更してください。

ちょっと一言

- 文字入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞ 120 ページ）をご覧ください。
- SSID や暗号鍵、事前共有鍵は、パソコンをワイヤレス LAN に接続するときに必要になります。設定した内容を忘れないようにしてください。

4 ［ワイヤレスチャンネル設定画面へ］を選ぶ。

「ワイヤレスチャンネル設定」画面が表示されます。
ワイヤレス LAN で使用するワイヤレスチャンネルを設定します。
設定方法は、「ワイヤレスチャンネルを手動で変更する」の手順 3（☞ 140 ページ）をご覧ください。

5 ［戻る］を選ぶ。

「ワイヤレス LAN 設定」画面に戻ります。

6 ［戻る］を選ぶ。

「ベースステーション設定」画面に戻ります。

7 ［設定一覧］を選び、［設定終了］を選ぶ。

パソコンの設定をする

ワイヤレス LAN を利用するには、パソコンにワイヤレス LAN PC カード（IEEE802.11a/b/g のいずれかの規格に準拠する）をインストールし、本機のワイヤレス LAN の設定に合わせて、Windows 環境やインターネット接続の設定、アクセスポイントに接続するための設定を行います。
詳しくは、使用しているパソコンやワイヤレス LAN カードの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

ワイヤレス LAN は、本機との距離や周囲の電波状況、障害物などにより通信状態が左右されます。パソコンの設定を行うときは、パソコンと本機をなるべく近づけた状態で行ってください。

ご注意

- 接続しているパソコンがデータ転送しているときは、本機のテレビ画像が乱れることがあります。
- ワイヤレス LAN でのセキュリティについては、「ワイヤレス LAN のセキュリティについて」（☞ 4 ページ）をご覧ください。

本機をお買い上げ時の設定に戻す

ご注意

- 初期化は、ベースステーションの近くで行ってください。
- 初期化は、必ずモニターにACパワーアダプターが接続されている状態で行ってください。
- 初期化の途中でモニターが再起動されますが、そのままお待ちください。

ベースステーションの初期化方法

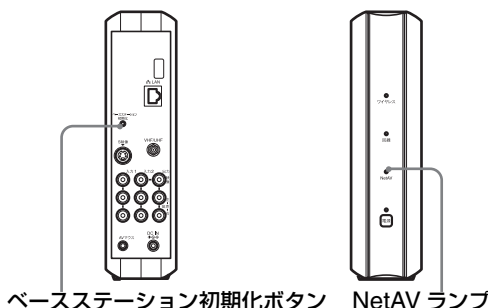
「すべての設定を初期化する」、「ネットワーク / ワイヤレスを初期化する」を行う場合には、ベースステーションの初期化が必要です。
なお、ベースステーションを初期化すると、ベースステーションのネットワーク設定やワイヤレス設定、NetAV 設定などが消去されます。

1 ベースステーションの電源を切る。

2 ベースステーション背面にある[ベースステーション初期化]ボタンを押しながら、電源を入れ直す。

[ベースステーション初期化］ボタンは、ベースステーション前面の［NetAV］ランプが赤く点灯するまで押し続けてください。

ベースステーション背面　ベースステーション前面

ベースステーション初期化ボタン　NetAV ランプ

すべての設定を初期化する

本機を初期化することにより、お買い上げ時の設定に戻すことができます。
初期化すると、本機に保存されたデータはすべて消去されます。

ご注意

初期化を行うと、受信したメールやアルバムに保存されている画像、保存しておいたホームページやブックマークなど、お客様のデータが消去されます。

1 ベースステーションの初期化(☞ 144ページ)を行う。

2 「設定一覧」画面を表示し、[基本設定]を選ぶ。

「基本設定」画面が表示されます。

3 [初期化]を選ぶ。

「初期化」画面が表示されます。

4 [全体初期化]を選ぶ。

「全体初期化」画面が表示されます。

5 画面に表示されている注意事項をよく読み、[OK]を選ぶ。

すべての設定が初期化され、自動的にモニターが再起動します。

ネットワーク / ワイヤレスを初期化する

ネットワーク / ワイヤレスを初期化することにより、モニターとベースステーションのネットワーク、ワイヤレスの設定をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

1 **ベースステーションの初期化(☞ 144ページ)を行う。**

2 **「設定一覧」画面を表示し、[基本設定]を選ぶ。**

「基本設定」画面が表示されます。

3 **[初期化]を選ぶ。**

「初期化」画面が表示されます。

4 **[ネットワーク / ワイヤレス初期化]を選ぶ。**

「ネットワーク / ワイヤレス初期化」画面が表示されます。

5 **画面に表示されている注意事項をよく読み、[OK]を選ぶ。**

モニターとベースステーションのネットワーク、ワイヤレスの設定が初期化され、自動的にモニターが再起動します。

メールを初期化する

送受信したメールのデータやメールの設定など、メールに関するすべてのデータや設定を初期化できます。
また、メール画面に設定していたセキュリティパスワードを忘れたときも、次の手順でメールの初期化を行ってください。

ご注意

メールを初期化すると、送受信した添付画像も消去されます。(アルバムにコピーした画像やコンパクトフラッシュカードに保存したメールは消去されません。)

1 **「設定一覧」画面を表示し、[メール]を選ぶ。**

「メール」画面が表示されます。

2 **[セキュリティ]を選ぶ。**

「セキュリティ」画面が表示されます。

3 **[メール初期化]を選ぶ。**

「メール初期化」画面が表示されます。

4 **画面に表示されている注意事項をよく読み、[OK]を選ぶ。**

メールが初期化されます。

メモリの残量を確認する

本体メモリやコンパクトフラッシュカードの残りの容量を確認できます。

ご注意

- コンパクトフラッシュカードや表面に記載されている容量と実際に使用できる容量は異なります。画面上の「全容量」に表示された容量分のみ使用できます。
- 本体メモリやコンパクトフラッシュカードの中には、設定データなどお客様自身で消去できないデータも含まれています。

1 「設定一覧」画面を表示し、[基本設定]を選ぶ。

「基本設定」画面が表示されます。

2 [容量(メモリ)]を選ぶ。

「容量（メモリ）」画面が表示されます。
「容量（メモリ）」画面で、メモリの残量を確認できます。

3 [戻る]を選ぶ。

「基本設定」画面に戻ります。

4 [設定一覧]を選び、[設定終了]を選ぶ。

メモリの残量を増やすには

本体メモリの「残り」が少なくなったときは、次の方法で不要なデータを削除するとメモリの残量が増えます。

- キャッシュの消去（☞ 92 ページ、「その他の設定をする」）
- メールの削除（☞ 102 ページ、「受信したメールを削除するには」）
- アルバム画像の削除（☞ 110 ページ、「アルバムの基本画面」）

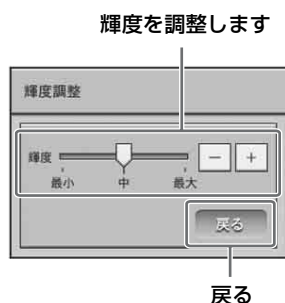
画面の明るさを調整する

画面の明るさを調整します。この操作を行うと、すべての画面の明るさが同時に調整されます。

1 **「設定一覧」画面を表示し、[輝度調整]を選ぶ。**

「輝度調整」画面が表示されます。

2 **輝度を調整し、[戻る]を選ぶ。**

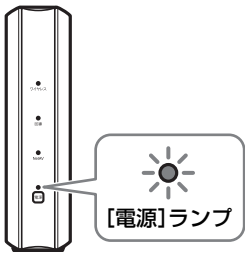
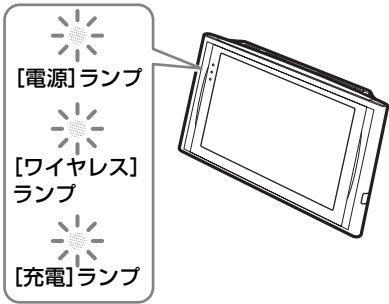
スライダーを動かすか、[−]または[+]を選んで調整します。

設定項目	[−] を選ぶと	[+] を選ぶと
輝度	暗くなる	明るくなる

「設定一覧」画面に戻ります。

3 **[設定終了]を選ぶ。**

自己診断表示について

本機使用中に異常が生じたときは、電源を入れたときにベースステーション正面の［電源］ランプやモニター前面の［電源］ランプ、［ワイヤレス］ランプ、［充電］ランプが本機の状態をお知らせします。次の表でランプの症状と対処のしかたを確認してください。症状が改善されない場合は、エアボードカスタマーサポートセンター（☞ 裏表紙）にお問い合わせください。

自己診断表示ランプ

ベースステーションの［電源］ランプの症状	原因	対処のしかた
赤色で連続点滅 （赤）	ハードウェアまたは設定ファイルの異常の可能性があります。	❶ ベースステーションの電源の入 / 切を再度行う。 ❷ ネットワーク / ワイヤレスを初期化する。（☞ 145 ページ） ❸ 症状が変わらなければ、エアボードカスタマーサポートセンター（☞ 裏表紙）へお問い合わせください。

モニターの［電源］ランプの症状	原因	対処のしかた
赤色で連続点滅 （赤）	ハードウェアまたは設定ファイルの異常の可能性があります。	❶ モニターの電源の入 / 切を再度行う。 ❷ ネットワーク / ワイヤレスを初期化する。（☞ 145 ページ） ❸ 症状が変わらなければ、エアボードカスタマーサポートセンター（☞ 裏表紙）へお問い合わせください。

モニターの［充電］ランプの症状	原因	対処のしかた
充電時間が経過しても、赤色で点灯 （赤）	バッテリーの異常の可能性があります。	❶ AC パワーアダプターを抜いて、バッテリーを入れ直す。 ❷ 症状が変わらなければ、エアボードカスタマーサポートセンター（☞ 裏表紙）へお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検をしてください。それでも正常に動作しないときは、エアボードカスタマーサポートセンター（☞ 裏表紙）にご相談ください。

本機共通

症状	対処のしかた
モニターの電源が入らない。	• AC パワーアダプターをつないでください。（☞ 31 ページ） • バッテリーは入っていますか？
モニターの電源が突然切れた。 いつの間にか切れていた。	• オフタイマーを設定していませんか？（☞ 136 ページ） • バッテリーの寿命ではありませんか？バッテリーの寿命は、充電放電 300 回程度です。バッテリーを交換してください。 • モニターの温度が高くなると、自動的にモニターの電源が切れます。
BASE * 表示が出ている。 * このアイコンは、家モード（ワイヤレス）のときにのみ表示されます。	• ベースステーションの電源は入っていますか？ • BASE が表示されるところに移動するか、ベースステーションの高さや向きを変えてください。 • 近くでワイヤレス LAN のアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数の機器を使用していますか？ワイヤレス LAN のアクセスポイントの設定を変更してください。（☞ 141 ページ） • ワイヤレス通信が電波の干渉を受けてます。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞ 140 ページ） • 2.4 GHz 使用時： – 近くで電子レンジを使ってませんか？電子レンジ使用中は本機のワイヤレス通信が電波の干渉を受けますが、使用をやめると干渉はなくなります。 – 近くで 2.4 GHz のコードレスホンを使っていませんか？その場合は、ワイヤレスチャンネルを変更してください。
画面が突然暗くなった。	インターネット / メール / アルバム / 設定画面のときに、省エネタイマーが働き、画面のバックライトが消えています。画面に触れるか、いずれかのボタンを押すと画面が明るくなります。省エネタイマーを解除することもできます。（☞ 136 ページ）
画面が暗い。	設定画面から輝度を調整してください。（☞ 147 ページ）
画面内のボタンが反応しない。	• インデックス画面やメッセージダイアログが出ているときはインデックス画面やメッセージダイアログ内のボタン以外は選べません。 • 薄く表示されているボタンは選べません。ボタンによっては、チェックすると選べるようになります。
選んだものと違うボタンが反応する。	画面で触れた位置と画面の位置がずれています。タッチペンの位置を調整してください。（☞ 136 ページ）
何の操作も受けつけない。	電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。
モニターやベースステーションの電源が切れない。	［電源］ボタンを 3 秒以上スライドし続けてください。強制的に電源が切れます。

つづく

症状	対処のしかた
パスワードがエラーになってしまう。	アルファベットの大文字、小文字は合っていますか？大文字、小文字は区別されます。
バッテリーがすぐになくなる。	• バッテリーの故障または寿命かもしれません。バッテリーは充放電を繰り返すことで容量が次第に減っていく特性があります。また高温下では寿命がさらに短くなります。新しいバッテリーをお買い求めください。（☞ 33 ページ） • AC パワーアダプターを接続しても、モニターの電源が入っているときは充電できません。充電したいときは、モニターの電源を切ってください。
充電ランプが点灯しない。	• バッテリーは入っていますか？ • バッテリーの寿命です。 • AC パワーアダプターを接続しても、モニターの電源が入っているときは充電できません。充電したいときは、モニターの電源を切ってください。
充電時間が経過しても、充電ランプが点灯し続けている。	• バッテリーの異常です。AC パワーアダプターを抜いてバッテリーを入れ直してください。 症状が改善しない場合は、エアボードカスタマーサポートセンターへお電話ください。 • 気温が 0 ～ 35 ℃以外のときは充電されません。
ネットワークにつながらない。	• モニター設定（[設定一覧] － [モニター設定]）にある接続タイプを正しく選択していますか？ **■家モード（ワイヤレス）** • ワイヤレス通信が途切れていませんか？ 画面上部に BASE が表示されるところまでベースステーションに近づくか、ベースステーションの電源が入っているかを確認してください。 • モデムやルーターの電源が入っていますか？ 入っている場合は、いったん電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れ直してください。 • ベースステーションの回線ランプは点灯していますか？ **点灯していない場合：** － LAN ケーブルの接続を確認してください。 － 正しい LAN ケーブル（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）を使っていますか？ ケーブルの種類については接続機器の取扱説明書、または回線事業者にお問い合わせください。 － 同時に 1 つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、先に他の機器を接続しているときは接続できません。 **（ADSL で接続している場合）** • スプリッターの DSL ポートと TEL（TELEPHONE）ポートを間違えていませんか？ • 機器の取扱説明書を参照し、ADSL モデムのランプが正しく点灯していることを確認してください。 **点灯している場合：** － インターネット設定のプロキシの設定（設定一覧→インターネット→プロキシ）、メールの送受信設定（設定一覧→メール→送受信設定）を確認してください。 － ルーターや ADSL モデムの設定は正しいですか？ － ルーターは正しく設定されていますか？

症状	対処のしかた
ネットワークにつながらない。（つづき）	■家モード（有線 LAN） ● 画面上部に が表示されていますか？ 表示されてない場合は、以下のことを確認をしてください。 – モニター側に LAN ケーブルが正しく接続されていますか？ – 家モード（有線 LAN）の設定（設定一覧→モニター設定→家モード（有線 LAN）の設定）は正しいですか？ ● PPPoE を使用する LAN 回線の場合はご利用になれません。 ■外モード（ワイヤレス） ●「公衆無線 LAN に接続できない」参照してください。（☞ 159 ページ） ■外モード（有線 LAN） ● 画面上部に が表示されていますか？ 表示されてない場合は、以下のことを確認をしてください。 – モニター側に LAN ケーブルが正しく接続されていますか？ – 外モード（有線 LAN）の設定（設定一覧→モニター設定→外モード（有線 LAN）の設定）は正しいですか？ ● PPPoE を使用する LAN 回線の場合はご利用になれません。
DHCP サーバーから IP アドレスなどの値が自動的に割り当てられない（値が表示されない）。	● LAN ケーブルの接続を確認してください。 ● ご利用の回線事業者と契約上の問題があるか、回線事業者のサーバーに障害が発生している可能性があります。ご利用の回線事業者へお問い合わせください。 ●「LAN 回線（DHCP）を使って接続する」（☞ 41 ページ）をご覧になり、［IP アドレス自動設定（DHCP）］のチェックをはずし、手動で回線の設定を入力してから［セット］を選択してください。
ネットワークに接続していたのに突然切断された。	● モデムやルーターの電源を確認してください。 ● ルーターを使用している場合は、ルーターの自動回線切断機能が働いていませんか？

文字入力

症状	対処のしかた
キーボードが切り換えられない。	半角英数しか入力できない欄を入力するときは、キーボードの切り換えができません。

テレビ／ビデオ共通

症状	対処のしかた
色がつかない、おかしい。	● 画質を調整してください。（☞ 78 ページ） ● AV ケーブルおよび、アンテナ線が正しく接続されているか確認してください。
画像は出るが音が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● ヘッドホンがつながっていませんか？

つづく

症状	対処のしかた
画像が映らない。	● ベースステーションの電源が入ってるか確認してください。 ● モニター設定（[設定一覧] －［モニター設定]）にある接続タイプを正しく選択していますか？ ■家モード（ワイヤレス） ● ワイヤレス通信が途切れていませんか？ 画面上部に が表示されるところまでベースステーションに近づくか、ベースステーションの電源が入っているかを確認してください。 ● 近くでワイヤレス LAN のアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4 GHz/5 GHz 帯）の機器を使用していませんか？ ● 画面上部に が表示されていませんか？ 登録した機器が NetAV 接続をしていると、画面上部に が表示され、画像は映りません。画面下部にある［AV 開始］を選ぶと、画像が映るようになります。 ■家モード（有線 LAN） ●画面上部に が表示されていますか？ 表示されていない場合は、以下のことを確認してください。 － モニター側に LAN ケーブルが正しく接続されていますか？ － 家モード（有線 LAN）の設定（[設定一覧] －［モニター設定］－家モード（有線 LAN）の設定）は正しいですか？ 画面上部に が表示されている場合は、以下のことを確認してください。 －「有線 LAN ポートで映像を見る設定」画面（[設定一覧] －［ベースステーション設定］－［有線 LAN ポートで映像を見る設定]）で［有効にする］に設定していますか？ （☞ 51 ページ） （この設定は、モニター設定の接続タイプを家モード（ワイヤレス）にしないと確認できません。） － ベースステーションの IP アドレス（[設定一覧] －［モニター設定］－家モード（有線 LAN）の設定）は正しく設定されていますか？（☞ 52 ページ） ● PPPoE を使用する LAN 回線の場合は利用できません。 ● PPPoE 対応のルーターを介して接続してください。 ■外モード（ワイヤレス） 「NetAV」の「NetAV 接続できない。」の項をご覧ください。 （☞ 159 ページ） ■外モード（有線 LAN） ● モニター側に LAN ケーブルが接続されていますか？ ● テレビ / ビデオ画面下部にある［NetAV 接続］を選択しましたか？ ● 画面上部に が表示されていますか？ 表示されていない場合は、「ネットワークにつながらない」の外モード（有線 LAN）の対処のしかた（☞ 151 ページ）をご覧ください。

症状	対処のしかた
画像が映らない。(つづき)	■外モード(有線 LAN)(つづき) • 画面上部に が表示されている場合は、「NetAV」の「NetAV 接続できない。」の項をご覧ください。(☞ 159 ページ) • PPPoE を使用する LAN 回線の場合は利用できません。PPPoE 対応のルーターを介して接続してください。
画像がひんぱんに止まってしまう。	• 家モード(ワイヤレス) • ワイヤレス通信が途切れている可能性があります。ベースステーションに近づいてください。 • 近くに本機が使用しているワイヤレス通信と同じ周波数の機器があると、画像が停止することがあります。本機が使用する周波数帯の設定を変更するか、電波を出している機器から離れたところで使用してください。 • 家モード(有線 LAN) • 家庭内 LAN で使用している場合は、10Base-T のルーターまたはハブを使用していませんか? 10/100Base-T のルーターまたはハブを使用してください。 • 外モード(ワイヤレス)/ 外モード(有線 LAN) • NetAV 機能を利用しているときは、インターネットの通信状態によっては、画像が止まることがあります。
ブロック状に見えることがある。	• 画像処理によるもので、故障ではありません。

テレビ

画像が出ない

症状	対処のしかた
テレビのチャンネルが 1 つも映らない(真っ黒な画面が表示される)。	• ベースステーションの電源は入ってますか?
テレビのチャンネルが 1 つも映らない(砂嵐のような画面が表示される)。	• アンテナ接続ケーブルをベースステーションにしっかりつないでください。(☞ 27 ページ) • 自動 CH 設定で近隣の違う地域を選び直してみてください。(☞ 33 ページ) •「チャンネル設定変更」画面で受信チャンネルを変更してください。(☞ 137 ページ)
特定のチャンネルだけが映らない。	「チャンネル設定変更」画面で受信チャンネルを変更してください。(☞ 137 ページ)
ケーブルテレビのチャンネルが正しく映らない。	本機では、C13 ~ C63 チャンネルに対応しています。それ以外のチャンネルやスクランブルがかかっているチャンネルをご覧になりたいときは、ホームターミナルを本機のビデオ入力端子に接続してください。

きれいに写らない

症状	対処のしかた
画像が二重三重になる。	● アンテナ接続ケーブルをベースステーションにしっかりつないでください。（☞ 27 ページ） ● アンテナの位置、方向、角度を調節してください。
雪が降るような画面、薄い画面。	● アンテナがこわれていたり曲がったりしていないか確認してください。 ● ベースステーションがアンテナケーブルでアンテナに正しく接続されているか確認してください。 ● 現在放送中のチャンネルを選んでいるか確認してください。
縞状のノイズが多い / 雑音が多い。	● テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。（☞ 27 ページ） ● アンテナ接続ケーブルは他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

ビデオ

症状	対処のしかた
つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。赤、白、黄色、S 端子の配線も確認してください。（☞ 28 ページ） ● パソコン用モニターなどのノンインターレース信号は表示できません。 ● 正しい入力端子に接続されているか、確認してください。（☞ 23 ページ） ● ビデオ出力端子に接続していませんか？ビデオ入力 1 またはビデオ入力 2 端子に接続してください。（☞ 23 ページ） ● 外部機器の電源を確認してください。
画面上のリモコンで操作できない。	● AV マウスをベースステーションの AV マウス端子に正しくつないでください。（☞ 23 ページ） ● AV マウスがリモコン受光部に向けて正しく設置されているか確認してください。（☞ 35 ページ） ● リモコン受光部の近くに蛍光灯や太陽光などの強い照明があたっているときは離して置いてください。 ● 電波状態が悪いとき、正しく動作しないことがあります。 ● 本機で、リモコンの設定をやり直してください。（☞ 35 ページ）（画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。）動作確認済み機種については、エアボードのホームページの「Q&A」（http://www.sony.co.jp/airboard/QA/）をご覧ください。 ●「リモコン設定」画面で「ビデオ入力 1」と「ビデオ入力 2」のリモコンが正しく設定されていますか？ ● つないだ機器本体のボタンを使って操作できるか確認してみてください。（画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。）動作確認済み機種については、エアボードのホームページの「Q&A」（http://www.sony.co.jp/airboard/QA/）をご覧ください。
ベースステーションのビデオ出力端子につないでいるが、映らない。	ビデオ出力したい機器をビデオ入力 1 端子に接続していませんか？ ● ビデオ入力 2 端子に接続してください。 ● ベースステーションに AC パワーアダプターを接続していますか？

インターネット

症状	対処のしかた
「Web サーバーに接続できません。」というエラーが表示されて接続できない。	● モニター設定が家モード（ワイヤレス）のとき、ベースステーションとモニターが通信できていますか？ ● LAN ケーブルの接続を確認してください。 ● モニター設定が家モード（ワイヤレス）のときは、「ベースステーション設定」の「ベースステーションの回線設定」から「LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）」を選び、［IP アドレス自動設定（DHCP）］を再度チェックしてから［セット］を選択してください。（☞ 41 ページ） IP アドレス手動の場合は、「LAN 回線（アドレス手動）を使って接続する」（☞ 42 ページ）をご覧になり、［IP アドレス自動設定（DHCP）］のチェックをはずし、手動で回線の設定を入力してから［セット］を選択してください。 なお、モニター設定が家モード（有線 LAN）、外モード（有線 LAN）のときは、該当する［設定］を選び、［IP アドレス自動設定（DHCP）］を再度チェックしてから［セット］を選択してください。（☞ 52 ページ、62 ページ） ● プロキシサーバーの設定は正しいですか？（☞ 93 ページ）ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。 ● ご利用の回線事業者と契約上の問題があるか、回線事業者のサーバーに障害が発生している可能性があります。ご利用の回線事業者へお問い合わせください。
ホームページの文字が正しく表示されない。	●［更新］を選んで再読込してください。 ●［戻る］、［進む］などを選んで、いったん違う画面を表示した後、もう一度そのホームページへ戻ってみてください。それでも正しく表示されない場合は、電源を切ってから入れ直してください。 ●［設定一覧］－［インターネット］－［ホームページ］を選び、文字コードの設定を確認してください。文字コードを変更した場合は、モニターを再起動してください。（☞ 92 ページ） ● インターネットで対応していない言語（対応している言語は日本語、西ヨーロッパ言語）のホームページを表示している場合は、文字が正しく表示されません。
リンクを選んでもページが表示されない。	● 本機に対応していない形式のファイルは表示できません。また、対応していないプラグインを使用しているホームページは表示できません。なお、本機で対応している Flash や PDF ファイルでも、ホームページによっては表示されないことがあります。 ● Flash を使っているホームページを表示する場合、「ホームページ」設定画面で「Flash コンテンツを有効にする」をチェックしてください。（☞ 92 ページ） ● JavaScript を使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。「ホームページ」設定画面で「JavaScript を有効にする」のチェックをはずして無効にすると正しく表示されることがあります。（通常は「JavaScript を有効にする」にチェックをつけ、有効にしておいてください。）（☞ 92 ページ） ● JavaScript で作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。 ● 電波の受信状態、あるいは回線状態が悪いと、ホームページが表示されなかったり、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

症状	対処のしかた
ホームページの一部の画像が表示されない。	●［更新］を選んで再読み込みしてください。 ● は読み込みに失敗したファイル、または本機では表示できないファイルです。 ● ファイルサイズが大きい画像は表示できないことがあります。 ● 画面表示の一部が欠けてしまうことがあります。［更新］を選んで再読込をしてください。 ● 画像ファイルのリンクが切れている場合は、画像が正しく表示されません。 ● インターネットでは、JPEG、GIF、PNG 以外の画像ファイルを表示できません。 ● インターネットでは MPEG1 の動画ファイルは表示できません。 ● 回線が混んでいて転送に時間がかかる場合があります。そのまま待つか、しばらくたってから［更新］を選んで再読み込みしてください。 ● 電波の受信状態、あるいは回線状態が悪いと、ホームページが表示されなかったり、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
回線接続しているのにホームページが表示されない。	● Web サーバーが混んでいる場合があります。少し時間を置いてもう一度接続し直してください。 ● Flash を使っているホームページを表示する場合、「ホームページ」設定画面で「Flash コンテンツを有効にする」にチェックをつけてください。（☞ 92 ページ） ● アドレスを確認してください。 ● プロキシの設定を確認してください。 ● Flash を使っているホームページや、重い負荷のかかるホームページを表示しようとしている場合、そのページを表示できるだけのメモリが不足していることがあります（その場合、画面上部に「サイズオーバーです」と表示されます）。他のタブを開いている場合は閉じてください。 ● JavaScript を使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。「ホームページ」設定画面で「JavaScript を有効にする」のチェックをはずして無効にすると正しく表示されることがあります（通常は「JavaScript を有効にする」にチェックをつけ、有効にしておいてください）。（☞ 92 ページ） ● JavaScript で作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。 ● 電波の受信状態、あるいは回線状態が悪いと、ホームページが表示されなかったり、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
マークに登録したいホームページが登録できない。	フレームに対応したホームページでは、フレームの中身が追加時と異なる場合があります（アドレス欄に表示されているアドレスが追加されます）。

症状	対処のしかた
ボタンが押せない。	• ホームページの読み込み中はボタンが反応しにくくなることがあります。ホームページの読み込みが完了してからボタンを選んでください。 • ホームページの読み込みが完了しないうちは、「マーク」リストのパネル画面の［追加］や、「履歴」リストのパネル画面の［編集］、「保存」リストのパネル画面の［追加］ボタンがうすく表示されて選べないことがあります。ホームページの読み込みが完了してからやり直してください。
ホームページに「入会／登録」できない。	ホームページによっては本機では「入会／登録」ができないものがあります。
［ホーム］を選んでも何も表示されない。	「ホーム」が設定されていません。ホームにしたいホームページのアドレスを設定してください。(☞ 92 ページ)
「このホームページは読込みできませんでした。」というメッセージダイアログが表示される。 「マーク」リスト、「履歴」リスト、「保存」リストから表示したいタイトルを選んでも、画面が反応しない。 ボタンを選んでもページが表示されない。	次のいずれかの可能性があります。 • 本機で対応していない形式のファイルや JavaScript を使用したホームページである。 • Web サーバーに接続できなかった。 Web サーバーに接続できなかった場合は、時間をおいて再度接続してみてください。
「サイズオーバーです」と表示される。	• 複数のタブを表示しているときは、タブを閉じてください。 • ページサイズの大きいホームページは表示できない場合があります。 • モニターの電源を入れ直してください。 • ファイルサイズの大きいファイルは表示できない場合があります。
ホームページで、「ブラウザをインストールしてください」や「バージョンアップしてください」などと表示されるが実行できない。	本機はパソコンではないので、Internet Explorer などのブラウザや、プラグイン機能などのインストール、バージョンアップには対応していません。

メール

症状	対処のしかた
メールの送受信ができない。	• メールの設定が間違っていませんか？プロバイダからの情報を確認してください。 • 複数の相手に送るときは、送り先のメールアドレスをコンマで区切ってください。 • 大量のメールアドレスにメールを送るときは、メールを何回かに分けて送ってください。 • ネットワークの設定は正しいですか？ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。 • 本機はプロトコルとして POP3 と SMTP に対応しています。プロバイダに確認してください。 • 本機は SMTP 認証には対応していません。 • サーバーに障害が発生している可能性があります。時間をおいてから再度試すか、ご利用になってる回線事業者またはプロバイダーにお問い合わせください。

つづく

症状	対処のしかた
セキュリティのパスワードを忘れてしまった。	いったんセキュリティパスワードを設定すると変更にもそのパスワードの入力が必要です。メールを初期化してください。(☞ 145 ページ)
画像添付時の「画像一覧」画面で、あるはずの画像が表示されない。	● 画像を保存してある場所は合っていますか？タブを切り換えて正しい整理箱を選んでください。また、コンパクトフラッシュカード内にあるはずの画像が表示されない場合は、正しいフォルダに画像を保存したかどうか確認してください。(☞ 111 ページ) ● パソコンで初期化したコンパクトフラッシュカードの場合、本体では表示できないことがあります。本機で初期化してください。
受信メールの文字が正しく表示されない。	● 文字コードは、US-ASCII、ISO-8859-1、UTF-8、ISO-2022-JP、SHIFT_JIS、EUC-JP に対応しています。それ以外の文字コードには対応していません。 ●「ホームページ」画面にある［文字コード］で、メール画面で表示できる文字コードを変更できます。文字コードを変更してみてください。(☞ 92 ページ) ● 受信したメールに特殊な文字が使用されていると正しく表示できません。また特殊なメールも正しく表示できません。差出人に確認してください。
HTML メールの画像が表示されない。	HTML メールによっては、画像が表示されないものがあります。
メールに添付された画像に「？」が表示される。	● 画像のサイズが大きい場合は、正しく表示できないことがあります。 ● 画像が壊れています。
「サイズオーバーです」と表示される。	● インターネット画面で複数のタブを表示しているときは、タブを閉じてください。 ● モニターの電源を入れ直してください。

アルバム

症状	対処のしかた
画面に「？」が表示される。	● 画像のサイズが大きい場合は、正しく表示できないことがあります。 ● サムネイルまたは画像が壊れている可能性があります。
保存した画像が表示されない。	● 画像を保存してある場所は合っていますか？タブを切り換えてください。 ● パソコンからコンパクトフラッシュカードに保存した画像のときは、正しいフォルダに保存したか確認してください。(☞ 111 ページ)
保存した画像が画像一覧の左上に表示されない。	日時の設定を確認してください。(☞ 136 ページ)
スライドショーができない。	1 枚の画像だけにチェックがついていませんか？チェックを外すか、2 枚以上の画像をチェックしてください。
「「ネガポジ」はメモリ不足のためできません。」などのメッセージが表示される。	● インターネット画面で複数のタブを開いているときは、タブを閉じてください。 ● モニターの電源を入れ直してください。
お絵かきしている画像が見えなくなった。	［明るく］や［暗く］をくり返し押すと、元の画像が見えなくなることがあります。［最初から］または［仮決めに戻る］を選んでください。

公衆無線 LAN

症状	対処のしかた
接続できない。 (「公衆無線 LAN」画面の［現在の接続］に「SSID：....（接続先の SSID）を検索しています」と表示されたまま接続できない場合）	● 初めて利用する事業者のアクセスポイントに接続するときは、設定が必要です。 ● SSID とセキュリティは正しく設定されていますか？鍵を入力し直してください。 ●「公衆無線 LAN」画面で、［ワイヤレス LAN ネットワーク一覧］の［検索・更新］を選んでから、再度［接続］を選んでください。 ● 公衆無線 LAN 事業者の設定情報を確認してください。 ● 電波環境が悪い可能性があります。アクセスポイントに近づいてください。 ● アクセスポイントが混み合っているか、サービスが使えない時間帯またはサービスを中止している可能性があります。 ●［バンド選択］でバンドを切り換えてみてください。 ● 電波に「＋」が表示されている他の登録済みネットワークに接続してみてください。
「公衆無線 LAN」画面の［現在の接続］に SSID やバンドが表示されているのに、接続できない。 (画面上部のネットワークアイコンが のまま にならない場合）	● 正しく設定されているか確認してください。 ●「モニター設定」画面の外モード（ワイヤレス）のワイヤレス回線設定が正しいか確認してください。通常のサービス事業者は LAN 回線（DHCP/ アドレス手動）ですが、一部のサービス事業者は LAN 回線（PPPoE）となります。 ● 電波環境によっては接続できない場合があります。アクセスポイントに近づいてください。 ● 事業者によっては MAC アドレスで機器認証している場合があります。この場合は、事業者に登録した機器以外の機器からは接続できません。詳細は事業者に確認してください。
［ワイヤレス LAN ネットワーク一覧］に表示されない。	● SSID ステルス（SSID の隠蔽）機能を使用するネットワークは［ワイヤレス LAN ネットワーク一覧］に表示されない場合があります。この場合は、［新規］を選び、適切な設定を行うと［ワイヤレス LAN ネットワーク一覧］に表示されます。その一覧から接続したいネットワークを選んでから、［接続］を選んでください。 ● 電波環境が悪い可能性があります。アクセスポイントに近づいてください。
突然インターネットができなくなった。	● 同じ SSID を持つ複数の異なるアクセスポイントの電波を受信できる環境では、混信することがあります。「公衆無線 LAN」画面で、再度［接続］を選んでください。

NetAV

症状	対処のしかた
NetAV 接続できない。	**一度も成功したことがない：** ● ベースステーションおよびベースステーションが接続されている回線環境、ルーターなどを確認ください。 － NetAV が利用できる環境であるか確認してください。 －「NetAV 機能を利用する」の「NetAV 機能をセットアップする前に」（☞ 64 ページ）をご覧ください。

その他

症状	対処のしかた
NetAV 接続できない。（つづき）	**一度も成功したことがない（つづき）**: ● ベースステーションの電源は入っていますか？ ● ベースステーションがインターネットに常時接続されていますか？ – モニター設定を家モード（ワイヤレス）でベースステーションと接続し、インターネット画面でホームページが表示できることを確認してください。 ● NetAV 機能は有効になっていますか？ お買い上げ時の設定では、ベースステーションの NetAV 有効 / 無効機能は無効になっています。有効に設定してください。 ● ルーターは正しく設定されていますか？以下を確認してください。 – ルーター側の回線の自動切断機能がオフになっているか確認してください。 – ルーター自動設定（UPnP）を利用する場合 ● ルーター側が自動設定を受け付けるようになっていますか？ ルーターの UPnP 設定がオンになっているか確認してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。 ● 自動設定が正しく動作していますか？ ルーターのポートフォワーディングの設定画面で、NetAV 用のポート番号 5021（お買い上げ時）が正しく設定されているか確認してください。 – ルーターの設定を手動で行う場合 ルーターのポートフォワーディングの設定画面で、NetAV 用のポート番号 5021（お買い上げ時）が正しく設定されているか確認してください。 ● モニターの NetAV 設定は正しくできていますか？ – 固定 IP アドレス、またはドメイン名が正しくモニター側にも設定されていますか？ – 使用しているポート番号が、ベースステーションの設定およびルーターの設定と違っていませんか？ **今まで使えていたが、突然できなくなった：** ● モニター設定が外モード（ワイヤレス）で PPPoE で接続している場合、しばらく待ってから再接続すると接続できることがあります。 ● モニターがインターネットに接続されていますか？ インターネット画面でホームページが表示できることを確認してください。 ● ベースステーションの電源が入っているか確認してください。 ● ダイナミック DNS は正しく動作していますか？ ダイナミック DNS サービス事業者が提供する管理ツール、ホームページなどで動作を確認してください。 ● ベースステーションはインターネットに接続されていますか？ – ルーターの自動切断機能などにより、ネットワーク接続が切断されている場合があります。ベースステーションが常にインターネットに接続されている状態にしてください。 – ダイナミック DNS サービスの不具合により、情報が更新されていない場合があります。最新の情報に更新されていることを確認してください。また、ルーターをリセットすると正しく動作するようになることもあります。

症状	対処のしかた
NetAV 接続できない。（つづき）	**その他：** ● モニターの回線設定が正しくないか、他の機器と IP アドレスが重複している可能性があります。再度設定を確認してください。 ● モニターの回線設定で、IP アドレス自動設定（DHCP）を使用している場合は、IP アドレスが自動的に取得されるまで、しばらくお待ちください。また、設定を変更したときに［セット］を選んだかどうか確認してください。 ●「プロキシ」画面（［設定一覧］－［インターネット］－［プロキシ］）でプロキシの設定を確認してください。
画像が映らない	● テレビ / ビデオ画面下部にある［NetAV 接続］を選択しましたか？ ● 画面上部に が表示されていますか？ － 表示されていない場合は、「公衆無線 LAN」の「接続できない」の項（☞ 159 ページ）をご覧ください。 ● 画面上部に が表示されているのにネットワークにつながらない場合は、「NetAV」の「NetAV 接続できない。」の項をご覧ください。（☞ 159 ページ） ● 公衆無線 LAN で利用していて、ネットワークにつながらない場合は、「公衆無線 LAN」の「接続できない」の項（☞ 159 ページ）をご覧ください。 ● ネットワークにはつながっている場合は、「機器登録」の「機器登録後、インターネット画面は表示できるが、NetAV 接続できない。」の項をご覧ください。（☞ 162 ページ）
画像が止まったり、コマ落ちしたりする。	● NetAV はインターネットを利用して通信を行いますので、回線が混み具合によっては、映像をスムーズに送受信できない場合があります。 ● レートの低いほうに変更して試してください。

機器登録

症状	対処のしかた
モニターを登録できない。	**■ベースステーションとセットのモニター（モニター A）側** ● ベースステーション設定の NetAV 設定にある「機器登録の設定」画面内の現在の状態が「登録受付中」になっていますか？ **■ 機器登録を行うモニター（モニター B）側** ● モニター設定が、外モード（ワイヤレス）、または外モード（有線 LAN）のいずれかに設定されていることを確認してください。 ● モニター設定の NetAV 設定にある「NetAV 接続先の設定」画面に、登録したいベースステーションの IP アドレスやドメイン名が正しく入力されていますか？ ● モニター設定の NetAV 設定にある「機器登録の設定」画面に、正しいパスワードを入力していますか？

つづく

症状	対処のしかた
機器登録後、インターネット画面は表示できるが、NetAV 接続できない。	機器登録は済んでいますか？（☞ 72 ページ） **ベースステーションとセットのモニター（モニター A）側** • ベースステーション側で登録が削除されていないか確認してください。 • ベースステーション設定の NetAV 設定にある［NetAV 有効 / 無効］が［有効にする］になっているか確認してください。 • 他のモニター（モニター B など）が NetAV 中の可能性があります。他のモニター（モニター B など）の NetAV が切断されるまで、NetAV は使えません。 • 設定が正しく行われているか確認してください。（☞ 67 ページ） • ベースステーションの電源は入っていますか？ • ベースステーションはインターネットに接続されていますか？ **機器登録を行ったモニター（モニター B）側** • 他のモニター（モニター A または他の登録モニター）が NetAV 中の可能性があります。他のモニター（モニター A など）の NetAV が切断されるまで、NetAV は使えません。 • NetAV の設定は正しく行われていますか？（☞ 69 ページ） **その他：** • NetAV 機能を使用するために十分な回線速度がありますか？

その他

症状	対処のしかた
ワイヤレス LAN 使用中にテレビやビデオの画像が乱れる。	モニターでテレビやビデオを見ているときに、パソコンがワイヤレス LAN を使用してデータを送受信すると、画像や音声が乱れることがあります。
画像が映るまで時間がかかる。	ベースステーションとモニターが接続されている場所や回線の混み具合によっては、通信に時間がかかることがあります。

- インターネットの接続についてのご質問は、ご利用の回線事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- よくある質問についてのページ　**http://faq.sonydrive.jp/**

保証書とアフターサービス

本機の保証書およびアフターサービスは日本国内においてのみ有効です。本機は日本の放送規格に合わせてつくられており、放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときはエアボード カスタマーサポートセンターへ

エアボード カスタマーサポートセンター
（☞ 裏表紙）にご相談ください。
インターネットの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

修理について

当社では、当社指定業者がお客様宅にうかがい、モニターとベースステーション、AC パワーアダプター（ベースステーション用、モニター用両方）を合わせて引取修理します。
修理完了後に、再度お届けします。詳しくは、本取扱説明書裏表紙の「ご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により日本国内にて有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、テレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、エアボード カスタマーサポートセンターにご相談ください。

部品の交換について

この商品は、修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意を頂いた上で回収させて頂きますので、ご協力ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名：　LF-X5
製造番号：　ベースステーション底面、モニター裏面または保証書に記載されています
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店
TEL.

Warranty and customer support are provided for customers in Japan only. This product is designed for Japanese broadcasting standards and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式	NTSC 方式
受信チャンネル	VHF 1 ～ 12 チャンネル UHF 13 ～ 62 チャンネル CATV C13 ～ C63 チャンネル
選局方式	PLL シンセサイザー方式
画面寸法	7 型、15.2 × 9.1 cm （幅 × 高さ）
表示方式	透過型 TN 液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス駆動方式
有効画素率	99.99 %
有効画素数	水平　800 ドット 垂直　480 ライン
使用スピーカー	1.5 × 1.5 cm　円 × 2
音声出力	実用最大 0.5 W × 2（JEITA）、8 Ω

Web ブラウザ

HTML	HTML 4.01、XHTML Basic 1.0、フレーム対応、JavaScript、SSL（V2/3）、TLS 1.0、JavaApplet（PJAE 1.2 対応）
イメージファイル	GIF、JPEG、PNG
文字コード	US-ASCII、ISO-8859-1、UTF-8、ISO-2022-JP、SHIFT_JIS、EUC-JP
Flash	Ver. 6
PDF	Adobe Reader LE V1.0

電子メール

送信プロトコル	SMTP
受信プロトコル	POP3

アルバム

アルバム対応ファイル	GIF、JPEG、PNG、BMP、MPEG1 ムービー（MPG）

入出力端子

ベースステーション

VHF/UHF 端子　VHF/UHF 75 Ω F 型コネクター

ビデオ入力 1 端子
- S 映像：4 ピンミニ DIN
- Y：1 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
- C：0.286 Vp-p（バースト信号）、75 Ω
- 映像：ピンジャック、1 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
- 音声：ピンジャック、2 チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ

ビデオ入力 2 端子
- 映像：ピンジャック、1 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
- 音声：ピンジャック、2 チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ

ビデオ出力端子
- 映像：ピンジャック、1 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
- 音声：ピンジャック、2 チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 5 kΩ 以下

DC IN 端子	DC（12 V）
LAN 端子	RJ45 コネクター（1）
AV マウス出力	ミニジャック（1）

モニター

DC IN 端子	DC（12 V）
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス 16Ω 以上
LAN 端子	RJ45 コネクター（1）
コンパクトフラッシュカードスロット	TYPE-I/TYPE-II

AC パワーアダプター

ベースステーション用　AC-LX1B

電源　AC100 V ～ 240 V、50/60 Hz、70 VA
定格出力　DC OUT:DC12 V、3 A
動作温度　0 °C ～ 35 °C
保存温度　－ 10 °C ～＋ 60 °C
最大外形寸法　約 99.5 × 49.5 × 25.5 mm（幅×高さ×奥行き、最大突起部含まず）
質量　約 200 g

モニター用　AC-LX5M

電源　AC100 V ～ 240 V、50/60 Hz、70 VA
定格出力　DC OUT:DC12 V、3 A
動作温度　0 °C ～ 35 °C
保存温度　－ 10 °C ～＋ 60 °C
最大外形寸法　約 99.5 × 49.5 × 25.5 mm（幅×高さ×奥行き、最大突起部含まず）
質量　約 240 g

バッテリー　BP-LX5A

公称電圧　DC7.4 V
容量　2,200 mAh
種類　リチウムイオン蓄電池
最大外形寸法　約 146.2 × 69.8 × 10.1 mm（幅×高さ×奥行き、最大突起部含まず）
質量　約 160 g
動作温度　0 °C ～ 35 °C
保存温度　－ 10 °C ～＋ 35 °C

電源部・その他

消費電力
ベースステーション：
約 12 W（テレビ視聴時）
約 0.6 W（電源オフ、AC アダプター装着時）
モニター：
約 10 W（テレビ視聴時、AC アダプター装着時）
約 10 W（テレビ視聴時、バッテリー使用時）
約 18 W（電源オフ、バッテリー充電時）
動作温度　0 °C ～ 35 °C
保存温度　－ 10 °C ～＋ 45 °C
最大外形寸法
ベースステーション：
約 5.8 × 22.2 × 18.0（cm）（幅×高さ×奥行き）（突起部含まず）
モニター：
約 20.6 × 11.8 × 2.6（cm）（幅×高さ×奥行き）（突起部含まず）
質量
ベースステーション：
約 550 g
モニター：
約 575 g（バッテリー BP-LX5A 装着時）
通信距離　屋内約 30 m（ただし周辺環境の条件によって変わります）
準拠規格　IEEE802.11 a/b/g
使用周波数帯　2.4 GHz、5 GHz
変調方式　DS-SS/OFDM
電源　AC パワーアダプター使用時：100 V、50/60 Hz
バッテリー使用時：2,200 mAh
バッテリー使用可能時間
約 2 時間
（バックライトの明るさ、最大）
バッテリー充電時間
約 80 分

付属品　バッテリー BP-LX5A（1）
タッチペン（1）
モニター用 AC パワーアダプター
AC-LX5M（1）
ベースステーション用
AC パワーアダプター AC-LX1B（1）
電源コード（2）
アンテナ接続ケーブル（1）
AV マウス（1）
ベースステーション用スタンド（1）
キャリングケース（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）

別売りアクセサリー

モニター用 AC パワーアダプター AC-LX5M
リチャージャブルバッテリーパック BP-LX5A、BP-LX5B
コンパクトフラッシュ TM スロット対応メモリースティック デュオアダプター MSAC-MCF1
ヘッドホン
映像・音声コード
プラグアダプター PC-230M
AV マウス延長ケーブル RK-G131（3 m）
AV マウス VM-50
アンテナ接続ケーブル EAC-D15SS など

2005 年 2 月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

商標などについて

- 本製品はインターネット機能として 株式会社ACCESS の NetFront® を搭載しています。
- NetFront® は 株式会社ACCESS の日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
- エアボードはソニー株式会社の登録商標です。
- " メモリースティック "、LocationFree、POBox はソニー株式会社の登録商標です。
- " メモリースティック デュオ " はソニー株式会社の商標です。
- 本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- コンパクトフラッシュは米国 SanDisk 社の登録商標です。
- 本製品は Adobe Systems Inc. の Adobe Reader を搭載しています。
  Copyright 2004 Adobe Systems Incorporated.
  All rights reserved. Patents pending.
  Adobe, Adobe ロゴおよび AdobeReader は、Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。
- Ethernet は米国 XEROX 社の登録商標です。イーサネットは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ATOK は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- インターネットナンバーはインターネットナンバー株式会社の登録商標です。
- 本機は、Macromedia® Flash™ Player 技術を使用しています。Macromedia、Flash および Macromedia Flash は、Macromedia,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- So-net は、ソニー株式会社の登録商標です。
- powered with intent 、Intent は Tao Group Limited. の登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

ご案内

本製品に関するお問い合わせは「エアボードカスタマーサポートセンター」へ

エアボード カスタマーサポートセンター

- **ナビダイヤル.. 0570-05-0005**
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHS でのご利用は 0191-32-2951**
  受付時間：月～金　午前 9 時～午後 6 時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
- **よくある質問についてのページ .... http://faq.sonydrive.jp/**

ケーブルモデムや ADSL モデムの設定、インターネットへの接続、メールボックスの容量など、ネットワークへの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。

万一不具合が生じた場合は

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「エアボード カスタマーサポートセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。

また修理が必要な場合は、当社指定宅配業者がお客様宅まで伺い、引取修理をさせていただきます。その際には、故障箇所にかかわらず、ベースステーションとモニター、AC パワーアダプター（ベースステーション用、モニター用両方）を合わせて、お渡しください。

エアボードのホームページ

- **http://www.sony.co.jp/airboard/**

ソニー株式会社　〒 141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この取扱説明書は100%古紙再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan